英內閣總辭職か
總選擧の模様內閣に不利
內閣が變ればダービー伯が首相

【倫敦二十六日發電】英國總選擧は十二月六日施行せらるべく六百十五の選擧區に對し本日夫々候補者の指名あり其內五十名は無競爭で當選の筈である尙ほ又候補者の指名された者四十名に上り總選擧後の各黨派の勢力は保守黨は十五乃至四十の議席を失ふべく若し然らば首相ボルドウキン氏を困惑せしむるであらう又保守黨員中關稅改正に反對するもの約三十名當選せば關稅改正案通過を最も困難ならしめボルドウキン內閣の總辭職を見るべく之に次いでダービー伯が首相として實現するらしい

佛の新提案內容
專門委員の任命に英國は反對

【巴里二十七日發電】佛國の新提議に關し英佛兩國間に又もや危機が起る形勢である佛國の新提議とは十一月三十日聯合國賠償委員會で審議する筈の獨逸の資源を調査する爲め專門委員を任命する事とルール地方より佛白兩國が獲得した正貨收入問題に關してである即ち十一月二十四日佛白兩國官憲がルール地方の工業家と締結した協定によると賠償委員會の權限の下にジュッセルドルフに於て佛白兩國が出した資金中に之等の金額を挿入るゝ事になつてゐる、本件に關し佛國の見解は佛白兩國は是等の金額は賠償委員に引渡す前にルール地方の占領費を其中より引去る權利があると云ふのである然るに英國は手足を束縛された專門委員は之れを任命するも無駄であると反對する意向である又英國はルール地方の正貨收入に關する件などを利用して佛白兩國の合同が合法であるか否やと云ふ問題を全部提起せんとして居り當面の形勢は急に危態ならんとする傾向である

佛白兩國に好都合
ルールの形勢
叉物工場と聯合國の新協定

【巴里二十七日發電】ルール地方に於ける其後の形勢は佛白兩國に好都合である、スチンネフヤ及チッセンラ工業界の巨頭が占領軍當局と協定を締結した佛に倣つて聯合國特許局は英國占領地域に於けるラデイッセ、アェソン、トリンゲン叉物工場と新協定を締結した、併して輸出特許及獨逸に於ける非占領地域に輸入する許可書は之等輸出入業者の會計に二割六分乃至一割を支拂、右諸會社に割振る筈である

白軍戒嚴令發布

「ブラッセル二十七日發電」テュレン來電に依れば同地方駐在の白耳義軍は戒嚴令を發布した

支那無電問題の經過
英の新安協案と日米支の態度

【東京電報】北京政府が米國から資金を得て双橋に建設の我三井物產の無線電信を買收するとの報が事實ならば我國に取つて頗る重大なる事である之に對し(一)米國の措置が無謀であること及び(二)實行困難なること(三)亞米利加は勿論支那と斯くの如き無謀なる措置を決行し得るものでないと云ふ點から之を否認してゐる我外務當局は屢報の如く飽まで最後の態度を持したる

合同案で 纏むとのこと

である即ち合同案は日米の紛爭を圓滿に解決するといふことが當然の前提であるから日米及び支那三國合同が主體であるが米國が參加しないので已むなく本年一月倫敦に於て日英佛三國の假契約に調印した丈で日米が合同しなければ其本來の目的から言つても事實の實施から云つても意義を爲さない譯であるそこで外務當局は一方米國に對しては埴原駐米大使並に芳澤駐支公使をして我國の既得權が契約によつて確認せられある所以を合同に加入せぬとも當然フエデラル契約を破棄すべきものなることを說明すると共に他方支那に對しては我國の獨占的優先權を許與して置きながら米國に同樣の權利を許與するのは我國の

獨占權を 否認すると

になるの不當を責め我國の獨占權は獨占權として何處迄も我利權を要求し合同計畫は最後の結論として之れを進めんとしてゐる而して合同案は既報の如く日英佛三國が承認しただけで米國は賛同せずその後英國の態度も煮え切らぬので行惱みの狀態にあるが去る九月上旬英國は合同計畫達成の一手段として三井物產へ一個の折衷案を非公式に提出したその折衷案なるものは支那無線電信の海外通信範圍を亞米利加大陸と歐洲大陸とに二分し三井の双橋無線電信は歐洲大陸との通信に當りフエデラルの上海無線電信は米國大陸との通信に使用するやうにして間接に合同經營を行ふと云ふのであるが、電力の異つた二個の無電が北京上海と云ふが如き

近距離の

所に設立されて同時に通信を開始する如き極めて困難の事である併し之は未だ同提案者の一人たる三井物產に私的に參考案として提示されたので正式に日米佛へ提示されたものではなく且三井物產に於ても何等の意思表示もして居ないが要するに妥協方法は問題ではなく妥協の意思が重大である從つて我國の抗議に對する支那の決心並に米國の態度が益當つて注目を要する問題であると

岡博士を迎ふ
冷 洞 生

岡實博士は愈今朝入城の筈である。博士の支那及滿鮮地方視察の企圖は、ずつと前からの宿題であつて。確か博士が、寺內內閣總辭職と同時に、農商務省商工局長を辭して、野に下つた頃からだと記憶する。

偶々時の首相原敬氏の、切なる勸誘に動かされ、供に巴里經濟會議に、列席することになつたので支那及滿鮮視察も、遂に不能となり、次いで博士は巴里經濟會議終了後、再び政府の命により、華府會議に、顧問として列席され、會議後再び支那及滿鮮視察を、思ひ立たれたが、間もなく帝大講師に聘せられ、側ら各地の招聘に應じ講演のため席暖まる寸暇なき折しも、博士は三度政府の命により、ゼネバ勞働會議に列席することになつて、渡歐されたので、支那及滿鮮視察の機は、再び逸し去られたのである。

ゼネバより歸朝後博士は、東京市政調査會副會長として、蘊蓄ある學識を、專ら東京市政の爲に傾注して居たが、後大阪每日新聞社に聘せられて、その顧問となり、傍らエコノミストの主筆を兼ね、現在可なり多忙の要職にあるにもかゝはらず、今回愈々滿鮮視察の途に、上る機會を得たことは、博士としても、定めて滿足のことゝ察する。只今回の視察が、單に滿鮮に限定されたことを、甚だ遺憾に思ふ。然し多忙なる博士としては、又已むを得ざる事だと思ふ。

博士は學者であると同時に、亦經世家である。博士の學識に至つては、世既に定評があり、就中勞働問題につき造詣深きことは、言を竢するまでもない。

いま學者としての博士は、暫らく措き、經世家としての博士は、多年農商務省の商工局長として、あらゆる產業政策に携はり、顯著なる治績を擧げられてゐることは、周知の事であつて、就中工場法の立案、重要物產取締令の立案、輸出品檢查の勵行等は、その著しきものである、工場法並に暴利取締令に付いては、當時多少の批難もあつたやうだが、前者は過渡期の日本として、正に應分の立法であり、後者も亦當時の事情から推して、寔に適切なる措置だと思ふ。輸出品檢查の如きも、今日から之を見れば、極めて些々たる小問題の如き觀あるも、當時世界の重要なる生產國は、皆大戰の渦中に沒頭しつゝ、軍需品の供給に沒頭して居る際、幸ひ日本は、大戰の影響を蒙ることが極めて薄かつた爲、日本商品は、殆ど全世界の、各市場を獨占する勢いにあつたのである、從つて粗製濫造をしたのも、亦此時であつた。此時に當り、偶然に贏ち得たる日本商品の優越なる地步を、永遠に持續させようとして生れたのが即ち輸出品檢查であつて、當時政府としても、實に重大且つ適切な措置であつたと云はねばならぬ。斯かる方面から見ても、博士は、一の純然たる學者としてゞなく、經世家としても、時勢をよく達觀し、よく之に善處するこ とが分かる。

現在朝鮮も、現總督著任以來、文化政治を標傍して、主として產業方面に、力を致し、教育及產業方面に、努力された結果、現在の治績を見るに至つたのである、就中產業の勃興は、その著しきもので近く朝鮮の產業界も、その面目を一新せんとする狀勢にある。此時に際し、造詣深き博士の、經世的識見に接することは、均しく半島民の熟望して止まない處である。聞くが如くんば、博士は一般市民の爲、多忙なる時間を割いて、講演をされるさうである。久しい間、滿鮮の地に憧れ乍ら大戰後の歐米を度々視察した博士の講演は、必ずや吾々半島民を裨益する所、極めて大なるものがあると確信し、以て期待するものである、滿鮮の風土、この遠來の珍客の健康を害することなくんば幸ひである。

橫濱取引所
四回立會に復活

【橫濱電報】橫濱取引所生絲綿絲各立會ひは十一月一日以來前後場各一回宛の立會ひであつたが其後通信機關も漸次復舊し且機械檢查も復活した從つて來る十二月一日から從前通り前場は午前九時十分同十一時二十分後場は午後一時四十分同三時三十分と前後場四回立會ひに復活した又限月は震災後四ケ月限りであつたのを一ケ月延長して當分五ケ月立會とすることに決定し從つて十二月一日より十二、一、二、三、四限りの五個月立會となる譯である尙震災後は肉眼檢查なりしを機械檢查に復活した

政府頭を惱ます
復興問題の局面愈よ緊張

【東京電報】復興審議會の形勢は復興計畫原案を削除するに至り前途容易ならざる事態を招來するの端を發生するやも圖られず即ち同委員會の意嚮が總會に諮問せられたる所謂

復興原案に 對し修正を

加ふべしとの大勢に傾き避くべからざる結果として修正意見答申が山本首相に提示せらるゝ形勢となるに至つたので政府も飽まで原案を固執し諮問案として意見尊重の程度に止め修正は斷じて承認する能はずとの强硬態度を一擲するの止むを得ざるに當面し多少の修正は容認すべしとの緩和的態度に出るに至つたが之と共に政友會では

反對論沸騰

し根本的に復興計畫の中樞たる幹部會に於て復興計畫立直し又は場合に依つては復興院の廢止を主張せざるべからざるの立場に至るやも知れぬとの決定的態度を表示したのであるが政府としては復興計畫は臨時議會に於て審議の決定に俟ちたる原案が遂に減殺せられんとするの現實に遭遇し更に來るべき臨時議會に於て多數黨たる政友會が復興院官制に言及し之れが廢止を絕叫するに至らば政府としては非常のことゝして立たざるを得ぬ然るに政府は復興計畫樹立の當初に於て出發を拙かれたる形となり審議會の意見を容れて修正したる上に更に改めて修正を要求せらるゝに至つては大いに考慮するの要がある若し夫れ部分的の修正に止まるものとせば審議會を通過したる程度の讓歩は止むを得ずとしても根本的に變革を加へらるゝに於ては愈々政府の面目は蹂躙せらるゝ結果となるから最後の決心を定むる必要があらうもとより政府部內に於ては

復舊を專ら

に爲し餘力あらば復興に盡力するが妥當であらうとの意見もあつた位であるけれども事今日に至つては獨り後藤內相の責任のみではなく確定議として現內閣一同の責任と化して來たのであるから傍觀的に看過するを許さない愼重に審議の經過に徵し對政友會策を講ずるは勿論此問題を中心として將後の腕を定めねばならぬと最近周到なる注意を怠らず政局の變化に處する爲閣僚間に於て夫々研究中であるが注目せられたる議會の多數黨が復興計畫原案を削除する以上最後の態度を何れに求むべきや不測の重大なる政局の變化に關聯する重要問題たらざるを得ないが局面愈々緊張味を加へ來れるの觀がある

川上公使罷免

【東京電報】特命全權公使川上俊彥氏は二十八日付で波蘭國駐劄を罷免された

復興豫算削減
—一億一千餘萬圓—
結局總額は六億圓弱

【東京電報】復興院は二十七日夜來幹部會議の結果審議會の意見に基き大要左の如く修正を加ふるに決した即ち政府の原案は總額七億二百餘萬圓より差引一億一千餘萬圓の削減を加へたものである其內譯は

一、東京市の街路經費中より七千九百餘萬圓減

一、橫濱市の街路經費中より四百餘萬圓減

一、東京橫濱兩市に於ける土地區劃整理費中より二百七十萬圓減

一、京濱運河並に東京築港費全部四千六百萬圓減

で結局は一億一千百七十萬圓强の減額を見る次第であると

天圖輕鐵の一脅威
支那馬車に對する方策如何

天圖輕鐵の第一期營業線たる地坊龍井村間卅七哩が支那馬車業者の競爭に依り開業匆々早くも非常な事業難に陷らんとしてゐるとの報につき某消息通は語る

『滿洲に於ける鐵道事業が開業の初めに當り支那馬車運輸業者の競爭を受けて非常の苦境に置かれることは敢て珍しいことではなく現に東支鐵道の如き吉長鐵路の如きも皆夫々に之を經驗し滿鐵の如きさへも創立の當時は之が爲め非常の打擊を與へられたので偖てこそ長距離輸送主義の採用となり大連集中主義の實現ともなつた譯で今日天圖輕鐵がまたこれと同樣の難關を踏んで經營難を遡ふることがあつたとて別段異とするには當らぬが然してまた支那馬車の徹底より云へば馬夫の粗衣粗食に耐ゆることに依り殆ど無限の競爭力を有し併も穀類の輸送が殷盛な冬季の結氷期間に其速力と輸送力とを增大するものなるだけ輕便鐵道としては當分二三年間は豫め非常の困難と苦痛とに遭ふことあるべきを覺悟し同時に一日も早く第二期以後の線路敷設を急ぎ其運轉一區間を長大ならしめることと及朝鮮側官私鐵との間に聯帶連絡の途を開くこと等の實現に努めて馬車業者より與へらるゝ打擊の程度を緩和するの必要もあるではあらうが同鐵道の盛衰が朝鮮の經濟に影響する所大なるは云ふまでもなく一面間島及在住鮮人の死命をも制するものなるを以て總督府としては充分に之を後援し其順調な發達を圖るの必要があるであらう支那馬車が滿洲の輕鐵經營上如何に恐るべき勁敵であるかと云ふ事は現に革命の以後運輸機關の結果として生じた哈爾賓の灤賓が支那馬車に依り長春まで百五十哩の間を二日で運ばれてゐるの事實に見ても知ることが出來る』

各候補者の意氣込み
京城商議逐鹿戰
二級戰は府議選擧以上に猛烈

夕刊所報の如く二級議員は各候補共互に鎬を削つての大激戰で府協議員選擧以上に强烈の形勢である、戰ひの度を加へつゝあり戰況が如何に開展して行くか愈々激波として逆睹し能はざる形勢と化して來た內情に就ては輙々に豫測を許さざるも外面に現れた模樣の一通りを次に紹介して見る

佐藤半次郎氏

本町三丁目を地盤として金物商組合、三重縣人會を後援に二町目の立候補を宣したのが佐藤半次郎氏である、三好喜六外町內役員諸氏が氏の爲に熱心に運動中とのことで事務所には誰一人なく藥拔けの殼の狀態で如何に力戰奮鬪しつゝあるかゞ窺はれる店をあづかる一人の男は主人の意志を語つて曰く町內半數以上は營業上の關係で賛成される狀態で到底最高は望まれないがせめて落選を免れ度

林菅吉氏

門外十七ケ町が聯合して組織した古い歷史と根據を有する門外聯話會が推薦した候補者の一人で參政の運動員は非常な熱心で以て當選を期して居る參謀役の主なる人は平竹、松本、土井の諸氏であるが土井氏は語る

林君は極めて實直な男で馬糧商として既に在鮮十七年の長きに及んで陸軍御用商人で是非同氏の如き人物を擧げて商工界の爲めに叫ばせて見たい

然し門外有權者數は僅に百六十八票しかない所に二人の候補を出してゐるので勢ひ外部に切つて出る必要があるがその外部が又大激戰なので頗る苦境にあるらしい

田川常次郎氏（龍山工作會社）

立ち後れの爲めと門內候補者の續出により苦戰に陷れる龍山工作會社の田川常次郎氏は幹部總出動、田川氏と共に戶別訪問をなし必死の運動を續ける一方鳥取縣人會の應援を得て麵談機に努めつゝあるが參謀たる石原磯次郎氏は語る

元來角立後れてゐては居るが新龍山の推薦もあるから結局百票は集められようと思ふ然し決して安心は出來ない、が幸に田川氏は一致の推薦ではあり會議所議員としては適當な人で一般の受けも非常によいのでこの點を大なる力として居る

白石巖氏

新しく旭町から立候補を宣して雄々しく馬を陣頭に進めた白石氏は大韓日報時代同紙の營業部長として朝鮮新聞に移るまで前後十八年をつとめ約十年前退いて人力車營業を始め今現に白石組の主人として活動しつゝあり今回出馬者の根據地は旭町だけで外に同業者の後援もあるがそれだけでは決して樂觀を許さんので池田長次郎氏を參謀長として旭町內役員及人力車組合役員各方面に得票の運動を開始して居る然して同氏の根據地は範圍狹少で有權者數も多い方ではないが町內結束の鞏固なる點に於て他に誇るに足る從て他候補者の爲に侵害される恐れはないと參謀の一人は語つてゐた、如何にもして百票の得點は占むる意氣込みらしい

西崎源太郎氏

同氏は太平通一、二丁目有志、小門町、北米倉町、長谷川町、明治町を地盤に京城燃料商組合、岡山縣人會を後援として運動を開始して居る

大塚候補退く

京城府議選擧は愈々白熱化して行きつゝあつて龍山の如きも混戰狀態であるが大塚候補は二十八日夜突然運動を中止し『自分が運動を繼續する時は混戰の上に混戰せしむる樣なものだから候補を思ひ止まる』と休戰を宣して旗を捲いた

京取問題はまだきまらぬ

京取其他各地の穀物現物市場が市場規則に據り設けられあり一面仁取は會社令に據る朝鮮唯一の取引所として其營業を繼續し居る者なる關係上兩者上に課せられて居る負擔の不均衡はどうすれば之れを調和することが出來るかの問に對し殖產局某當局は語る

負擔の公平を期する爲に執り得る方法は二つあると思ふ乃ち一は京取及其他の八穀物市場に對して全然仁取と同樣な機能を附與し同時に同樣の課稅を行ふことで他の一は現行市場規則に據る第四種市場に對し市場稅令を設ける事である勿論その何れを採るかと云ふ事は現行の狀態を以て穩當なりやと云ふことはもつと責任の位置にある人の決定に俟つの外はないが兎も角現物市場今日の狀況を以て滿足すべきものだとは我々として考へて居らぬので從つて如何にすれば其事業が法規の埒外に走らず而して一面市場としてこの充分な機能を發揮させることが出來るかと云ふことについては目下研究中にあるので充分な結論を得るには至らぬのだと云ふ事を信じて貰ひたい換言すれば我々としては如何にすれば現物市場を取引所に昇格させることが出來るかと云ふことより寧ろ市場本來の機能に且合理的に發揮させる方法如何との問題につき更に云へばその監督上にも如何なる方法を以てすれば取締の萬全を期し得るかと云ふことにつき研究してゐるものなのである云々と

朝鮮鑛業界の變遷（五）
發展の基礎は年と共に鞏固を加ふ

金鑛鑛石は大正二年迄は消長常なかりしが大正三年以來漸次產額を增し大正四年十月久原鑛業鎭南浦製錬所の開設により

小鑛山の開發

を促進し爲に大正五年には六十三萬餘圓に增加し大正八年には百四十六萬餘圓に達し大正九年及十年には漸次減少して夫々七十七萬餘圓及五十八萬餘圓を示せり次ぎ鐵は明治四十三年初めて二十四萬餘圓の產額を見爾來漸次增加し大正三年には五十一萬餘圓に達し大正五年以降黃海道遂安郡、稷山鑛山の選鑛開始に依り產額著しく增加し大正六年には二百九十七萬餘圓に達し最盛況を呈したるが大正七年以降漸次減少し大正九年には百五十萬餘圓、大正十年には百四十八萬餘圓の產額を示せり。以上の鑛產額を通覽するに明治四十三年以降大體に於て漸次增加し大正五六年中最盛況を極め爾後再び漸減の趨勢を示せり

一、砂金鑛業

は其方法の容易なる金鑛々業の比に非ざるを以て金鑛々業の先驅として既に大古から存在したものゝ如くであるが其の採取方法は現今に至る迄極めて幼稚なもので大正六年稷山鑛山に於て本邦唯一の砂金浚渫機を使用し大規模の採金を見るに至り茲に始めて朝鮮砂金鑛業界に一新機軸を出した砂金は全道到る處に產すれども金鑛分布と相關聯して北鮮に多く南鮮に少き傾向あり就中京畿道安城郡、忠淸南道天安郡に跨れる稷山砂金地、平安南道順川郡、成川郡、長津郡の砂金地等は有名なものである。產額は明治四十三年

八十二萬餘圓

で爾後は大正二年と大正五年に稍增加を示せる外、悉く減少を示し年々五、六十萬圓の程度で大正十年には三十五萬餘圓に低下して居る

二、鐵鑛々業

鐵鑛は磁鐵鑛、赤鐵鑛、褐鐵鑛、及菱鐵鑛の四種にして磁鐵鑛中にはチタンを稍多量に含有するものあり赤鐵鑛には堅實なる塊狀をなせるものと脆弱なる雲母鐵鑛とあり、褐鐵鑛には乳房狀、葡萄狀或は繊維狀の組織を有する結晶質のものと、粗鬆なる非結晶質のものとあり而して之等の鑛石中現時採掘用に供せられつゝあるは磁鐵鑛、赤鐵鑛及褐鐵鑛にして悉く酸化鐵鑛若は水酸化鐵なり含『チタン』磁鐵鑛は嘗ては

八幡製鐵所に

於て試驗に供せしことあり、鐵鑛床分布の狀況に付ては大體に於て南鮮地方には鑛脈多く江原道には接觸鑛床多く平安南道、黃海道地方には交代及層狀褐鐵鑛並に赤鐵鑛々床あり、鐵鑛の主要產地は西鮮に於て黃海道載寧、殷栗、黃州、安岳の各郡及平安南道价川、江西の各郡東海岸に於ては咸鏡南道利原郡等である

私鐵社長
は野村龍太郎氏か
事業資金も內定

【東京電報】朝鮮合同鐵道は六社合同の第一回株主總會を既に九月東京に召集する豫定であつたが震災の爲十一月に延期せるも更に社長の人選其他の問題にて行き惱んで又もや延期し最近有吉政務總監の入京するを待つて十二月中旬總會を開催の事に內定したが總會に附議する議案は

一、八月一日迄の決算報告

二、役員の改選並に社長副社長常務の選擧

三、社債及び借入金の件

であつて此中社長問題は既報の如く大村卓太郎氏は內務省で反對し大選長太郎氏は就任の意志なく別に福原俊丸男が其意中の候補者を推薦せんとしてゐるが之は氏從來の關係だけではものにならず結局社長には前中央鐵道社長の野村龍太郎氏副社長には前南朝鮮の社長坂出鳴海氏に內定した模樣である尙資金に就ては年內に鮮銀より五百萬圓（三百五十萬圓、舊中央鐵道十二月一日社債償還百五十萬圓）事業資金を借入れ來年早々更に百萬圓乃至二百五十萬圓を借り受け來春中に鮮銀又は殖銀の保證で公債一千七百萬圓を募集し借り入金の償還と事業資金に充當せんとの方針であつて鮮銀も大體諒解既に幾部分は融通を開始したが此點は入京した和田朝鮮總督府財務局長が近々正式に交涉することとなつてゐる

ヨシアシ

滿洲鐵道業者の最大脅威は支那馬車である、鐵道と馬車の競爭は他にはあるまい。

◇

大塚內務曰く、京城府議選擧に無効投票が選擧の結果を動かす數だけあれば勿論選擧を行ひ直すが當然である。

◇

復興案は特別委員會の協定案を政府は承認するに決した、一方復興院の無用論もある、とにかく眞面目に檢討することだ。

◇

樹つたお金で合資會社を組織したものが長崎市にある、イヤハヤ。

◇

政友會と政府と正面衝突をやるかやらぬか、やるやうな點もありやらぬやうな節も見ゆる。

◇

京城府議選擧の問題が問題となつてゐる、當局も府民も眞劍に研究すべき問題だ。

登記公告

一、支配人（解任）支配人奧出種彥ハ大正拾貳年壹月拾壹日解任

一、株式會社朝鮮殖產銀行（變更）頭取有賀光豐ハ大正拾貳年拾壹月貳拾八日其ノ住所ヲ京城府松峴洞四拾九番地ニ移轉シタリ

右大正拾貳年拾壹月貳拾四日登記

平壤地方法院

商業登記公告

株式會社朝鮮殖產銀行（變更）頭取有賀光豐ハ大正拾貳年拾壹月貳拾八日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉シタリ

京城府松峴洞四拾九番地

右大正拾貳年拾壹月貳拾四日登記

京城地方法院春川支廳

商業登記公告

株式會社朝鮮殖產銀行（變更）頭取有賀光豐ハ大正拾貳年拾壹月貳拾八日其ノ住所ヲ左ノ所ニ移轉シタリ

京城府松峴洞四拾九番地

右大正拾貳年拾壹月貳拾四日登記

平壤地方法院安州支廳

商業登記公告

株式會社百三十銀行（變更）取締役安田善五郎ハ大正拾貳年拾壹月拾六日其住所ヲ東京市牛込區餘丁町百番地ニ移轉ス

右大正拾貳年拾貳月貳拾六日登記

平壤地方法院

來ル十二月五日ヨリ定時株主總會結了迄名義書換停止致シ候

大正十二年十一月廿八日

京城穀物信託株式會社

皮膚科 泌尿器外科

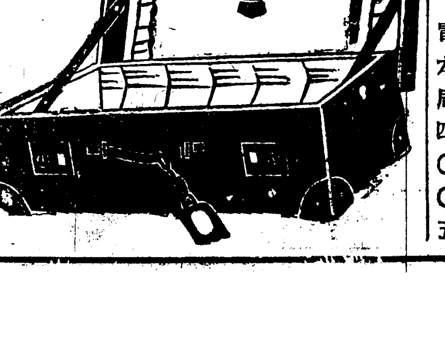
明治町二丁目（公設市場筋向）

京城皮膚科醫院

一番ケ瀨慶次郎

電本局四〇〇五

鞄は高木



鞄製造販賣

魔法瓶及中瓶取香

京城府本町一丁目

高木鞄店

電話一三四番 二五四番

京城商業會議所評議員候補者

佐藤半次郎君

を最適任者と認め推薦致候間御賛同の上御投票被成下度願上候

公認

本町三丁目 京城金物商組合有志會

推薦

永樂町一、二丁目有志

若草町

三重縣人會

有權者各位

羅紗と毛布と毛絲

日本及朝鮮へ輸入稅免除

此度大震災に依り勅令第四一七號發布明年三月卅一日迄毛織物の輸入稅を免除せられたり此秋に當り平素の御恩報謝を充分奉仕する事を喜び且つ大に得意とし自慢する處に有之候

スコッチ 多服地 一ヤール二付 金三圓 金五圓

メルトン 多服地 オーバコート地 一ヤール二付 金六圓 金七圓 金十圓

不變色 紺サアジ 合服地 多服地 極厚地 一ヤール二付 金六圓 金七圓 金八圓 金十六圓

禮服地 一ヤール二付 金拾圓 金拾三圓

縞ヅボン地 一ヤール二付 金七圓

學生服地紺ヘル 一ヤール二付 金三圓 金六圓

白毛布純毛 一等 拾二圓（巾五尺六寸長七尺 量目五百六十匁） 二等 拾圓（巾五尺六寸長七尺 量目四百五十匁）

寢室用同 三等 八圓（巾五尺六寸長七尺 量目三百五十匁）

旅行用純ラクダ縞毛布 一等廿五圓 二等廿四圓 三等廿三圓（巾五尺二寸 長六尺 量目六百匁）

小包料 一枚付 滿洲 四十五錢 內地朝鮮 七十五錢

毛糸 編物用 一ポンド 二圓五十錢 三圓 百廿匁

英國織物直輸入 品質自慢 安賣道樂

大連大山通り

白木屋洋服店

電話代表番號五一七五番

振替口座（大連）五四〇番

電信略號 宛名大連白木屋洋服店御中 電報宛名ダイレン・シロキヤ

宗敎大會
第四回は京城

警察に殺到

葉煙草を盜む
船夫の惡事

關東震災地木材界概況
—營林廠調査—

三、東京木材商人及諸官公署に於ける調達木材の狀況

震災後に於て東京木材商人及び官公署（臨時震災救護事務局及び大藏省臨時營繕局用材を除く）が靑森、秋田、靜岡、愛知、大阪の各府縣より調達せる木材につき山林局に於て調査したる結果に依れば

靑森縣	製材	九六、二二三石
大阪府	同	一三四、六七七
靜岡縣	同	一一四、七七二
秋田縣	同	一二八、七四三
愛知縣	同	七三、〇〇〇
計		五四七、四一五

四、帝都復興院に於ける木材の購入賣却

帝都復興院に於ける木材の購入に關しては未だ的確なる方針の樹立せるものなきが如く加ふるに外部への激論を懸念し居る模樣にて成るべく明答を避くるの傾向あり爲めに其內容は詳知し難きも凡て隱せる處を綜合するに燒失全戸數四十四萬三千戸の內復舊見込戸數を三十萬戸とし其所要見込材積（製材）は普通家屋二十九萬七千戸一戸に付三十石として八百九十一萬石と特別家屋三千戸一戸當り一千石とし三百萬石計一千百九十一萬石の內復舊すべきものを六七、五％とする時は八百萬石を要し其半數を復興院にて管理するものとし四百萬石の製材を取扱ふ豫定なるが如し

而して現在に於いて決定せるものは米國百萬石（製材原木取混ぜ）加奈陀二十五萬石合計百二十五萬石のみなるが如く其外に目下交涉中に屬する主たるものは

樺太廳	原木八十萬石乃至百萬石
北海道	原木百萬石
東北地方	原木製材十萬石
關西地方	原木製材二十萬石

なるも樺太北海道材の大部分は明年四五月以降にあらざれば入荷せざるのみならず此等の原木は更に製材を要するも東京に於ける製材工場は全滅の結果其復舊容易ならざる爲め折角購入するも果して製材可能なるや否や甚だ疑問なるべく從つて復興院に於ては成るべく製品の購入を希望し居る模樣なるを以て我が營林廠材は勿論新義州材木商組合よりも採算上有利に供給し得るもの、如く觀測す尙復興院の木材賣捌に就ては其購入價格を基礎として場合に依りては多少の損失をしても成るべく安價に之を木材問屋に拂下げ其拂下を受けたる木材問屋より小賣業者に賣卸すべき價格は復興院に於て之を決定して公表する豫定なるが如きも之が實行に就ては種々なる困難あり且其監督等も容易ならざるものあるべく未だ具體的の成案は未定なりと云ふ

大體震災前の狀況なるも元來復興院に於ける物資供給の目的は物資供給に依る物資が成るべく安價に且潤澤に罹災地に供給せられ以て復興事業に支障を生ぜしめざるを限度となすべきものなれば木材の如きも今後の集散狀況の如何に依りては臨機增減變更又は打切りとなすの方針らしく察せらる

五、東京市の木材相場

東京市に於ける木材相場は震火災の爲め問屋業者四百二十戸の內四百十八戸迄を燒失し隨つて在庫品の如きは其大部分の燒失したると一面にはバラック建築其他の急激なる需用增加の結果臨時震災救護事務局の施設位では到底此の莫大なる急需を滿足せしむる事能はず自然木材は日を逐て昂騰し東京木材問屋同業組合の決定せる標準相場に依れば現在エゾ、トド等は勿論一般の建築用材は震災前相場の約十割高を唱ふるに至れり尤も右標準相場は從來に於ける組合の建値とは其趣きを異にして單に標準に過ぎざるのみならず一面に於ては暴利取締令の嫌疑とも見らるべく隨つて現實に於ては右標準相場以下の値段にて取引せられつ、ありと謂ふ然れども安東縣より之を輸送の運賃諸掛は大體一尺締に付三圓六十七錢最も安全に見ても四圓なれば大丈夫なる模樣に付結局安東縣の價格は杉松並に挽材は一尺締十四圓乃至十五圓に相當し隨つて現在安東縣に於て高價なりと稱せられつ、ある原木價格を以てするも確に相當の利潤を擧げ得らるものと思料せらる

以上の如く木材は震災前に比すれば非常なる昂騰なるも政府に於ては之を以て暴利とは認め居らざる模樣にして隨つて暴利取締令を適用するが如き意見なきもの、如く推察せらる（完）

安東地方委員選擧
末曾有の激戰
十四名の定員に廿六名の候補者
中原の鹿を射止むるは誰？

【安東縣】安東地方委員選擧も日一日と熾烈を加へ形勢又晴曇として逆睹し難き有樣で一時恰も雨後の筍同樣吾も己もと名乘りを擧げた所謂候補者も選擧期日の近付くと共に形勢非なりと見たか己れを知つたか昨今漸く其影を沒し一時三十名以上と稱へられた候補者も實際に立候補を宣言せる連中は先づ謂民團側では

荒川六平、高橋貞二、式村茂、三上大作、山口文次郎、大原淸逸、櫻井良三、河合芳太郎、大津岐、杉原佐一郎、川俣寓、藤平泰一、張騏植（鮮人）王源淑曹殿明（支人）

滿鐵側では

竹內榮、森泉武興、齋藤張海、北村文藏、岡見正治、塘愼太郎

附屬地側では

金井佐次、新羅福三、前田伊左衛門、武藤守一、花戶眞一

の二十六氏で何れも數日前より此れを先途と鎬を削つてゐるが殊に去る二十五日夜安東縣に於ける候補者一部の政見發表演說會はさらでだに緊張せる選擧氣分を彌が上に煽り立て今や市內は殆る所選擧話と候補者の批評で滿たされ一面各運動員の暗中飛躍と相俟つて恰も鼎の沸くが如き有樣で全く安東開闢以來の緊張振りを呈してゐるが餘す所僅に一日だ定員十四名に對し二十六名の候補者で十二名は當然落選の悲運に逢著するのだ中原の鹿を捕へ得る人は果して誰々か

地方委員選擧心得

【安東縣】安東地方委員選擧は來る十二月一日安東公會堂に於て其第一回を施行さるる筈であるが選擧人の心得は左の通りである

一、投票所に入りては地方區長の面前に至り居住場所氏名を自稱し選擧人名簿の對照を經て投票用紙を受取り被選擧人一人の氏名を限り記載投票すること

一、投票は字劃を正しく記載し誤字脫字ナキ樣注意すること

一、投票用紙を汚損し又は書損じたるときは地方區長に申出で之が引換を受くること

一、投票所內にては靜肅を旨とし殊に投票者相互に於て談話私語せざること

一、[illegible]縣記載所に備付ある筆墨を使用すること

一、被選擧權者にして同姓同名の者あるときは必ず被選擧人の居住場所を明記すること

一、左の投票は無效に付注意すること

イ、選擧場に於て交付したる投票用紙を用ひざるもの

ロ、二人以上の氏名を記載したるもの

ハ、被選擧人の何人たるかを確定し難きもの

ニ、被選擧權なき者の氏名を記載したるもの

ホ、被選擧人の氏名の外他事を記入したるもの、但爵位、職業、身分、住所又は敬稱したるものは此限にあらず

尙選擧執行に立會ふ內、鮮、支人の氏名左の如し

▲內地人齋藤圓太郎、浦元熊浦吉田良繼、池上常太郎▲鮮人黃李鎬、張騏植▲支那人曹殿明、王叔名

釜二浦の宿泊料改正

【釜二浦】釜二浦旅館業組合では道警察部の指示に依り二十六日より左記の通り一齊に宿泊料を改正した又茶代は從前より既に絕對廢止を斷行してゐる

等級	宿料	晝食
一等	五、〇〇	一、五〇
二等	四、〇〇	一、二〇
三等	三、〇〇	一、〇〇

咸北道博覽會計畫
來春淸津埋立地で開催の豫定

【淸津】淸津府第三期海岸埋立一萬六千坪が今回竣成したのは既報の通りであるが道では此の竣成を意味し明春三四月の候を以て一大博覽會を開設するの計畫を立て、之には對岸各縣よりも特設館の設置を勸誘し咸北未曾有の壯擧たらしめんとして昨今其準備に著手した、從つて明春二月を以て此の埋立地の譲渡を施すつもりの府當局の意嚮は右の博覽會の終了するまで見合す事とした尙埋立地に置いてあつた土木部の事務所は今回之を穀物檢查所に充て當分矢張り埋立地に存置することに成つて居る

慶北道評議會

【大邱】大正十三年度の歲入出豫算案を諮問すべき慶北道評議會は十二月十五日より二十四日まで十日間道評議會室に於いて召集する事に決定した

平壤府協議會

【平壤】改選後第一回の府協議會は二十七日午後一時から府廳樓上に於て開催府尹以下參與者十四名、十一時十分より席順の抽籤を行つた結果左の通り決定

一番鮮于鍛（再）二番黃錫煥三番丸山理平（再）四番楊濟鉉五番一柳村五郎（再）六番藤井完太郎七番李春燮八番康秉鈺（再）九番小林文二（再）十番白潤植（再）十一番韓允燦（再）十二番鄭李鉉十三番孫蘭卿十四番李基燦十五番中村濟吉（再）十六番松尾六郎十七番內田錄雄（再）十九番辰巳彥三郎二十番浦本理

斯くて引續き每月輪番幹事の抽籤をも行ひ一時三十分協議會を開く遲延した議員も續々出席し結局康秉鈺一人の缺席で十九名の出席を觀る、宮﨑府尹は開會の挨拶を述べると白潤植氏より通譯を附する事を要望し內田錄雄氏は議員を代表して府尹の挨拶に答へて議事に入る。諮問案第二十六號大正十二年度平壤府歲入出第四回追加豫算に關しては歲入經常部第六款電車收入十二萬二千七百二十圓に對し五千四百圓を追加し歲出經常部第十款電車費七萬三千十三圓に二千七十七圓を追加し臨時部第十款電車費五萬三千五百四十八圓に三千三百二十三圓を追加する理由を佐藤課長より說明あり三十日より開通される船橋里線の自然收入增加や電車運轉區域の增加に伴ふ車掌運轉手の增員其他經費の必要增加や附屬設備費等の追加を詳述する、之れに對する丸山、一柳、白潤植の諸氏と番外の間に二三質問あり讀會省略原案可決次に第二十七號案官有地無料貸付の件に關しては佐藤內務課長の說明のみにて原案贊成可決確定第二十八號案平壤府電氣軌道乘車料改正の件に關しては內務課長の說明に次いで孫蘭卿、李基燦の兩氏より區間撤廢均一制を希望したるも府尹より漸く電車營業を開始して玆に六ケ月猶幼稚な經驗で今直に[illegible]な感もあり旁々現狀維持を希望する議場異議なく可決確定、午後三時三十分、新議員最初の府協議會は無事に終了した散會に臨み府尹は更に議員に懇談的に大同橋も完成し直接其衝に當つた土木部出張所長木間技師の功績に對し協議會議場一致の決議を以て府より感謝狀及記念品贈呈の件を諮りたるに全議員贊成可決した、尙當日午後六時より喜樂に於て府尹が新舊議員全部を招待し懇親會を開催し當局として出入新聞記者をも招待した

鮮鐵開通大祝賀會
十二月一、二日馬山停車場前で
空前の盛況を呈せん

【馬山】明治卅二年五月開港せられた馬山も日露戰役後年々衰微に赴き大正五六年頃は燈火將に滅せむとする狀態に瀕したのであつたが鮮鐵敷設の計畫せらる、や恰も起死回生の動脈注射を受し如く戸口の漸增を來し爾來々鐵道工事の著手と共に形勢一變し急轉直下昏睡狀態より活躍期に入り爾來全府民が非常なる熱心を以て待ちに待ちたる東部線の速成は會社側の督勵と請負者側の敏活なる動作とに依り豫定の如く愈々來る十二月一日馬山郡北間十九哩の開通を見るに至つた此に於て馬山及昌原咸安の沿線各地の住民は歡喜絕頂に達し轉々此目出度き出來事を祝福すべく來る十二月一、二の兩日馬山停車場前庭に於て馬山府昌原郡咸安郡一府二郡共同の大祝賀會を催し二日間馬山市街に大裝飾を施し餘興として煙火を打揚げ相撲、藝妓手踊り、藝妓假裝行列夜間は提灯行列を行ひ尙盆栽、菊、素人繪畫展覽會及生花等の催しをなして興を添ふべく目下準備に忙殺されて居る又會社側に於ては馬山郡北間の試乘を試むべく各方面の官民有志多數に招待狀を發した當日は官民に馬山空前の盛會であらう

鮮鐵開通
祝賀割引
十二月一日から五日迄

【馬山】鮮鐵に於ては馬山郡北間開通を祝する意味に於いて十二月一日より同五日まで左の區間內に於ける二、三等乘車賃の三割引を爲す由である

一、慶南線馬山郡北各驛相互間往復

二、京釜線釜山、釜山鎭、龜浦、[illegible]各驛（除簡易驛）より慶南線北馬山咸安郡北驛に至る往復

通用期間は發行の日より三日間である

釜山府議顏合

【釜山】釜山府では來る十二月三日新規當選議員の初顏合せ會を開催する筈であるが當日は所謂初顏合せに過ぎないので來るべき豫算會議の重要事項である稅率改正問題の如きは他日に讓り簡單なる議題の附議に止むる由である

平北道廳引越開始

【新義州】平北道廳は愈々三十日から新義州の新廳舍に移轉となり著々準備中であるが移轉は一日で引越しは出來ない處から手當しの宜い課では二十五日から移轉開始してゐるが巡查教習所では教習生は新義州守備隊訓練の行事を兼ねて引越して來る筈である因に新義州府民主催の祝賀會準備第三回會合は廿五日各係主任と關係者の幹部會にて長谷川府尹は寄附金のみでは到底經費支出が六ケ敷いから此際何か方法で三四千圓の捻出方法に就て一同と協議する處があつた

棉花出廻旺盛

【大邱】慶尙北道內の繰棉は本年共同販賣其他に附し販賣するもの約百四十萬斤見當だが價格昂騰の爲め出廻り意外に早く去る二十五日までの出廻りは約七十萬斤に達した價格は大邱繰木工場渡し二十九圓〇六錢見當である

安東金融活況

【安東縣】昨今安東市場に在つて沈滯に久しく悶へ居た當地金融界は最近帝都復興用材の需要に伴ふ木材界の活躍に促され其他の需要を喚起し中旬以來著しく活況を呈して居るが一時金融緩慢に悶へ居た木材資金の需要と相俟つて月末同一段の殷盛を呈する見込である

豆粕界は閑散

【營口】當地の豆粕輸出は例年なれば昨今は終航前とて積取船續々[illegible]め日本內地輸出は皆無で專ら南支方面の輸出のみである本月上旬南支地へ輸出されたのは三十三萬五千枚。中旬は二十萬六千枚で目下當地在荷は二十萬枚ある是を昨年に比すれば上旬は同三十三萬五千枚中旬は四十萬枚で下旬より終航迄に六十九萬三千枚輸出され尙七十萬枚を殘貨したが本年は至つて閑散である。

水共協贊會
剩餘金處分協議
公共用建物を建設か

【釜山】水產共進會協贊會では既報の如く決算事務整理中で既に其大體を終了せるが其結果約一萬四五千圓の剩餘金を生ずる事となつたので二十七日商工俱樂部に於て部會を開き剩餘金處分並決算に關し打合せする處があつたが聞く處によると行きなやんである釜山の公會堂建設問題は財界の現狀に照らし當分之が實現を期し難き狀態を迎つてゐるので本剩餘金を基本として公會堂に代るべき公共用の建物を建設するを最も時宜に適するものなりとの說が最も有力なるもの、如く且之れを以て御成婚紀念事業として永久に存置するは產業の開發を標榜せる水產共進會贊助資金の使途として一層有意なる試みであると略意見の一致を見た譯であるが尙二千餘圓の未收金もある事とて先づ未收金の徵收を了し決算事務を完了せしめたる後決算案と共に評議員會に提議せらるべき模樣である

組合令改正で
面喰つた組合と遊廓
强制加入と多額の加入金徵收禁止
藝娼妓と抱主の步合は五分五分

【釜山】慶尙南道警察部では管內に於ける警察の監督區域內に在る各種營業組合の組合規約改正及び藝娼妓の保護につき各警察署に訓令を發する處があつたので釜山警察署では直に其內容につき各組合に示達した其一部の事項が從來の組合規約の精神と相反する處ありと言ふ處から既報の如く二十六日各組合幹部の會合となり來る十二月一日迄組合の態度に關し協議する申出づる事となつたが右につき加尾釜山署長は語る『組合規約改正の骨子となつて居る處は强制加入禁止と多額の加入金徵收の禁止にあるが各種組合の最も苦痛とする處も其點にあるので從來の慣習に馴れた組合側では多少の恐慌を來して居る樣であるが元來組合と言ふものは道義を本とせる組合員各自の協同によつて善良なる向上發展に資すべき機關で決して自家利益の擁護機關たらしむべきものでない假へば極端なる組合の組合員なるが故に世間に一層の信用を博し得ると言ふ樣な美しい內容を持つてはじめて其存在に意義を生ずる譯であるが動もすると組合と言ふ美名に隱れて我利的行爲を擅まにするが如き傾きがあるので之れを防止し健全なる向上發達を遂げしむると言ふ事が今回の發令となつたに過ぎない從つて正當にして眞面目なる當業者にとつては當り前の事に過ぎないが釜山あたりでも從來兎角組合が利用されて居た傾きがあり之が爲反つて自由競爭を封ずるの弊を認めて居たから之れが根本的改善の策を揚ぐるの前提として今回の發令は實に時宜に適合せる措置であると信じて疑はぬ又藝娼妓に關する訓令中特に改正された事は從來藝娼妓と樓主或は抱主との步合が四分六分となつて居たものを五分五分とし更に稼金を樓主又は抱主の負擔とした處が主なる點で既に釜山では病氣治療の樓主負擔や病氣の爲め休業せる期間も營業日に算入する規定については本春來實施して居るので藝娼妓擧屋方面では差したる苦痛を感じない樣であるが貸座敷方面では步合五分五分とされた上稼金迄樓主負擔では到底營業を繼續する事不可能であると迄意氣込んで各地の同業者とも聯合して運動を開始せんとするが如き模樣も見えて居る樣であるが藝娼妓の待遇を改善すると言ふ事は人道上の見地よりするも急務に屬し難き問題で發令に當りても充分夫等の點については研究を重ねられて居る事であるから自分としては何處迄も訓令の主旨の徹底に努むる決心である』云々

米田平南の瘦我慢
船と自動車と雨に散々祟られて
稀にアンナ旅行も面白いよと

【平壤】平南道知事米田甚太郎氏は管下巡視中の處二十六日午後十時平壤驛着列車で歸任した、別に重大な要件があつたのではないが平北道は本道の大切なお得意で行政區域こそ違つて居るが經濟關係に於ては殆ど同一な狀態におかれて居る密接な土地である、寸暇を利用して此密接な關係を有する隣道を視察するのも決して徒事ではなからうではないか。[illegible]物資は凡て鐵道沿線は平壤へ、大同江沿線は鎭南浦へと集中され[illegible]ほんの三四郡に過ぎず他の十數郡は皆平壤鎭南浦へと運ばれるのである、金融關係も西鮮殖鐵沿線一帶に只平壤の大同銀行支店が一個が支配して居る狀態である、其他沙里院にも殖銀の支店はあるが概して金融經濟關係は本道と最も密接な關係を有して居る事は爭はれない事實である、只今度の視察中天候が惡かつたが[illegible]目的地の今下は一里半も干潟地を步まされた揚句今下で待合す筈の自動車が午後の五時になつても來ず土地の警察署長等の盡力で漸く九時頃松禾から乘合自動車が迎ひに來て吳れた始末で[illegible]松禾溫泉の手前一里位迄の處へ來て今度は自動車の故障で運轉出來なくなり夜の十一時頃から寒さは凄し暗いし[illegible]辛うじて[illegible]や苦しい思ひをしたよ、と流石に閉口した、そして滅多に參つたと云はぬ氣性の我慢强い米田知事も此時ばかりは弱つたと困つたと見ゆる、それでもまだイヤ然しあんな旅行も稀にはするのが面白いよと强いて我慢を張つても見せる第二日は豫定を變更して龍川溫泉に行き、富田農場や、鐵山、[illegible]、沙里院等を視察して來たが天候の爲め折角の旅行も臺なしであつた云々

橫斷航路成績

【淸津】淸津稅關調査による日本海橫斷航路の兩線貿易十月中の成績を比較すると左の通りである

▲敦賀線 鹽魚二萬圓水產品總計三萬六千圓、豆類六千圓、木材三千六百圓生牛一千圓▲合計四萬八千九百八十圓

を移出し敦賀からは絹布の一萬三千九百圓をはじめ、淸酒果實、茶、金物製品等で合計三萬九千二百十四圓を淸津に移入した

▲伏木線 鹽魚一萬五千圓、マッチ軸木三千四百圓、木材二十餘圓、大豆肥料等合計三萬九千三圓

を移出し伏木からは打綿の七萬六千餘圓醬油の五千餘圓を主として合計八萬五千七百八十七圓を移入した

明年
仁川警備豫算

【仁川】十三年度の仁川府に於ける警備豫算案は當事者より此の程府へ提出されたが大體に於て十二年と大差はない主なるものは明年度に於て二千九百四十圓餘を增加計上されてあるが右は十數年前設備の水管の使用に堪へざるを補充すると共に明年十一月は仁川消防組創立滿四十週年に相當するを以て此の機に於て二十年以上及十年以上の勤續者を表彰し亦一般組員の士氣を鼓舞する必要上賞狀、賞與及び功勞褒賞を前年度より二百六十圓增加する意嚮に基ける方針であると

平壤祝賀會
汽車割引
團體三割個人二割引

【平壤】本月二十九日より十二月一日迄三日間平壤に於て開催の大同江鐵橋開通式及物產陳列所落成記念祝賀會參觀者の便を圖り京管局に於ては淸州平壤間第七八列車を變更し時に依り運轉し三等客車二輛を增結する外京城、龍山方面より安東縣迄の各驛西鮮殖鐵等は右期間中團體は三割引個人は二割引の割引を發賣して旅客の便を圖る旨運輸事務所より平壤に示達して來たと

全州煙草
分工場近く閉鎖
大邱の工場に合併

全州專賣支局では諸般の事業を擴張し職工の如きも東萊煙草當時に增加し八百餘名の多きに達し這般相生里の繭趾會社工場を借受て分工場を設け職工二百餘名にて口付煙草の製造を爲しつ、あるが聞く處に依ると近く同分工場の閉鎖すると云ふので其事實を確めるため大谷支局長を訪ねると氏は語る『分工場を閉鎖することは事實であるが其理由は大邱の支局に擴張を加へて今回三階建の新工場が出來たゝめ其新工場で製造する事[illegible]するやうな不便な然も原料葉の如き九分までは內地又は大邱方面から仰ぐので運賃諸係や又分工場の借賃を月五百圓も支拂ふ處から經濟上大邱で迎る事にした而し分工場の閉鎖に依つて直に事業を縮小したといふ譯ではない』云々

浦項水道工事

【浦項】慶北迎日郡浦項面の水道工事は遂に施設計畫を了し本府へ認可申請中の處過日認可の指令ありたるを以て直に工事に着手する筈の處土技手總力集が統營水道工事の不正事件に連座し一時拘束せられたので起工上一頓挫を來したが近々他の技術者を招聘するか次席技手をして任に當らしむるかの方法で工事の著手を見るに至るであらう

資金難に困る
鯳漁期を控へて

【大邱】慶北迎日郡浦項灣內の鯳漁業は例年十二月中下旬より開始せらるゝので十一月中より定置漁場の網入れを開始しつゝあるが本年は一般財界の不況と關東地方大震災の餘波を蒙り銀行業者の貸出しは一層警戒の手を嚴にしつゝある成依然漁業は重要なので水產資本の貸出るので當業者は非常に苦しんで居るが一朝にして數百萬尾の漁獲あるに於ては其水揚げ高も莫大なるので當業者は目下萬難を排して漁網の敷込みに奔走して居る

淸州狩獵大會

【淸州】兩三日來寒氣頓に加はり淸州附近の獵場には雉鴨が集來するのみならず四周の野山には雉子が取分け多いとの事で狩獵家は近年にない當り年だと評し合ふて居る其處で今度淸田組銃砲部が主催となり記者團の後援で來月二日を期し狩獵大會を催すべく確定して同好參加者を勸誘中である淸州署管內にて遊獵鑑札を受たるもの九十名中淸州面在住者五十四五名あれば其大多數は之に參加する模樣で取らぬ前から狸の皮算用に似て今から當日の功名を豫想して寄ると觸ると氣焔を擧げつゝあれば定めて盛況を呈するであらう

城津の大雪

【城津】城津では二十四日氣溫にはかに降り夜に入りて降雪あり積雪五寸に達し本年初めての大雪であつた

三面聯合畜產品評

【公州】公州郡木洞面、川瀨面、鷄龍面三面聯合畜產品評會十二十三日木洞面利仁里で開催賞品授與式は午後二時から面事務所前の廣庭で開かれ高山郡守より夫々賞狀の授與あり終つて訓示あり午後五時散會した當日は利仁普通學校の學藝會もあり未曾有の人出であつた

詔勅拜戴講演會

營口靑年會では去る十日賜はりし民風作興の詔勅を宣布すべく二十三日午後七時より小學校講堂に於て講演會を開き前田小學校長、尾崎警視、小川滿鐵新主幹三氏の講演があつた（營口）

宣川龜城道路修理

【新義州】平北宣川龜城間の道路は非常に險惡で交通機關の設備[illegible]

鎭海圍碁會

【鎭海】鎭海の圍碁同好者は二十五日常盤樂天で碁會を開いた午前十時開始午後五時終了一等賞大本二等賞桝本三等賞藤本君以下七等迄夫れ〳〵賞品の授與あり盛會であつた（鎭海）

衞生自動車購入

【仁川】府の衞生自動車は十八日其受渡しも濟んで仁川府の物となつたが該自動車はフォード式で撒水タンクと汚物罐との取替へが出來るやうになつて居るが既に今年は撒水の必要もないので明年の季節迄は汚物自動車として使用する筈である該自動車の汚物罐は一噸で撒水水量は約六石六斗であり走力は六十哩で價格は二千七百圓である

活動寫眞出張

慶尙北道社會課の文化宣傳活動寫眞班は十二月一日擧行する開寧郡廳落成式を期とし同日より三日間同地に出張一般の爲活動寫眞を影寫すると（大邱）

盲樂天氏來仁

京都桃山義塾盲人事業家の盲樂天氏は前に國事に奔走し南洋で双手兩眼を失ひたる後花田大佐と共に社會教育盲啞學校經營に盡力して居たが今回朝鮮地方の巡視旁ら講演行脚を試みて居るが近く來仁の筈であると（仁川）

地方集會

▲岡博士歡迎宴（新義州）廿六日鮮滿漫遊の途次來新したので生田平北道知事錦織新義州府尹其他有力者及び新聞記者等は同日正午驛ホテル食堂にて歡迎午餐會を催した

地方人事

▲生田平北道知事 二十六日京城から歸新岡博士の歡迎宴に出席即日歸任（新義州）

▲坂田四郎大尉（平壤飛行隊附）國境視察の爲め廿六日來新（新義州）

▲荒川安藏中尉（同）同上

▲辻慶南道理財課長 廿六日著任（晋州）

▲岡實博士 二十六日來新驛ホテルへ（新義州）

▲和田慶南知事 二十六日方魚津築港起工式參列の歸途釜山に一泊二十七日朝歸任（釜山）

▲澤田慶北道知事 岡山市へ歸省中の處二十九日歸任（大邱）

▲山本彥巳氏（慶北農務課長）二十七日より三日間善城若木龜尾へ出張（大邱）

▲高崎獨立守備司令官 滿鐵守備打合會へ出席の爲め二十七日來安（安東縣）

▲今井獨立守備四大隊長（同上）

▲藥島滿鐵庶務課長（同上）

▲酒井滿鐵參事（同上）

▲島大佐滿鐵囑託（同上）

▲內田少佐（同上）

▲小島常世氏（遞信局副事務官）貯金デー宣傳講演の爲め屬官四名を隨へ廿七日來新（新義州）

▲兪（慶北社會課長）英陽郡へ出張中の處廿八日歸任（大邱）

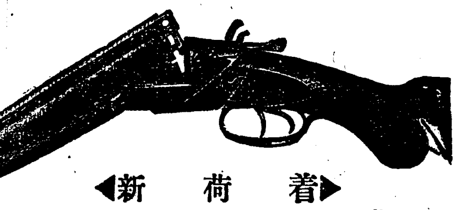
▲片桐要治氏（本府郵貯管理所長）貯金狀況視察のため二十七日來新二十八日歸任（新義州）

▲新田留次郎氏（本府鐵道部勅任技師）は佐藤技師を伴ひ南鮮一帶鐵道視察のため來馬目下慶南線視察中（馬山）

▲西崎慶北道地方課長 腸窒扶斯で入院中であるが經過良好不日[illegible]

府立 眼耳鼻科 仁川病院 主任 着任
電話 本局一六番 同 二一〇四番

創立明治參拾貳年 倉庫業兼營
京城府南大門通一丁目十九番地
株式會社 朝鮮商業銀行
頭取 趙鎭泰
專務取締役 岩崎虎次郎
支店（京城南大門・同本町・同東大門・仁川・平壤・利川・群山・光山・淸州）


新荷着
白耳義ブローニング自働銃
十二番二十六吋半　金八拾五圓
佛國セントエチエンス無鷄頭二連銃
十二番二十八吋三十吋　九十圓
[illegible]製造獵具類種々入荷仕候
鷄林商事株式會社銃砲部
平壤大和町七番地（長電話一八一番）
カタログ進呈

東海生命相互保險會社
共同火災保險會社
[illegible]火災保險會社
代理店
綿糸布及雜貨輸入貿易商
本町四丁目 河野本店

京城府西小門町二十一番地
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話光化門 一八三八 一八六〇
普通病室 隔離病室 設備アリ

弊樓事日增し繁榮に赴き候は皆樣方の御愛顧の賜と深く感謝仕候就ては之に感奮して時代に最も適合したる宴席新築中の處全部落成致候につき之を機會に大々的勉强致し皆樣方に御滿足を與へ申すべく候間舊倍の御引立を賜はり度伏して御願申上候
淸州本町二丁目
會席御料理 ほへと樓
電話 六四番 一三四番

資本金 八千萬圓
拂込濟資本金 五千萬圓
積立金 壹千百四萬圓
預金、貸出、割引、爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並ニ朝鮮、滿洲及亞港ニ於テ日本銀行代理店事務ヲ取扱申候
本店 朝鮮京城南大門通 振替貯金口座 京城三三三番
朝鮮銀行 總裁 美濃部俊吉
支店出張所 內地 東京 大阪 神戶 下關 朝鮮 釜山 大邱 仁川 平壤 鎭南浦 元山 群山 木浦 淸津 會寧 滿洲 大連 旅順 營口 吉林 安東縣 奉天 長春 鄭家屯 [illegible] 支那 上海 天津 濟南 露領 浦潮斯德 亞港 米國 紐育 外倫敦、巴里其他內外國要ノ地ニ爲替取引先有之候

初冬の近郊スケッチ
『肅靖門の寂光』
多田毅三

三淸洞を登つて砂白い松山を覗きに出た處に寂光を浴びて此の門が待つてゐる。訪れる人も無い山中に昔を語る門の淋しい物語りが私に傳はつて來るやうな。何處かで松葉を掻いてゐるらしい人の氣配がする

貞操蹂躙を國家が保護する
公娼を廢止せよ
奥むめを夫人

一體現在までの文化は餘りに男子の爲めのみの文化であり過ぎました總てが男子に都合のいゝやうに作られて居りました女は男の爲めの存在である一物質に過ぎない狀態に置かれて居ります

公娼の問題 も貞操のことも一として男子の專橫を語らないものはないのです男子は婦人に貞操を求めますけれども男子自らは果して妻に對して貞操を守るでせうか法律も男子の不貞に對しては有夫の女との場合のみは之を罰するけれどもそれとても何等の處罰でないとは申すまでもありません之を要するにあらゆる物事

女の權利を 認めて

に對する考へ方を男子が根本から改めなければならない時に到達して居るのだと思ひますこの世の中が人間の爲めにのみ創められたのでないと同じ樣に男の爲にのみつくられて居るものでない事は申すまでもありません婦人も立派な存在です

男子と差別 さるべきではありません公娼の如き女子を侮辱するのみならず國家の恥辱となるやうな制度の存在は容れざるべきではありません又男子の暴力に依る貞操蹂躙を國家が保護する責任あることは婦人の人格的存在を否定せぬ限り當然なさねばならぬことだと思ひます婦人參政のことも同じ理由で許容されなければばなりません既に男子の專橫時代は過ぎたのです男子は宜しく反省すべきです婦人は堂々と自らの **權利を主張** すべきです男子の爲めに又女子の爲めに——そして人類の爲めに……。

日本女子大學生が綿服を着る事に決議
半袴は白メリンスに

『どんなにおちぶれてもよくても親のお世話になる學生時代は質素に』と先生がやかましい註意しても年頃の娘さんたちのこととて女學生のお化粧やみなりがそろ／＼目立出した昨今日本女子大學の生徒は **自發的** に綿服斷行を申し合せた麻布校長に代つて幹事塘茂太郎氏は『從來この學校はわざと校服を定めてをりません、家庭の都合もあることですから何もこちらからぜひこれにしなくてはならんとは申ませんでした、ところがこん度の地震で生徒は兎も角婦人も帝都復興には分相應に貢獻しなくてはならんといふのでまづ先生達から一歩先に進んで指導しやうといふ事に定めたのです、所がこの

生徒は 每年度初めにその年内の自活生活計畫を立て每學期初めに決心會、毎學期終りにその豫定の事業が出來たかどうかといふ反省會といふものを開きますが十月二十五日の始業式がありましたあとでこの天災に臨時の計畫として大學部の五年生が自發的に『綿服斷行』を叫び十一月一日さらに會合の上全校生いよ／＼實行するといふ決議をしました例へば半襟は一切白のメリンスで持ち物は文房具類はすべて **實用的** のものに限るといふことに致しました、それで餘儀などは外へ通る場合は或は着ることもありませうが持合があると思つて綿服の新調をためらつてゐるとまたぐづ／＼とお流れになつてしまふから一枚や二枚位の費用は負擔しても斷然この際率先して改めやうといふことになつたのであります』

禁止された僕の詩集（二）
內野健兒

あゝ、われらの驟雨の後のやうな
目なざしは
はるか蒼々とひらけた上天の一方を望む
かさなりかさなる呪ひの雲波を遠くこえて輝く
永遠の明星！

これが「曙」の曲最後の三節である。勿論これだけでは作者の意を十分察していたゞくわけには行くまい。何しろ二十數頁を費してゐる中の最後の三節に過ぎぬのだから。がこれによつても作者の最後の歡聲は決して呪ひでなく反抗でない、ある理想に憧れてゐるのを知る事が出來よう。實に作者の生命はこの「曙」の曲に示さうと試みたもので、暗の曲、夢の曲はいはゞその過程である。

だからこの「曙」の曲を以て不可とするにあらばすなはちやむ。併したゞ闇の曲、夢の曲の一部を以て治安妨害とされるには議論の餘地があらうと思はれる。

讀者は一篇の詩は一篇としてこれを通觀して鑑賞するのでなければならぬ。然る時はこの詩が反抗の詩、破壞の詩と解せられないのは明瞭である。「曙」の曲に於てそれらの反抗破壞は打消されてゐるのであるから。今此處に『國家を打破せよ。……併しそれは皮相の見解である』といふ文があれば前に『國家を打破せよ』の言あるも之を危險といふ事は出來まい。後で打消されてゐるのだからそれにかゝはらず之を危險なりといふならばその見識の如何を疑はれるの外はない。さて僕の詩もいはばこの體裁の長いものたるに過ぎないのだ。あの詩は決して闇の曲、夢の曲、「曙」の曲が離れ／＼になつてゐるのではない。三者が合してはじめて成立し得るものだ。だから前半を見て「曙」の曲に現れた否定を見ぬ事があれば正當な見解か否か明白である。

風俗壞亂といふのなら一部分でも風紀紊亂すべきものがあらうけれど、治安の上よりいふ時は全體を通じてみるべきものではあるまいか。

要するに當局として全篇の主旨を看過されはしなかつたかを恐れる次第である。

また作者の不審に堪へぬ事は此の詩は既に去る四月耕人誌上で發表したのにその際は何等禁止なくして何が故今回二度目には特に禁止されたのであらうか。雜誌ではよいが單行本になるといけぬといふ理由は何處から來るのであらうか。當局の御示教を得れば幸ひである。

〇

不幸な詩集の爲め最後に批評の一二をあげる事を許されたい。これは禁止前個人々々の手に渡り、早速書き送られたのである。これらこそ亡い愛兒の墓前に捧げられるまごゝろからの花束でなければならぬ。

◇佐藤惣之助氏より

待つてゐた『土壙に據く』拜眺いたしました。よく出來たことをお祝ひします。この詩集によつてほんとうに朝鮮の美しいところが紹介され、君の藝術が熱情して人のこゝろにふれ得ることを信じます。

こまかい批評は出來ませんが、君のもつてゐられるものが、この詩集によつて強く人に映り、そして君自身の歩みに大きいランプをつけられた事をお喜びします。好ききらひのはげしい僕として、たゞ申上げられることは君の詩は好きな部へはいるといふことです。そして好きなものはよみます。敬具

◇鈴木信治氏より

それ以上に作家といふものは批評の出來ぬものではないでせうか

內野兄

……………實に立派な趣味のある確固としたものが出來あがつたことを心からお祝ひいたします。

單にそれは朝鮮の詩界に對するいい種子の播種者となるばかりではなく、本國詩壇にとつてあなた達の陷る存在とはずゐぶん大きな暗示でなければなりません。

朝鮮の發と存在とは私達にまで何を考へさすでせう。單に國家的に見ただけでも朝鮮といふ〇〇〇な變態的な存在は詩人の純真なる感性にまでどういふ映象を投げるでありませう。茲に私は何よりも君の心の聲に聞かうと思ひます

友よ！あの塔へ驕い響を聞け
はるか兵營から
暗い夜の寨ひきさきひきさき
喇叭の冷凉な音は白銀の双刃をひらめかし
われらの『暗い夜』の心をつんざくではないか
◇
立たう！友よ
われらはわれらの喇叭を吹き鳴らさう
吹いて、吹いて
あの憎悪にみちた喇叭の音を吹き消さう

內野兄

かくの如きものは實に警鐘を秘感させずには置かないところの聲ですしかもそれは階級が階級に對して、民族が民族に對して叫ぶところの現代の苦惱と鬪爭の聲ではありますまいか。これらの憎惡の聲、呪咀の叫びがこの先どういふところに和絃の調和の落ちつきどころを見出すかを私は知りませんそして君が飽も歌ひつゞけて言ふやうに『苦惱から苦惱に終る爭鬪、騷擾、喧騷よりも、われらはあつたかい桃色の平和に憧れる！』ものですのに。

內野兄

私は君の詩集のどの頁にも〇げられ〇〇され〇〇された民族の叛逆的な生活を見る氣がします。しかも私は君がその叛逆と意情と悲哀の上に立つて、それを鼓舞し激勵しようとする熱情と人道的愛の精神の嚴肅さに深く心を擊たれるものです。

內野兄

朝鮮といふ民族と國士とが日本の現在にとつて大きな意味をもつやうに、君の今度の朝鮮詩集は確に特殊な意味を我が詩壇にもたらすものであることを信じます。

そして今後益々君の詩情が朝鮮の風物や精神や生活の中に滲透して行つて猶も確固とした足つかひをもつてその未墾の地に深く根を下ろして行くであらうことを祈ります

―完―

短歌

にがき哀傷
嵯峨純一

みぢろかで抱きあひけりわかれゐていのちも細くなりにし二人。

しかすがに顫へぞみゆるわが肌にきみもるいのちありと知らゆな。

×

きみにゆく心のわざをさびしめりこの夜もおそく疲れてかへる。

×

きよらけき處女とあればふれがたき哀しきものをわかみたりけり。

×

ぬばたまの闇のぬれ髮手にふるゝいだかば罪となるべきものを。

×

灯ともせる市路に逢ひぬ人避けつひそかに斷りわかれけるかも。

しみじみときみが哀しき言葉よりさみしくもきく夕時雨かな

晩秋の賦
神戸　兒玉善遠

あさあけの家並みゆる小高きに唐黍の根を起しゐるかも。

×

月しるき小夜の鷄尾前木蘂のさゞめたちて葉並かゞやく。

×

畑ふらねの辻によせ焚く乾び草入日まぢかく空澄みにけり。

×

戸閉め窓伏いね白き田みなみに互さみしく秋日受けつゝ。

逝ける秋
張元鐘

書き倦みて思ふことなく坐りけり晋慾を訪ふ落葉のしづけき。

×

秋の陽の沈まんとするつれなさに己が影を抱く枯木立ちかな。

×

庭の面の落葉をふめばひそやかに今年の秋も暮てゆきつゝ。

×

月すみて公孫樹の葉をのゝぐ夜なりたゞひとりゐて涙ぐむわれ。

×

神無月のなが／＼と更ける夜は古き日誌をさみしく讀るかも。

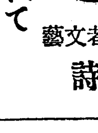
×

かりがねの泣きつれてゆく月夜とて夢とぞ覺ゆねむるにあらねど

×

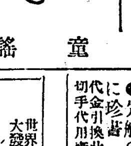
紅葉してはなるゝ身にはなりぬれど落ち重ぬれば淋しからまし。

（一一・一九二三）

讀者文藝　詩


床屋にて
醫專　〇Y生

髮床の親爺—
仔細ぶつた樣子で
鋏と櫛とを取り上げる
何の苦も無く
世の煩雜を避くやうに……
椅子には
入れ替り立ら替り
誰も彼れもが
言ひ合したやうに
鏡に映つて見るのを忘れない
世の塵を拂つて
ほつと一息したやうに……
さて大きな鏡は
ほんとに例巧もので
少しの油斷もしないで
いつもながらではあるが
明るい顏をして大眞面目だ
—人間は皆役者ですねーと

童謠


石の鳥居
齋藤正一

石の鳥居のてつぺんに
投げた石ころ納まると
きつと願がかなふなら
遠いあの世の母樣に
どうぞ會はせて下さいな
一つ放つたらかんとはね
二つ放つたら飛び越えた
三つ四つ五つは皆おちて
高い鳥居のてつぺんで
くやしい涙に會ひました

かけつくら
米坊

大寒小寒の夕暮れ小暮れ
からころ木の葉のかけつくら
黄い勝て赤勝て
フレー／＼／＼
梧桐にポプラ楓の葉
風の應援フレー／＼／＼
勝ち負けなアーシにかけてつて
本町の角でクル／＼と
負け勝ちなしに廻つてる

雲
下井いさむ

くもがまつかにおこつてる
まつかなくもと
まつかなくもが
にらみつこしてる
なぐりこしたのやろか顏にこぶが
おつぱい、おつぱい、出來て居る。

大特價 珍書一組六冊 金壹圓
男女秘密草紙 戀の場面を大膽に露骨に書いた
〇美本弐冊一組特價四拾錢
若い女の秘密
生殖器
秘密全書
色情の事や其外一つ覺えても二圓數百委く公開したる珍書
●先般の大震災に當店では被害を免かれたる御禮に珍書一組六冊一時に申込者に送料共壹圓に割引
代金引換廿錢増　東京市小石川初音町九
切手代用一割増　振替東京六三六九七番
積文堂本店

世界的大發明 小形ピアノ（勢山正良）
高二尺五寸 巾二尺三分 目方 八貫九百目
（ニセモノ御注意）
價格 金百貳拾圓　荷造費 金五圓
どうか此の一台を學校に御家庭に御愛用賜らむことを!!
◇市内は電話光化門 番へ
於朝鮮元祖樂器界 米獨貿易輸入元
京城鍾路大通り（鍾路警察署前）
セヤマ樂器店
電話光化門一一二三番 振替京城一〇七五六番

京城旭町二丁目八番地
外科 皮膚科
瀬戸醫院
（電話本局二四九八番）

測量諸機械

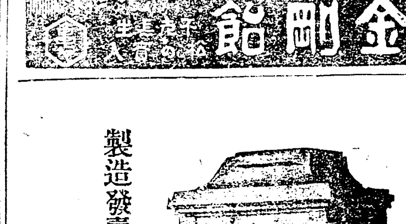
在庫豐富
京城本町一丁目
篠崎商店
電話本局 一二〇三 六四八 番
振替口座京城一五四番

內科 胃腸病
診察 夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話 一三〇九 三五九五番

毛糸店 ユンゼル
京城南大門通二丁目（丁字屋隣）

小便近い

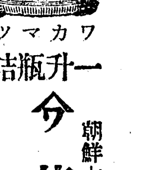
ほまれみそ


金剛館

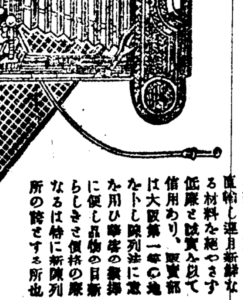
服んでスグキク
頭痛
くわい 田 → こう 効 さん 散
齒痛、頭痛、神經痛、リウマチス等に
東京 森田弘仁堂藥房

特許 炊事兼用 川上式ストーブ 耐火モルター入
川上式ペーチカ（各種アリ）

型錄進呈
製造發賣元
京城櫻井町一丁目一四〇
スミレ屋商店
御註文ハ電話 本局 三七九九 番へ

優等清酒

ワカマツ
一升瓶詰
朝鮮大邱府東門町
若松商會酒造場
電話長 一二二番
振替京城一〇三七番

早きが勝
震災免品 特別提供
東京カール ツアイス社藏品
品質完全 新品確證
獨逸イカ會社製 アトーム
カメラ ヘリオス玉付 五十二圓
ビクトリックス ノバー六、八付 四十九圓
何れも四半X六センチ判最小カメラ旅行用個數五十餘り代引御斷り

寫眞機直輸入元

價格低廉…品質精良…誠意第一…主義の店
大阪
上田寫眞機店

…航した朝鮮京城延禧專門學校教授 匿正一氏は二十五日入港の津比丸
分は朝鮮人の生活に合致した基督教を主張する」と宗教の獨立より
數十名の村民
…を訊した所二十五日高麗々曾肥趙…與先が公金費消罪によつて同署に ある
ものらしく目下秘密裡に取調中で
…菜煙草八十貫が途中紛失して到着しない事件があつた、一方龍山署
…二里の山林中に隱匿し居る旨自白…を拔き取り漢江上流江岸より約
…京畿道保安課長藤本源一氏は此度 …るすることになつてゐる、後任仁川署…

京城府議選擧に 死亡者も投票した 他へ轉居して居る者も 有權者名簿にある

安藤、曾我氏等が調べあげた事實

京城府議選擧無效訴訟の申請をした曾我勉氏、安藤潔南氏は大和町一丁目の安藤氏の事務室で喫煙を燻みながら交々語る──兩氏とも旋毛を曲げてむつつりとしてゐる

今度の選擧は實に怪しからんよ、昨年死亡した辯護士の大久保雅彦氏や渡邊理事の大內要氏などの名もある高等法院にゐた(現在東京にゐる)渡邊暢氏の氏名も歷然と殘つてゐる自分等の調査した所に依ると

死亡者にして選擧權を行使したりと認定せらるゝ者

本町一ノ四八黑川磯八▲本町二ノ三大塚勇藏▲永樂町一ノ四六田北武七郎

死亡者にして氏名の記載あるもの

本町三ノ一〇二玉村百平▲大和町二ノ三六岩見伊勢松▲本町四ノ一二八岩見國太郎▲日之出町二河田四郎▲水標町松田某▲仁寺洞二九閔平植▲清進洞九三鄭求昌

等があり現に民籍簿に登載してあつて本人は府內に居住しない者が本町一ノ四八横山隆一(神戶)▲黃金町三ノ三四五中野谷秀(大連)▲大和町二ノ一林茂一郎(岐阜)▲永樂町二ノ七七芳賀豐吉(平壤)等があり當日旅行不在であつた者黃金三ノ二二五六江波銀次▲同二〇六布留川治作同一八四岩田通郎の諸氏がある、女子にして選擧の通知を受け當日會場で拒否されたものが二十餘名ある

大和町三ノ一矢嗣一枝▲唐珠洞三入金優熙▲樂園洞三七朴容成

その他三十餘名に達してゐる、現に李王職に女官を勤めてゐる韓松洞千一濟女史の姉きも選擧名簿に登載されてゐる、代理人の選擧に出入したことは李王職參事宛南洞七二李裔永氏が當日午後選擧權を執行すべく會場へ行くと既に同氏の前に李裔永と名乘る人間が來て同氏の印鑑に似た印鑑で選擧用紙を請求し選擧を濟してゐたと言ふ事實がある之は府當局でも認めてゐる事實である、死亡者や既に當地を退出してゐる人物の名が名簿に記載されると言ふのは府當局の調査の疎漏を雄辯に物語つてゐる廿七日京畿道に時實知事を訪問したが知事は異議申請の期限に就てお話があつたが廿五日に當選が決定し同日午後八時に郵送したものので時間としても僅に五六時間の相違であり重ねて陳述書を提出して置いた知事は不正を認むれば自分等の申請を待つ迄もなく選擧を遣り直さなければならぬ」ことを言はれた自分等は此の成行きが何うなつても徹底すべきを盡し徹へ探擧に至らなくとも此の顚末を府民の前に公表するため市民報告會を開催する心算である」

時效に懸つてる

府は廿日當選の通知書を配達したので廿四日が期限

府議選擧に無效投票があつた事が暴露されてから、やれ申請の期限が經過してゐるから無效だの、いや、最後の日二十五日が日曜に當つてゐるので二十六日までを有效とすべきものだ、民法に於いても尙チヤンと規定されてゐるではないかと各所で是非の論が口角泡を飛ばされてゐる、選擧を遣り直すにしても遣り直さぬにしても重大問題である、府民は此點慎重に研究する必要がある、處で問題の中心たる府制施行規則第二條十六項

『選擧の規定に違反の事實があつて選擧の結果に異動を生ずる虞ある場合に限り道知事は選擧又當選を取消すことが出來る、そして若し以上の事實があつた場合は選擧人は當選者定まりたる日から五日間其理由を道知事に申立て▲選擧處置を求むることを得』(夕刊記載)

とある、之によつて見れば當選がきまつた日から五日以內に異議を申立てなければならぬことになつてゐる、處が久住一二氏外五名の申請書は二十五日に郵便局に書留として出され府廳の手には二十六日に屆いてゐる、申請者側は二十五日が日曜であるから二十六日まで有效であると云つてゐるが、茲に面白い事實が現れて來た、それは誰もが二十一日に選擧が確定されたと思つてゐるらしいが事實は二十日の日附で當選告知書が出されてしかも其の夜の中に配達されてゐる試みに其文を掲ぐれば

當選告知書

大正十二年十一月二十日行ひたる京城府協議會員の總選擧に當選せられたるに付此段告知候也

大正十二年十一月二十日

京城府尹　谷　多喜麿

これによつて見れば二十日から起算して五日の期限は二十四日が最終の日になつてゐるから申請が無効であることは明かである、尤も前記の規定によつて見れば萬事は道知事の腹の裡できまる問題である、申請が無效であつても知事が斷乎たる處置を執るか何うか其成り行きには府民が齊く注目してゐる所である

菊池軍司令官 攝政殿下に拜謁

過日上京した菊池朝鮮軍司令官は二十八日午前十時半參內御學問所に於て攝政宮殿下に拜謁御機嫌を奉伺の上夫々今下の軍情を伏奏して退下した(東京電報)

李王世子殿下

十七年間の御研鑽で 優等の御成績で大學卒業

近衛步兵第二聯隊附步兵大尉大勳位李王世子垠殿下(御年二十七)は愈々今廿九日優等の御成績で陸軍大學校を御卒業あらせらるゝ事となつた、殿下には日韓併合後明治四十二年十二月十一歲の御時故伊藤博文公扈從故事務官金武官等を從へ御入京以來實に十有七年最初は鳥居坂御用邸で櫻井理學士に就き初等教育を受けられ同四十四年學習院に入られ大正九年陸軍大學校に御入學此の間始終優等の御成績で朝鮮に在らせられる李王同妃兩殿下にも殊の外御滿足に涉らせられ祝賀言上の御使として閔李王職長官を差遣はされ同長官は二十六日著京した尙十七ケ年の長い間一日の如く御輔導申し上げた前記三氏の功勞は多大なものである(東京電報)

出雲製織 發火全燒

損害數十萬圓

廿七日朝島根縣簸川郡今市町出雲製織株式會社から發火四百廿五坪の建物及器具機械類に燃え二千六百貫を燒失して十一時半鎭火損害數十萬圓原因は混綿機からしい(松江電報)

世界一週の新航路

船舶王の計畫

最近に來朝した米國の船舶王ダーラー汽船會社社長ロバートダラー氏は最近米國船舶局より優秀なる大型客船七隻を拂下げ米國より東洋を經て歐洲に出て大西洋を横斷歸航する世界一周の新航路を開く筈で上海外人商業會議所會頭の令息ホラルドダラー氏を神戶に呼寄せ新計畫に就き協議すると(東京電報)

元山の火事

百軒長屋の騷ぎ

廿七日午後七時頃元山府仲町一丁目裏通り俗稱百軒長屋の內平井依藏方中二階から發火したが町內備へ付けのホースで防火中時を移さず消防隊出動して消火に努め且折柄夕方からの雨が幸ひにも大降りとなつたので同家を半燒せしめ同七時五十分鎭火した現場は小屋軒を並べ附近には丸芳の大建築あり且裏は軒を接して仲町本通りの目拔き場所へ控へてゐる事とて一時は非常な混雜を極めた原因未詳なるも發火は中二階にて人の住居にせず物置同樣に使用しゐたので夕刻同家の子供が蠟燭を燈して本を取りに上がり蠟燭を置き忘れたのによるものらしく損害は目下取調中である(元山)

檢燈の結果發覺した 電流盜用者二百名

殆んど內地人で鮮人にはない

需要期に入ると同時に電流盜用が非常に殖えたので京城電氣株式會社では去る二十日から黃金町線以南、南米倉町、旭町、本町、永樂町、明治町、黃金町、南山町、新町、東新地一帶主に內地人家屋のある箇所に社員を派して檢燈したが二十七日までに犯則者二百五十餘名があつた右に就て京電寺尾營業課長は語る

『違犯者二百五十名のうち半數以上は電氣に對する智識がなくて不知識の間に罪を犯してゐる方が多い一つは住所の移轉が激しいので前の居住者が着けてゐた電球をそのまゝ使用してゐるのも可なりに多い、妙なことに鮮人にはそれが一つもないことです、以前から見るとずツと少くなりましたが兄として鮮人を誘掖して行かなければならぬ內地人側に犯則者が多いと言ふのは殘念です、歐米の智識階級の故意の盜用など言ふことは殆ど絕無と言つて好い、嘗て自分の知人の婆樣の話であるが夜仕事をする時には別の球をつけそれを終ふと還て、電球を變へるのを見た子供が不審がつて『叔母さん何故球を變へるの』と問はれて返辭が出來ず家に歸つて來てその婆樣に『叔母さん何故家では電球を變へないの?』と問はれて兩親は目を見合せたと言ふ話がある、之が年少子女の純な頭腦に何う影響するかも考慮しなければならぬ、幸ひに違犯者の多數が電氣智識が薄いから違犯したのが多かつたから好いが爾今は需要家各位の御注意を促して違犯が絕無になる樣にし度いものである

遊んで完全に納稅が出來る

納稅組合の設立を府が勸誘 面倒は總代と主幹が見てくれる

京城府は有らゆる機會を捕へて納稅成績を擧ぐべく努力して居るが今回も遞信局で催した全鮮貯金デーを機として納稅貯金の宣傳ビラを配布し納稅組合の設立を勸誘して居る尙其組合規約は全文十一ケ條から出來て居るがそれによると組合員は毎月租稅公課年額の十分の一以上に相當する金を銀行、郵便局所又は金融組合に預入れ納稅の度每に拂戾しを受けるのである毎月の貯金額は毎年年度初めに決定し貯金の預け入れ、拂戾し、納稅の手續などは一切組合の總代と主幹が面倒を見る事になつて居る要するに組合員は月々一定の貯金さへすれば自分は遊んで居ても完全に納稅する事が出來ると云ふのが此の組合の便利な點である

勤勉貯蓄の 出世美談 (1)

裸一貫から數萬圓の財産家

稼ぎ溜めた七圓五十錢を資本に 刻苦勤勞した孤兒物語

兎角なまけて貧乏神を自ら招く人の多い世の中にこれはまた珍しくも同一商內に立志傳中に加へらるべき二人の出世美談がある、一人を趙成鶴と云ひ他の一人を安觀龍と云ふが此二人は何れも京畿道は坡州郡臨津面に居住する同地の富豪である。

◇

先づ趙氏の方から紹介すると氏は家なき孤兒から二十年にして數萬圓の資產家となつた、生れは慶北尙州で七歲の時父を失ひ十二歲にして母に死に別れた寄る方なき可憐の孤兒は何處を指すともなく旅から旅への流浪の身となつた、されど彼が立身の基礎は早く既に此時から萌して居たのである。

◇

彼は十二歲の幼年ながらも考へた、これからは何商をするにも金がなくては出來ない而して金をつくるは貯蓄に限る、今自分は一厘の金もないが幸ひにして父母から健全な五體を生みつけられた此體が第一の資本である──とそして彼は或る市場廻りの商人に賴み込んで其荷物を脊負はして貰つた、彼は雨の日も風の日も更に厭ひもなく神妙に其商人の行商に隨行した

◇

彼は其商人から受ける些細な賃金を以て衣食の資に充て且一錢二錢と零細な貯蓄も始めた斯くして一年二年と立つ內に多少商賣の道も心得たので主人から少々づゝの品を借受けて自らも商ふやうになつた。

◇

爾來遣り繰り繼いで彼が二十歲になつた時に漸く節約に節約を重ねて稼ぎ溜めた金がたつた七圓五十錢であつた、しかし此七圓五十錢が軈て數萬圓を產み出す親金となるのである、彼は此大枚七圓五十錢の金を懷にして京畿道坡州郡の汶山市場に飛び込んで市場廻りの商賣となつた、彼が此地を選んだのは汶山といふ所は周圍に市場が多くて行商に便利なのと京城と取引をするに都合が好いからであつた。

◇

やがて彼は汶山京城間の交易を始めた汶山からは雞卵を京城からは生鮮と雜貨とを運んだ、玉子は三錢で雞と生鮮は二割の口錢がある、そこで間もなく三十圓の貯蓄が出來た、ところが此時惡者から十四圓を持ち逃げされまた五十圓を詐はへた時十八圓を詐取された之は彼にとつて大きな打擊であつた、されど剛直な彼は常に之を天が與ふる試練であり惡藥であると心得て一難の來る每に勇氣を百倍してこれを償ふべく大いに勵いだ。

◇

斯くて三年の後には相當の財を蓄へたので驢馬一頭を手に入れ商業を擴張して布木を商ふやうになり一躍に百五六十圓の品を仕入れて市場廻りや部落廻りを始めた斯くすること四年彼が二十九歲の時には既に一千六百圓といふ財產をつくつた、それは溜るばかりではない殖やす工夫をした、卽ち自分が働くばかりでなく金にもせつせと働いて貰ふた其金を働かせる方法として彼は畜牧業を經營した。

◇

春川牧市場は牛市場として有名だがまた同時に米市場としても其名が知られて居る現に此の市場の隣に京義道京畿線に金村驛が設けられた位である、京城から此市場へ米買に來る者は只で牛を曳いて來て米を仕入れるのである現金を懷にすると盜賊に罹る患があるので金を持つて往來する者はないそこで彼はこれに眼を着け其賣買の中間に立つて保管方を引受け百分の一の手數料で京城に於て勘定することにした、而して京城からの自分の荷物は無賃で運搬して貰ふた(つづく)

日向ぼつこ─椽端の絲卷

復興を急ぐ帝都に 山の如き停滯貨物

薪炭缺乏で慄へてゐる市民を 横目に無關心の鐵道當局

復興の東京へ送り込まれる一日の貨物は木材四百四十車、薪炭百二十車、米百八車、石炭百二十車、砂利百車、建具類四十五車、石材四十五車を主なるものとして合計一萬八千七百トンであるが鐵道省ではこの數量に基いて東京驛外廿一驛著扱ひの貨車一日一千八百三十二車同一萬八千トンに制限することゝなつた震災前の鐵道の輸送力は一日二千四百車約二萬四千トンで鐵道省の今度の制限は一日約六千トンの不足を來す譯である、しかるに地方の各產地から東京へ送らんとする停滯貨物は夥しい增加で最近の調査によると東京宛のもの三十萬三千トン府線宛のもの三萬五千噸合計實に三十三萬八千トンに達し如何にしてこの停滯貨物を東京に送らんかと各地では苦心慘憺してゐる一方市內の在貨は殊に心細い有樣で薪炭の如きは此暮に差迫つて何等の施設を爲しはせぬかとさへ危ぶまれその結果値段の如きも最近では價け出された上に更に物價で苦しめられてゐる(東京)

福岡市暗黑

電工の盟休騷ぎから 電車は運轉不能

東邦電力九州支社にては數日來電工の同盟罷業騷ぎあり其主謀者たる電工大塚良一(二〇)藤井哲也(三〇)新谷義雄(二〇)の三名は廿七日夜福岡全市の點燈の基たる發電所のスイッチを切斷して全市を暗黑となし更に電燈電車の動力部主要機械を滅茶々々に破壞したので二十八日は電車運轉出來ず同市では九水支社に交涉し電力の供給を受け漸く午後から僅に電車を運轉してゐるが明治三十九年一月の東京電車罷業以來の大事件と目されてゐる福岡署では直に三名を逮捕し一方會社では復舊工事を急いでゐる(福岡電報)

電工が賃金 値上要求を拒絕されて

別報=福岡市の東邦電力九州支社の電工六十名は數日前時間短縮と賃金三割値上げを會社に要求したが二十六日會社から要求全部を拒絕されたので首謀者大塚外二名は二十八日午前四時頃發電所を襲擊し主要機械を全部破壞したので電燈は消え漸次暗黑となり又電車も動かず一時は非常の大混亂を演じたが午前九時頃に至り五臺位の電車は運轉し始めた尙二十日中には電燈も復舊すべく其筋では此事件に關し嚴重取調中(廿八日午後七時著電)

支那職工御用

當時安東縣鴨綠江の支那紙工場にて働き居りし者田松德(二〇)同鄭德(二〇)住所不定金世國(二〇)の三名は共謀して去る九月廿九日午後十一時頃安東縣市場通り四の一番地滿洲十美運動具店へ忍び入り店金庫(現金十二圓位在中)を竊取して分配費消し其まゝ支那奧地へ逃走巧みに行く方を晦まして居たが此程また安東縣を迂路ついてゐる處を安東警務署員に逮捕され目下取調べ中

華府會議の 論功行賞

總花主義を避ける

貰ふ方に有難くない 山本首相の聲明 恩命は東宮御成婚後か

ワシントン會議の論功行賞は英、佛、伊の批准も濟んで、ほゞ成案を見た時、加藤全權(友首相)の死去に次いで今度の震災のため延びくになつたが最近愈々外務省の手をはなれて內閣に移りおそくも來月半までに發表される見込だ、その下馬評によると首席全權の加藤首相は子爵になつたし、全權徳川家達公は勲一等旭日桐花大綬章を加授される同じく當時の米國大使幣原喜重郎男が昇爵して子爵はその後會議中長い間病氣で休んだ關係もあり殊々勳章加授だけとの事で或は男に代つて隨分重い役を果した隨員埴原正直氏が男爵になるか問題だが而し國家の大事に働くのは當り前だから今迄のやうに判でおしたやうな授爵は今の時代からいつて思はしくないといふ方針からあつさり[illegible]くらゐの落ちを見るかも知れない、しかし外務省內部では內田外相の伯爵、幣原男、埴原氏の昇授爵の說もあるらしいどちらか勝つか蓋をあけるまでは分らないが、かりに外務省で頑張つたとしても極少數の範圍の授爵であらう同じく隨員の樋田千之助氏が一躍勳一等の瑞寶章を授けられるのは先づ間違ひは無く以下隨員、關係者も勳章、金銀品を下賜されよう院の方面その御多分に漏れまいか果してこの機會に伊東巳代治伯や平田東助伯に迴れた清浦議長が昇爵の恩典に浴するか恐らくそれも東宮御成婚の時であらうといふ何しろ山本首相が總花主義は避けると聲明してゐるのは、貰ふものによつて有りがたくないところであらう(東京)

外航には支障ない

郵船の盟休事件

日本郵船同好會幹事は此際第三者なる一般公衆の交通運輸上に支障を來す事は本來の目的上甚だ遺憾とする處であるから內外とも萬一斯樣なことになつて自分等の運動上に影響を及ぼすかも知れぬとあつて廿七日夜海外各支店出張所へ旨特に注意電報を發し內地の各支店へも同樣の注意電報を發して來たので此分ならば氣遣はれた海外各港入港船の運航には大なる支障もすまいと思はれてゐる(神戶電報)

三人組の强盜

土地管理人を襲ふ

慶北慶山郡瓦村面題川洞の農朱進毅(二〇)は朝鮮興業株式會社慶山管理所の土地管理人であるが去る十六日頃自分外十八人分の小作料二千百五十四圓を會社慶山管理所に納めての歸途午後六時半頃同郡神樂面金龜洞神樂橋附近を通行中三人連れの鮮人に出逢つたが三人寄りて懷中に入れて居た現金百四十八圓を强奪して何處へか逃亡した急報により慶山署は八方に手を廻して犯人捜査中であるが未だ捕縛されぬ(大邱)

疑獄事件

名古屋へ移送

高橋義臣以下十名の東京市疑獄事件上告裁判は大審院刑事第一部係で横田院長が自ら裁判長となり審理中であつたが二十七日午後一時被告熊谷巖のみは棄却、高橋義臣以下九名の上告は破棄し名古屋控訴院へ移送するとの判決言ひ渡があつたが東京控訴院の判決は熊谷被告懲役三ケ月を認め高橋義臣の懲役二年六ケ月追徵金六萬五千五百圓以下九名の判決は不當なりと認められ名古屋控訴院へ審理を命じた譯である(東京電報)

電車の飛降

二十八日午後五時東大門から南大門に向ふ電車が鍾路三の十五番地前を進行中水原郡大書面紅職工方完玉(二〇)が飛降り損ひて顏面に負傷したので安東醫院に擔き込んだが輕傷で治療の上歸宅せしめた

鮮人死體漂着

富川郡文鶴面海岸に二十七日午前十一時頃年齡二十五六歲位の鮮人男の屍體が漂着してゐたが係官檢死の結果右は富川郡大阜面生れ當時船業姜光九(二五)なる事判明屍體は折柄搜査中の兄姜某に引き渡した(仁川)

演藝案內

喜樂館

京城本町一丁目 電話一〇九七番

當る十一月廿七日より超特別大公開

ニコ〱『ロイドの無作法者』長尺 快漢ハロルド・ロイド君主演

●尾上松之助大猛闘俠客劇 舊劇『片腕喜藏』全五卷 腕は一本刀は二本!度胸で拔いて度胸で斬る昔は野出が今では變る町奴此腕一本千両だ!!

●ルス・ローランド孃大活躍 ■連續『ホワイト・イーグル』第四篇四回第七、八篇 暗殺陰謀と恐怖に迎る今週を見よ向島超努級特作

■鈴木謙作監督 山本、葛木、五味、小栗武雄大共演 下町情話『紋清殺し』全六卷 櫻咲く花の都で娘義太夫竹本紋清の艶姿を中心として悲しき戀美しき戀!迫らるゝ戀と呪はれた戀!戀と死と生と!愛も熱情も死も悲しては徒らに懊惱と焦燥に終る本篇を多情多恨の世の子女へ捧げます

大正館

松竹特約 日晝夜 當る廿七日より名畫公開

報恩週間

●血の叫び以來大入大評判 イタラ會社映畫 ニコ〱チヤプリンの追憶 全壹卷

人情劇『感激は何處』全六卷

●松竹キネマ超特作 エレナマコワスカ演▲解說桂旭天 現代映畫『虛榮』全四卷 ▲岡本五郎▲三村千代子共演▲解說西村樂洋

▲時代映畫 新朝日日記 全三卷 ▲川田芳子出演▲解說西村樂洋

フォックス會社映畫 大活劇『血に燃ゆる沙漠』全六卷 ▲ホバート・ボスウオース演▲解說高宮敬一郎

報恩週間に於ける提供映畫の內容として實に當を得たる一般的名畫たる事を失はない老若男あらゆる階級の愛活諸士にどれ丈の滿悅と感謝の念を與へるかは此の好番組だけに計まらないそれは本週間の大入入場者に漏れなく『松竹蒲田撮影所人氣俳優川田、諸口、栗島等の推賞された特好品一人一瓶づゝを贈呈することになつた當事者の大英斷は必ず一般の同情と人氣を博するに充分であらうより證據此の一般的な好映畫の鑑賞と同時に誠意ある當番者の御志を御受け下さい

▲特別番外▼ 大喜劇 ローリン映畫 『ロイドの水兵』全四卷 世界一の大快漢ロイド君の大芸當で腹の底から笑つて下さい。笑ふことには稅金無用 料金時に値上せず

黃金館

松竹キネマ直營 毎日晝夜 當る十七日晝間より

一實寫 二、喜劇 馬鹿長門 全一卷

ジョージゲーンスファー作品 テーラーホルムス主演 人情劇『活躍の天地』全七卷 原名(レッドガップのラッグルス)

エメルカ會社製作 喜劇 三百馬力の結婚 全二卷

スターシリアル映畫 大活劇 連續 英雄キッド 第三回全四卷 エディーポロー氏大猛演 輕快なポロー特有の活躍が火華を散らす

松竹キネマ作品 現代映畫 親娘の旅路 全五卷 父…岩田祐吉氏 娘…栗島すみ子孃 妻…林千歲 茂木スター岩田氏が過ぎし彼れが加茂…其の謎は解けたり顏觸れが健全なる門數枚を藝術のために犧牲に供したるが故なり……此の因りて完成せし純白の雪を頂に心熱の兒と金星栗島澄子との苦にする大なる大自然富士の裾野に起る哀れなる物語り………○陣頭なる黃金ステージを!渡邊春波、客員、齋藤愛光に映畫、音樂、解說、なる黃金館へ!

中央館

マキノ映畫 毎日晝夜 當る廿七日より特選映畫封切

〇實寫ユニバーサル週報

〇連續 大魔王 四卷 エディーポロー氏猛演 前回は尺數の都合上二卷上映致しましたが愈々今週最終の四卷提供

〇マキノキネマ株式會社特作 市川幡谷片岡市太郎片岡松太郎 探偵劇 三好清海入道 全五卷 穴山小助の妹お園と戀人要三郎の二人を誤つた見解から遂に死に至らしめ三好は主となつて彼等再び大阪の探索を命じられ壯飛

蕾のまゝ

マキノキネマ現代時作大映畫 全六卷 ○島田嘉七、森靜子、本間直司共演 全編肉を得て奇行百出の大痛快劇 京の家の舞妓千代菊と京の幼の實い戀はいつしか芽生へた運命の憂き事のみ續くのであつた半生の神に弄ばるゝ二人の涙多い夢はに流れてゐる鴨の水面に二人の涙は一つとなりどこ迄流れて行くのやら

浪花館

明治町 電話二六〇 當る二十四日午後六時より 講談界の名人 小金井蘆洲一行來

▲馬場八郎 小金井洲山▲寬永三馬術 ▲神田自山▲紀文大盡原龍馬 ▲江戶情話切られ與三郎……東海俠客清水次郎長……安政奇聞三ツ組盃……一代の義人山內署長 成功美談……原少佐 法會讃……大震災餘話 長三席 三代 小金井蘆洲

開盛座

龍山 元祖 空中電氣應用劇 節劇 尾上小奴 大一座 …近日開演……

〇資本減少公告

株主總會ニ於テ當社資本金額壹百萬圓ヲ減少シテ七拾萬圓トナス件決議相成候條當社債權者中御異議有之候向ハ大正拾參年貳月拾日限リ御申出相成度商法第貳百貳拾條及第七拾八條ノ規定ニ依リ此段公告候也

大正拾貳年拾壹月廿九日

朝鮮火藥銃砲株式會社

共樂園は時代の要求に應ずべく節約を信條として廉賣實行の魁

茶 眞正宇治 製茶販賣元 京城府黃金町一丁目五五番地 共樂園 取次本局三二〇八番 振替京城五四三五番

京日案內

產科 婦人科 外科 花柳病科 仁川寶町 入院隨意 鶴田醫院 電話七三四番

京日案內 一行十五字詰五行一回壹圓拾錢 但シ廣告料ハ前納ノ事

毛皮なめし並に仕立 鳥獸類剝製標本調製 鳥獸毛皮羽毛買入 毛皮鳥毛貿易商 京城本町二 大橋元商行 電話二〇六番

高等下宿 場所便利よく座敷廣く清潔にして安價にて親切に待遇す 京城旭町一丁目 電話本局一五五二 (千成跡) 平和館

電話 格安讓物あり擔保低利金融讓店賣買共出合あり双方共御申込被下度候 明治町二ノ一三 電本局一一二九三番 柏屋商會

電話 賣買貸付金融低利迅速公價債券高價買入 御照會大第直報 明治町實化病院前 小出商會讓受 井上商會 電本局三〇二四

御不用の書籍は是非弊店へ、時價以上高價に買ひます 本町二丁目(郵便所前) 寶邸堂 辻書店

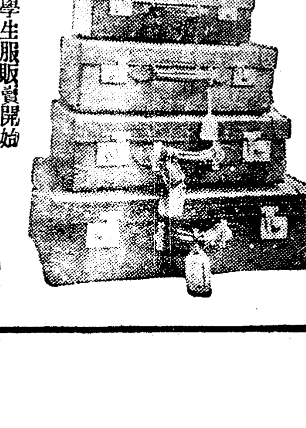
特別欄

バイオリン尺八 通信教授 何人もスグ上達する新發明 くわしき規則書進呈す(郵便注意) 福岡市中島七〇 大日本家庭音樂會

痔疾專門 入院隨意 京城久枝肛門病院 京城明治町二ノ三二 電話本局二一〇二番 同病用三七二二番

時計と寫眞機 貴金屬 寶玉石 銀器 銅器 錫器 活動寫眞機 幻燈器 各種材料 株式會社 大澤商會京城支店 京城本町壹丁目

鞄─靴─洋服



大田監獄謹製學生服販賣開始 學生靴特價販賣す御入用の方は御一報次第市內は店員拜趨可致遠方の御方には型錄送付可仕候 學生鞄 一ボックス德用靴賣出し一足金二圓八十錢均一 地方は足袋文數御通知下され度見計ひ御送附可申上候 京釜線大田春日町一 製造販賣 朝鮮革具合資會社 長電話一七二番 振替京城九八七〇番

災後の戀（三）

上司小劍
挿畫　伊東深水筆

蓮紅（三）

「あの瀧へ飛込んで死んだら面白いでせうね。」と、花枝は少し浮れ氣味で言つた。久し振の旅行が彼女には嬉しくてたまらないのであつた。東京の街をば人目を忍びながら二人連れで歩く時の氣忙しさを思ひ出して、この山の上のノンビリした旅に、腋の下へ羽根が生えて、今にも飛び出しさうな氣持ちになつたのである。

「別に面白くはないだらう。自殺といふことはどんな手段を用ゐたッて、矢ッ張り苦しいに違ひないと思ふね。」と、忌はしい自殺の話なぞをしながらも、光多とて矢張りこの靴踏旅行に似た旅の嬉しさに、身體がぞくぞくするのであつた。

『すうッと、あの白い瀧をちぎつて投げたやうな水と一緒に落る時は、清々するだらうと思ひますね。』と、花枝は丸太の柵に寄りかゝつて、一心に瀧を見詰つゝ言つた。

「そんな氣持もするね、どうだ一つ遣ッ付けようか。」と、光多は大きな聲で言つた。お茶の代りに麥酒へ砂糖を添たのを持つて來た茶店の姐さんが、二人の背後で『ふゝん』と笑つた。

『あなた笑つてゝよ。』と、花枝は振かつた。總ら顔の女中が、まごついたやうにお辭儀をして、『昨日の丁度今頃飛込んだ方がございましたよ。學生さんで。』と觸ましさうな顔をして言つた。瀧のやうな音を立てゝ五十五間の高さに落ちてゐる嚴い水の勢ひを恐れもせずに、岩燕が小さい羽根を翻して、大きな瀑布を翻弄ふやうに飛び交はしてゐた。數十人の人を吞だといふ恐ろしい瀧壺は、巖と雜木とに遮られて見えないが、瀧の凡そ三分の二を見る茶店の縁臺を二人はなかなかに離れかねた。

『そろそろまゐりませう。』と車夫に促されて二人は漸く腰をあげた。黄昏に及んでいよいよ凄さを増した瀧の姿を見かへりつゝ、二人は其處からもう宿までは、四五丁であつた。平地になつたので、車夫の勢ひもよく、林の下道をば、湖水に沿ふて二臺の車は宿の玄關へ乘り留けた。この宿は光多の父が能く來たところで、今も父の書いた『幸湖第一樓』とした飾り上手でない額が、客室のどこかにかゝつてゐる筈である。前に手紙でちやんと打合してあつたので、滿員つゞきの此頃にもかゝはらず二階のよい室が取つてあつた。次ぎの間附きの八疊で、緣側を一間幅に廣く取つてヴェランダ風に設らへ、籐の小さな卓子や籐掛け椅子を置いて、湖水の眺めを縱まにするやうに出來てゐた。

『ほんとにいゝわね。……涼しいこと。』と、花枝は晴々した顔をしてヴェランダに立つた。隣の室の領分との境には、水色の薄絹を垂れて、上品な湖形の電燈が點いてゐた。湖水の面はもう夕闇に閉さされかゝつてゐたけれど、男體山の姿は顔だけを霧に包まれて、頂上の方は、尾を突かんばかりに高く尖つて聳えてゐるのが見えた。

風呂へ入つてから、湖水の鮮らしい魚の料理でお美味く夕飯を喫べ、褞袍の欲しいやうな涼しさに、二人は久しぶりで苦熱を忘れて圓ろかな夢を結んだ。

もう一日もう一日と、花枝は歸りを延ばして一週間後に光多だけを歸し一生の別れでもあるかのやうに、涙までこぼして、先きに東京へ歸つたのであつたが、八月の末、光多の歸京を迎へに、嬉しい再會の日に逢つて、もう山の上も飽きたからと、山を下つて、杉並木のこなたの宿屋に泊つたのであつた。

短歌　尾上柴舟選

課題『人』――（三）

◇ 栗田口秋水（京城）
はかり難き人の心の奥底にきらりと光る眼を見たりけり

◇ 川崎まこと（海州）
罪深き人の子なれば今日も赤神の御前に祈れり吾は

◇ 板垣修（京城）
人の世に生れて十とせ七餘り悲しき戀を我はするかも

◇ 山田彌生（京城）
人戀ひをれば面影の人しのび來てうなじにやはき呼吸をおぼゆる

◇ 越智紫峰（兼二浦）
人は世に小石は磯のしき浪にもまれてまろくなると知らずや

◇ 深山碧浪（京城）
ともすれば罪をば造る悲しさも淋しさも造る人なる故に

◇ 吉田磨須子（京城）
よのさがは知りつくせどもをみなれば人の子なればあきらめがたし

◇ 藤尾十洸（京城）
舟先きに構へて立ちしれう人の腰を大きくあみ振るよろし

俳句　内藤鳴雪選

題『月』――（十四）

人　全南麗州水面本町　河野蛙文
稻一束打つべく月に對しけり

地　東京市外大井町北濱川一、一九三　牧村刀雨
寐しづまる月の甍や一萬戸

天　京城府林町　椎木千波
假寐せし江口の宿や月今宵

日曜の句會（耕牛居）

炬燵、狼、冬の草

夷浦に西さす陽や冬の草　霞南十
置炬燵冷たく出でし疊かな
冬草や水なき磧ひろびろと　耕牛
山の宿狼の吠ゆ夜の深み
冬草や礎石たゞある屋敷跡　吐風
新劇の疲れ冬草に親しみぬ
狼の壁開く洞や九十九折　流東
冬草や杖で退けたる古草鞋
冬草に若干の雪解け居たり　左人
反り返る歌集伏せけり置炬燵　樂浪城
〃草や夕陽まだある崩れ崖
炬燵より吹き曝されの陽を見つゝ　鶴仙
炬燵して雪降る川に對し鳧
湯豁立つ地獄邊りや冬の草　靜花
糸かけし手の湿しき炬燵哉
狼に起きて厩舍を廻りけり　松華
冬草やたまたま降る雨温し
臼朽ちし軒低くある冬の草
冬草や山ふところの普き陽　泉園
襖開いて鏡の見ゆる炬燵哉

京城俳句會

沈滯に退歩と衰微を重ねて久しい京城俳壇界に僅に命脈を保つて來た可なり眞面目な努力を續けて來た五の日十の日會は此程碧梧桐氏の入城に刺戟されて會の復活を企て會名も京城俳句會と改め同人は強い信念のもとに其の第一回の集ひを開いた…敗天公記

枯芝を燒く一人一人のしわざ　山與水
言足らずとして赤いストーブに背いた
よべのポケットの燒栗つた　敗天公
寒げな月がこんもりと帆船む深夜
港出て行く皆な舟冬日したしまる
一日の動め誇ぬ暫しの冬日　金剛城
なかなかの脂が焼えしまつて言ひはぐれた
陽表の蜜柑が次ぎ次ぎと籠の中　零閃
落葉明り泥濘の汗路を思はす
剃り立てし鏡の我を出て風　洵子
馬子の吐ける枯蓮を透かし
毎朝の霜に京菜が凰れきつた　秀峰
ギギギギと鳴らし冬菜を抱へ
著物持つて裸子菜の花咲いてゐます
水仙の闇いましめらるゝ也　眞敏
彼が痛む手に運んで來た火鉢
そつくり落きつくした枝々の光る夜
火鉢で目刺燒く家族ら揃へり　曉洋
暖多來た盤師の物言ひが荒い
人を待つ電燈の下の枯れ菊
烈寒の廊下と石炭が光つとる

―一二、三曉洋居にて―
大正十二月五日午後七時黄金町四丁目三一〇大久保眞敏居同好の士の御出席を乞ふ

新刊紹介

▲觀嶺園（十一月）三十錢東京市本郷區曙町八共社　京城發輯（十月）十錢京城府鑑査課
▲ボトナム（二の十）厳選したせいでもあらうが本號は紙數も少なく内容も淋しい（三十錢龍山漢江通一一其社）
▲隨筆（創刊號）德田秋聲氏の秋興雜記、芥川龍之助氏の雜筆其他中村武羅夫、山本有三氏等多數の近作を滿載してある（五十錢東京市外巣鴨宮下一八七九共發行所）
▲教育時論（十一月復興號）十八錢東京市外上落合四七二開發社
▲朝鮮教育（十一月）二十錢朝鮮總督府内務局學務課内朝鮮教育會
▲大地（十一月）十錢名古屋市中區南武平町三ノ五佛教協會出版部
▲藝術境（十一月）二十錢熊本縣玉名郡人吉宵井町共社
▲新聞研究（十一月上旬號）本誌は我國新聞批判雜誌として唯一のもので毎月三回五の日發行である（一部三十錢）大阪市西區新池田町四四新聞研究社
▲歌集『燦火』（大心池破夫氏著）作者の第二歌集である、歌人生田蝶介氏は『大心池君は立派な男性的の骨格と桃色の女性にしても見まほしい肉體とを所有してゐる、そして今や若さの絶頂にあるのだ』と紹介してゐる、それだけ人間的の誘惑も多くそれに胚胎する悩みや苦しみや享樂や淋しさの體驗が君の創造力によつて歌となつて現れる、本書に收めた三百二十首はれも作者の魂を打込んだ尊い收穫で若い人達に共鳴されると思ふ『あゝ涙忘れて醉へりゆふ姿これの夫人のあでやかさはも』『夜の闇に家をのがれて來つる子の唇つめたき冬の夜の戀』『天井の蜘蛛のたまごのま白きが見つゝかたみに語らざりけり』（價一圓東京本郷區弓坂町八一新唱社）
▲半島の婦人（創刊號）本誌は何處までも半島に存在するといふ意識を失はぬ事をモットーとして生れたもので半島婦人界のために好箇の良友である本號は創刊にも係らず内容充實體裁優美婦人雜誌として確かに賞讚の價値がある、女學校出の奥さん方へ（坪内第一高女校長）處女期の修養と人妻時代の修養（高島平三郎）享樂本意の結婚と血族結婚の弊害（杉田博士）其他家庭に經濟に技藝に關藝等に亘りて婦人の必讀の記事が豐富に載せられてある（五十錢京城大和町二ノ二八共社）

讀者

▲私はひどい腋臭で殆どあらゆる藥を用ひたが效果なし御社の物理療法ではほんとに全快致しますか（困り男）△腋臭は現在藥では一時的より致し方なく全治させるには腋の皮膚を切除するか物理療法でやるかの二法しか有りませんが難易こそあれ確に全治致します（係り）▲私は今年春より腰から左足にかけて痛み殆ど歩く事も出來ません夫れでも靜に横向に寢て居れば何ともありませんし指で押しても痛みません醫師は神經痛と云はれますが御社の物理療法で癒りませんか（廿七歳女）△坐骨神經痛なら非常に良く効きますから必ず全治致します又婦人等で腰丈け痛むのでも大部分は容易に癒ります（係）▲川口虎雄氏著土木工學をお讓り下さる方はありませんでせうか（鐵道學校晋家原）▲南大門驛の客引を廢止せられたし旅客の迷惑甚だし聞けば門外は旅館のみが雇用しをる由便宜上採用するなれば遠隔の旅館にこそ願はし敢て當局の御一考を煩はしたし（旅行生）▲大邱府内で家族的下宿を營む御子供樣の勉強相手致します當方學生（幸町一〇中川氣付壹岐）▲六日のエスゼイ樂へ、此の度自然社と響ハ社と合併し『ヒビキ』と改題されました純眞な若人の集まりです京城岡崎町一〇三金森方響社宛に（朝野狂風）

日郵盟休結束鞏固

交會幹部の手許迄提出されて保管されるが右に付き田上支店長は

堅く時期至れば一齊に辭表を提出する筈であつたのが遂く海外支店に勤務する社員との連絡が甘くとれなかつた爲め急に

前から釀されてゐた事で今更の問題ではないのですが要するに此の機會に於て會社の内部に的

現在の社長や專務ではそれは到底なし得ない事は判り切つてゐます問題は已に社内的から對外

店員にも與々注意し職務を放擲する樣な事のないよう戒めてゐます云々

郵船會社では近く五百萬圓の

を延期する事に決定した、そこで右三百五十萬圓の內譯は來月上旬百四十

大阪コール（大阪電報）

二十八日の大阪コールは

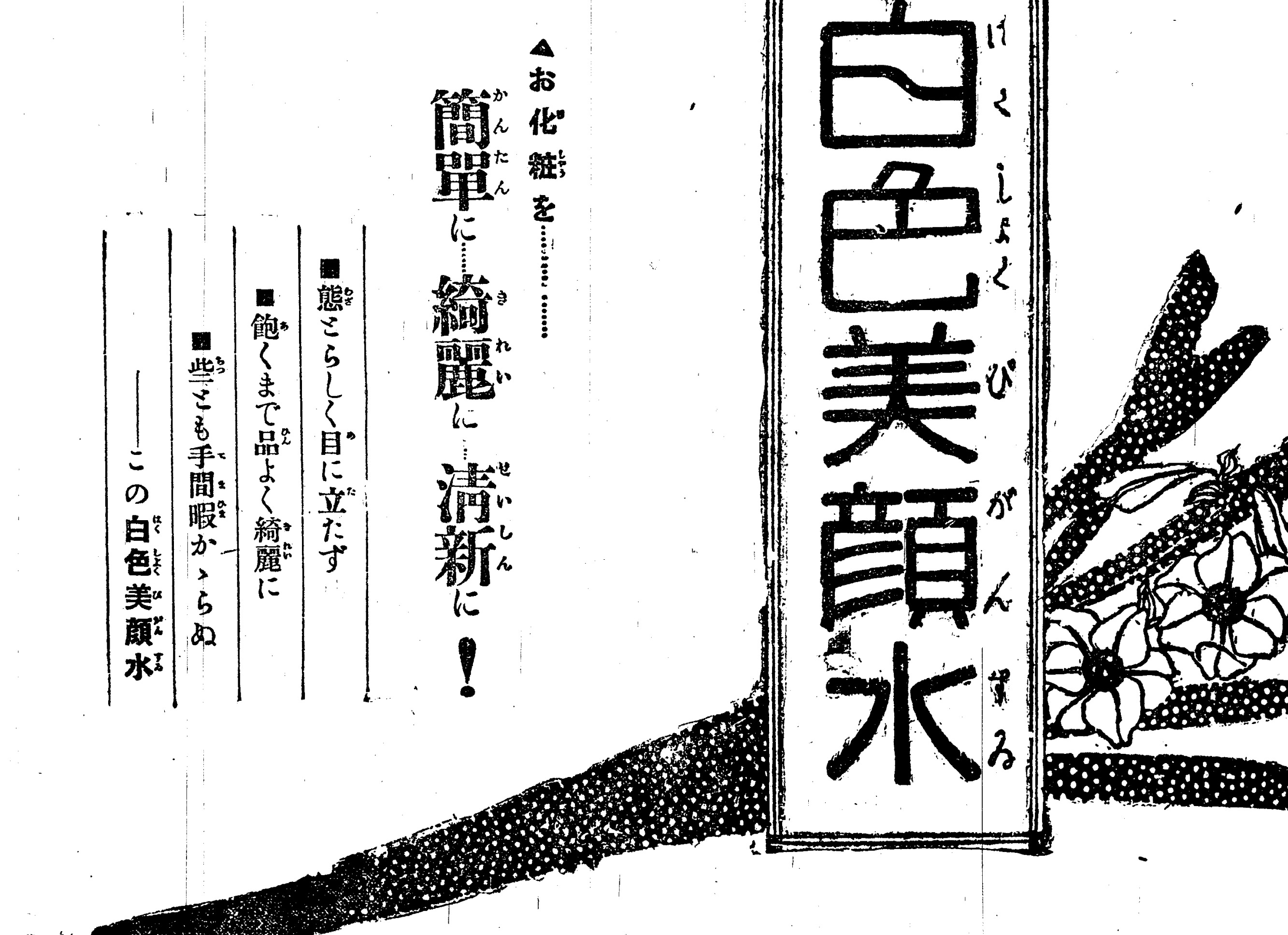
の後任として今回現水道部下水課長

御料理　安東縣　太陽樓　電話七三番

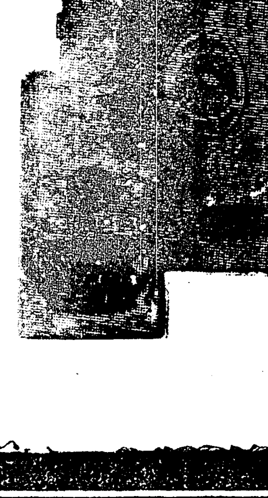
御料理　安東縣　由良之助　電話二五九　五九二番

山邑酒造株式會社京城支店　電話本局　八一三　四八〇　四五〇　九四七番　サクラ正宗

藥
勉強第一　親切本位　在庫豐富　出荷迅速
釜山辨天町一丁目　合資會社　大黒南海堂　電話長四〇五　三七一　振替京城四五六



▲お化粧を……
簡單に……綺麗に……清新に！
■態とらしく目に立たず
■飽くまで品よく綺麗に
■些とも手間暇かゝらぬ
――この白色美顔水
▲桃谷化粧品研究所創製▼



仁川　佐藤病院　院長ドクトル・メヂチーネ　佐藤小五郎　入院應需

朝鮮郵船定期
朝鮮郵船株式會社　電話光化門長一一八四　一一八五　一一八六　一一八七番
○釜山支店　佐藤町　電六八四番
●元山支店　海岸通　電一〇二番
●仁川出張所　海岸町　電三五一番
●京城代理店　蓬萊町　電話龍山一一七〇
●元山代理店　吉田運輸會社
清津丸　十二月三日　大阪行
京城丸　十二月五日　下關行
羅城丸　十二月二日　江原道行
立神丸　十一月三十日　敦賀行
平壤丸　十二月一日　清津直行
咸鏡丸　十二月三日　清津行
會寧丸　十二月六日　雄基行
釜山丸　十二月二日　浦鹽行
○釜山代理店　大池廻漕部
昌福丸　十二月六日　東京行
新義州丸　十二月三日　大阪行
會寧丸　十一月三十日　下關行
新義州丸　十二月十四日　朝鮮南浦行
會寧丸　十二月三日　北鮮行
釜山丸　十一月三十日　浦鹽行
永信丸　十二月二日　鬱陵島行
雄基丸　十二月三日　江原道行
濟州丸　十二月一日　濟州島行
湖州丸　十二月一日　木浦行
○木浦代理店　福田合名會社
昌福丸　十二月五日　東京行
新義州丸　十二月一日　大阪行
統營丸　十一月三十日　釜山行
慶興丸　十二月三日　濟州島行
公州丸　十二月一日　多島海行
全州丸　十二月九日、仁川行
新義州丸　十二月十五日　鎭南浦行
江原丸　十二月七日　濟州島大連行
○仁川取扱店　郵船廻漕部
昌福丸　十二月三日　東京行
ひよどり丸　十二月二日　大阪行
新義州丸　十二月十八日　鎭南浦行
全州丸　十二月四日　木浦行
耳濟丸　毎週　濟州行
盈德丸　十二月一日　鎭南浦行
江原丸　十二月十日　（青島芝罘大連行）
平安丸　十二月五日　（安東大連青島行）

大阪商船出帆
仁川出帆
●大阪行（群山木浦經由）
○天智丸　十一月　日午後三時出
○宮島丸　十一月　日午後三時出
○大信丸　十一月　日午後三時出
●南浦安東縣行
△東晃丸　月　日午後三時出
△第七原田丸　月　日午後三時出
元山出帆
●城津清津行
新高丸　十月　日午後五時出帆
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
臺北丸　十月　日午後四時出帆
大連出帆
●上海福州基隆高雄行（但し〇印は青島寄港）
湖北丸　十月　日午前三時出
盛京丸　十月　日午後二時出
內地各港出帆主要航路
●歐洲行毎月十三回●南米行一年十回●濠洲行毎月一回●北米行毎月一回●孟買行毎月二回●南洋行毎月一回◎印一等御斷△印船客御斷
大阪商船株式會社仁川支店　電一貳・貳一〇・五五
切符發賣取扱所
京城　內國通運會社支店　電話七〇〇番
仁川　京城通り　豚旅館　電話二六〇番
事務仲次　仁川本町　郡田組　電話二八四番
荷扱　仁川港町　郡田組　電話四二三番

三菱商事株式會社
仁川出入
阪神行　往　帆
長浦丸　十月　日出　十月　日入
三瓶山丸　月　日
大黒山丸　月　日出入
鎭南浦行
長浦丸　十月　日出入
三菱商事株式會社船舶部
仁川代理店
浦崎商店回漕店
仁川本町四丁目　電話長五〇番　長一八〇番

京城日報
（朝夕刊合せて十頁）
定價 一ケ月 金壹圓 … 廣告料 …
發行兼編輯人 泥谷良次郎 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

復興計畫を目標として 政友會は政府に肉迫するらしい

【東京電報】復興院の復興計畫は殆ど根本的に修正を加へられ復興に非ずして復舊計畫に化してしまつた感がある政友會側では大體此の修正で意義なし高橋總裁の承認した通りを承認せんとする傾向がある然し復興計畫の縮少に伴ふて來るべきものは復興院無用論であり政友會內には早くも臨時議會に提出さるべき復興院費を否決すべしとの議論が漸く擡頭せんとしてゐる若し復興院無用論が實現した場合には政府は如何に之れを取扱ふべきか若し山本首相が復興院廢止に同意する態度に出づれば後藤內相は必ず職を決するであらう而して後藤內相の辭職は延いて閣僚全部の進退にも及ぶ譯であるが山本首相は普選だけはどうしても現內閣で遣り上げたいから政府は讓步妥協に努力し飽迄衝突にあらざる限り政友會の主張を容れる事となるであらうと觀られてゐるが一方政友會としては普選問題で議會の解散なら他の問題で解散したいと云つてゐる以上政友會は普選よりも寧ろ復興計畫を目標として突進するかも知れず更に容易ならざる紛糾を釀すものと觀られてゐる

復興案は絶對的でない

【東京電報】加藤高明子より帝都復興審議會に提出諮問した復興案は修正の餘地なき絶對的のものであるかとの質問があつたが之は政府が審議會に諮問した精神を考へればわかる諮問する以上は絶對的のものでないことは明かである、審議會の意見にして政府案以上の名案があるなれば勿論之を參考としようがそうでなくて徒らに反對せんが爲めの反對論なれば政府は徹底應ずる譯には行かぬから審議會で萬一故意に審議を遲延せしむる樣な態度があれば臨時議會も切迫せる折柄であるから責任を以て政府は議會に提出し國民の公正なる判斷に訴へなければならないと思ふ

豫算について 後藤總裁談る

【東京電報】復興案は二十七日の審議會で決定したから之に依つて復興院で具體案を作製する筈で細部は慎重審議の上にて決定するのである兎に角二十七日決定した大綱に基いて豫算を臨時議會に提出するので原案よりは一億圓位減少するが上下水道敷設に於て約五千萬圓を增加するから結局五千萬圓位減少となる譯である此案は最早審議會にも評議會にも又參與會にも附議しない事になつてゐる尚河川港灣に就ては通常議會に提案する筈である

協定案の承認

【東京電報】政府は二十七日臨時閣議に於て帝都復興審議會特別委員會の協定案を承認する事に決した

復興審議會 第三回總會

【東京電報】帝都復興院審議會第三回總會は二十七日午後一時二十分より首相官邸に於て開會、劈頭伊東特別委員會長より特別委員會に於て決定した復興院の計畫案に加へたる修正につき詳細に說明し其施設實行に關しては政府に一任したき旨を述べ之に對し後藤總裁は各委員に對し其要否を諮り市來委員は復興院の計畫案たるものにあらざるも今回の修正案は最も實行に易き修正なるが故に贊成する旨を述べ各委員も亦これに同意し山本首相は政府としても審議會の決議を尊重して研究し具體案を作製する旨を述べ散會した

政友財經調查

【東京電報】政友會政務調查會は二十七日午前十一時より財政經濟特別委員會を開き震災地に於ける復興施設に關する件一般財政並に豫算に關する件其の他五十目に達する調查項目の申出があつたが結局委員長の手許にて整理の上項目の成案を作製するに決し散會した

法制審議總會

【東京電報】法制審議會第五回總會は二十七日午後二時より首相官邸に開會倉富委員長より普選主查委員會の經過並に其結果につき報告し次で江木翼、小野塚喜平次兩氏より一、選擧費用に關する制限二、小學校々舍を選擧演說會場に使用せしむる事等を建議し次いで鵜澤聰明氏より候補者及運動者に對する罰則改正につき提議し其他花井、關、平野、倉富諸氏の間に質問應答あり結局採決に至らず次回は來る三十日午後二時より續開し之が最後の決定を爲して答申する事とし五時半散會した

憲政會の有志 新政黨樹立申合

【東京電報】憲政會前現代議士有志懇談會は二十七日午後五時半より丸の內ビルディング中央亭に開會田中善立、加藤定吉其他前現代議士二十九名出席、先づ關和知氏より開會の挨拶あり、次いで非政友合同新政黨樹立問題に關し各自意見を交換し次いで各地方政情報告あり結局左の申合はせを爲し午後九時散會、

吾人は國家內外の狀勢に鑑み廣く天下の同志を糾合し健全なる新政黨を組織し以つて政界多年の情弊を一掃し憲政の發達に貢獻せん事を期す

鐵道改良計畫變る

【東京電報】鐵道省二十七日發表＝鐵道の改良計畫は今回の震災に依り規定の計畫に變更を加へなければならぬ事になり鐵道省では大藏當局と折衝中の處之に關する十二年度の豫算並に十三年度以降の建設改良計畫は左の如く變更した旨發表した

建設及改良費十二年度に於ける建設及改良費の執行豫算額約一億七千六百萬圓改良費約一億一千三百萬圓とし規定豫算の繰延額は建設及改良費を通じ約三千五百萬圓十三年度に於ける建設及改良費の確定額は建設費約五千八百萬圓改良費九千八百餘萬圓計一億五千六百餘萬圓にして既定年額割に對して繰延は建設及改良費を通じ四千餘萬圓である十四年度以降建設改良費は十四年度約一億七千八百餘萬圓十五年度一億八千八百餘萬圓であるに復興鐵道復舊並に復興に關する豫算は別途詮議中である

海外運航が氣遣はれる 日郵社員ストライキ影響

【大阪電報】日本郵船會社海外航路上社員の運動は益々熱度を加へ之に對する內地殊に阪神郵務の陸上社員は大に共鳴し今の處社外五重役の醵立てに沈默の態度を持してゐる併し株主總會明けの形勢如何で惹起すべき準備が出來てゐる模樣であるが海外陸上社員總罷業の爲に目下海外各港に入港中の各船に對しては荷主が會社を措いて船員と直接談判も出來ぬので船長は航行中こそ萬事獨斷を以て船を動かすことが出來るが一旦入港すれば港の現場は所在支店出張所の指圖下にあるので船の運航が大に氣遣はれると大阪支店の幹部でも憂慮してゐる運航の氣遣はれる海外各地に入港中の船舶は上海、香港、倫敦、新嘉坡、カツカツタ、孟買、紐育、シヤトル等二十餘隻で英米より歸航の船には復興材料多數積載しあり印度からは十二月中に年々二十萬噸位は原棉を積取るのであるが此調子で行けば本年は殆んど三分の一位は積取が遲れる見込であると

專務に大谷氏

【東京電報】日本郵船會社前倫敦支店長大谷登氏は二十七日神戸に入港直に東上する筈なるが同社陸上勤務員は氏の專務就任を希望し伊東社長も氏の起用を承諾せる模樣なれば若し氏にして承諾するに至れば氏は改造後の郵船會社に於ける中心人物なるべしと豫想されてゐる

大谷氏歸朝

【神戸電報】陸上社員の推戴上重役候補者として呼聲高い前倫敦支店長大谷登氏は家族を伴ひ二十七日早朝鹿島丸にて神戸に着いたが氏は口を緘して何事も語らなかつた

大阪商船 臨時手當支給

【大阪電報】大阪商船會社では未曾有の災厄に因る京濱在勤者に特別手當支給策に關し考究中であつたが澁美橫濱支店長の建策に依り東京支店員には本俸の一割橫濱支店員には二割の臨時手當を支給する事となつたが澁美氏の建策は十二割と云ふ事であつたから此の率とは幾分差がある譯であるが同社と平素對抗的立場にある郵船で手當減を斷行せんとして彼の騷ぎを見又一般罹災社員に比較して多少遠慮も必要だと云ふので之に決定したのであるが此の手當制度は向後六ケ月間實施すると

大谷大將薨去

【東京電報】後備陸軍大將從二位勳一等功一級男爵大谷喜久藏氏は過般來胃癌にて中澁谷の自邸に引籠り療養中のところ藥石効なく二十六日午後三時薨去した享年六九

兩縣知事免官

【東京電報】左の兩知事は免官となつた

休職福岡縣知事 澤田牛麿
同 沖繩縣知事 和田潤
依願免本官（各通）

國難に當面して（下） 在鮮三十萬の內地人諸賢に訴ふ

東京にて 熊本利平

日本人は自己の手を以て自己の非を修正する能力と勇氣あることを又あらざるべからざることは前に之を述べた。暴力自警團の輪轡は正に此の能力と勇氣の發現と見るべきである。私は斯く判斷して、みづから慰めたのであつたが、その裁判の光景として新聞紙上に傳へらるゝ所を見るに、被告の申立ても甚だ不眞面目であり、裁判官も嚴肅を缺くの觀みがある。或は之を報導する新聞記者が聊か潤色する爲めに誇張しての響き方かとも思はれるが、夫れにしては社會部記者の頭腦の程度を疑はざるを得ぬ。苟くも司直の秋官が、國家的の眞面目な態度では、此の國難の中核をなす重大問題は、極めて不明瞭なる結果に了るかも知れぬと思はれる。私はひそかに虞る。この成行きを凝視しつゝあつた一千七百萬の朝鮮人の心に如何なる印象と感銘を與へたであらうかと政府も國民も只此の事を思へ、心と云ふ字をハッキリ見つめるがいゝ、如何に朝鮮に於ける千百の施設も其朝鮮人の心を失はゞ何の用があらん。一千七百萬の朝鮮人の心が日本及び日本人から離れ去つた時、如何に資金が潤澤であり得ても、如何に鐵道を敷設しても、また如何に師團を增設しても、それは遂に何の爲す所なき結果に了るであらう。私は今回の不幸なる事變の解決如何によつては、單に當代の內鮮人が非常の打擊を受くるのみではない。次代後代の內鮮子孫の爲め重大なる禍根を貽すものとして深憂を禁じ能はない。私は敢て、異を樹てゝ獨り警しとするものではない。冀はくば官も民も今少しく枝葉末節の形式や小節に拘泥するその豆大の眼孔を擴げて、大局一點根本の精神に想ひを致さんことを望まざるを得ぬ。嘗に中央政府に歎願し、朝鮮開發の論議においても、先覺者たる京城、釜山、平壤其他に於ける有識者等が何故か今回此重大問題に對して何等の發言なきは私のひそかに解し能はざるところである。お互に朝鮮開發は、國策でありたい。そして今少しく純なる心理と態度もて事に當りたい。朝鮮の官民は勿論、內地に於ける中央政府と國民全體がこの國難中の國難として看做し十分朝鮮人の納得する丈けの公明正大なる處置方法を講じ得たならば、或は禍ひを轉じて福となすを得るかも知れぬ。何故朝鮮在住の內地人三十萬人は此の國難中の國難に對して聲を揚げぬのであるか。若し現在の如き狀態を以て推移に委するものとすれば、朝鮮開發の前途は大嶮難大艱難の他はないと思はれる。眞に深憂に堪へない。（完）

內鮮電信連絡 完成を期すべく希望する

遞信局監理課長 山本直太郎氏談

內鮮間電信連絡に就て遞信局監理課長山本直太郎氏は語る

內鮮間を連絡する海底電線は釜山下關間に六回線、元山松江間に一回線合計七回線であるが何れも敷設後幾多の年月を經過し既に耐久年限を過ぎたものあり殊に近時トロール船航行の際線條切斷等の事故頻發して同時に二線以上不通となるの例も尠くない現に釜山下關線は本年三月十一日から又釜山大阪線は八月七日から何れも障碍を生じた儘で再三交渉の結果遞信省から漸く數日前に修理船を差向ける旨の電報があつた樣な次第であるが、試みに最近二年間に於ける海底線障碍を調べて見ると度數に於て十七回この不通延日數實に一千五百八十九日に上つて居る即ち七回線の內二線丈けは常時不通の狀態に在るのである、然るに現在の內鮮間電報通數は發着信を併せ一日平均一萬一千三百餘通であつて一回線の通信能率は線路及距離等に依つて相違はあるが凡そ一日千通乃至千五百通であるので前記七回線が完全に活用されて居るとするも既に標準通信數を超過して些の餘力をも有たないからこの海底線障碍に就ては常に頭を惱まして居るのである、從來海底線障碍の場合は其都度遞信省へ打電して修理船の廻航を要求してゐるが遞信省とても近時海底線敷設區域擴大され容易に朝鮮の要求に應ずる能はず恢復までには相當長い期間を要するの已むなき狀態にあるのは誠に遺憾である現在朝鮮の海底電線は七十八哩間一千六百餘浬の長きに及んでゐるので朝鮮としても專屬の海底線修理船を建造して

不時の障碍に備ふる必要

がある、然し之れが爲めには造船費だけでも六十萬圓位を要し之れに維持費を見るときは莫大の經費となるので此の實現は餘程困難であると思はれる又內鮮間に海底線を增設するとしても一線三十萬圓內外を要し之れを京城東京間の一回線とするには陸線を併せて約六十五萬圓位を要する、更に現在の京城無線局の設備を高速度二重通信に改裝して無線電信に依る內鮮連絡を完成して有線障碍の場合に備ふるとせば之れが經費約五十萬圓內外にて以上三案の內比較的少額の經費で足り且つ

相當の效果を

收め得るものとして財政緊縮の今日何れにもせよ實現さるゝや中央豫算の決定に俟たなければ言明し難いが然し何れにも海底線の增設と云ひ修理船の建造と云ひ、將又無線通信の完成と云ひ何れも內鮮電信連絡の圓滑を期する上に於ける重要案件であつて現在の狀態は既に此の儘推移を許さない有樣となつてゐるので遞信當局としては極力これが達成に努め實現の日の一日も速かならむことを希望して已まぬ次第である云々

東上委員歸城

醫藥東上委員鈴木鑅次郎氏は二十七日午後六時五十分歸城し同時に市民大會東上委員荒井初太郎、古城管堂、大村百藏氏も歸城又天日常次郎氏も同車にて歸城した

平野鄉無電局 補助通信効果

大阪平野鄉無線電信局では來春から歐洲方面獨逸よりの無電を受ける事に決定し目下歐洲方面への試驗送信の整備を行つてゐるが其間々を利用して去る二十三日から毎日午前十時から午後五時迄東京芝公園內遞信官吏練習所內無線電信に據つて東京市內發大阪市內著の電信の補助通信を行つてゐるが之が爲め東京大阪間電信は餘程緩和されて來た模樣である（大阪電報）

總督平壤行 大同渡橋式臨席

齋藤總督は松村秘書官藤原參事等を帶同し三十日擧行の大同江鐵橋渡橋式に臨席の爲め往復三日間の豫定を以て二十九日朝京城驛發列車にて出發の筈

選擧期日は愈よ迫つた 各候補秘策を盡して健闘

平穩無事とのみ豫想された商業會議所選擧戰が今日の如き大激戰の狀態を現出しようとは誰も思ひ設けざりし處、當業者は表面のみで裏面には豫想以上の暗鬪が續きつゝあつたことを今や如實に物語る時が來た、候補者の根據地を探つて見ると更に猛烈さを偲ばせるものがある、何れも主將自ら馬を陣頭に進めて指揮し帷幄に參する各參謀策士の面々必死となつて猪突猛進する樣は群雄互に入り亂れて相爭ふそれにも譬ふべきか

二級候補者

本吉清一氏

本吉氏は石川縣大聖寺の出身で今回が始めての出馬ではあり運動の猛烈なる事は候補者中の隨一？自宅を選擧事務所として大塚老友茂松氏を始めとし其他裏面にも有力な影武者連闘參謀となつて活躍して居る、菓子屋組合、加越能三州の鄉友會、富山縣人會、燃料商組合、西洋料理組合等の後援を背景に旭町二、三丁目、本町一丁目を地盤としての旗擧げらしい、參謀役の一人たる長谷清信氏は語つて曰く『何分始めての名乘りで且つ本町筋から他に有力候補者が多くあるので混戰狀態に陷り決して樂觀を許さぬ、大に奮鬪を要する立場に立たされました云々』

大澤商會

大澤商會より出馬の眞木仙次郎氏は時計組合、寫眞組合、自轉車組合、京都實業會、京城商工組合有志、富山縣人會等の後援の下に本町一丁目三、四丁目に相當得票があるらしく本日も朝來運動員が詰懸け御大の出場を促してゐた、訪ねて往つた記者に對し大苦戰、大混戰の形勢を語りつゝ戶別訪問に懸けたが眉宇の間必勝を期する色が浮んでゐる樣に感じた、後援した參謀の一人は大澤の看板が災して却つて形勢不利だと語つてゐた、果して如何のものか？

藤田米三郎氏

藤田氏は今回で二回で第一回の如きは最高點の優勢で當選した果報者であるが今回も亦最高であらうと豫測する向もある御本人は前回の最高點が今回の立候補に災して却つて苦戰狀態に陷つた、藤田は大丈夫だ確實だの聲の爲に仲々安心出來ぬといつて居る、同志會の後援者は食糧品組合、同志會、無盡會社等で本町二丁目四丁目を根據として居る辻本嘉三郎並に同志會の諸氏が專ら參謀運動に當つて居る

一級候補者

京城商議一級戰は篠崎半助氏の出馬と住井辰男氏の立候補辭退とに因り候補者定員同數となり形勢穩かであつたが突如富野繁市氏の出馬によつて一名の定員超過となり爲めに俄然混戰狀態を演ずるに至つた併し銀行集會所倶樂部土木建築協會側の各候補は豫定の得票により當選確實であるが個人側候補者は得票の數に安定を缺き當落の鍵を握る狀態となつた今朝各候補者の獲得せる得票の分布狀態は大體左の如くに配られて居る

▲銀行集會所倶樂部 は實濃部銀行集會東上留守中なるを以て倶樂部の票數十五票となり釘本五票、鹽田（朝鮮）五票、鹽田（實銀）五票と各五票づゝ分割されて居る

▲土木建築協會 は十六票の內支岐、名草、德富の三氏旅行中にて投票不能の爲め十三票を渡邊四票、陳內四票、寺尾四票に分割され殘り一票は某氏に約束濟であると

▲個人側候補 は辻本三票、戶島四票、古城四票、佐野三票、高橋二票、篠崎二票、增田二票、富野三票を獲得したと稱して居る

而して右によれば高橋、増田、篠崎、富野の四氏が最も危險であるが銀行集會所倶樂部は前記得票の外に二三票の餘票があり土木建築協會亦寺尾氏に前記得票の外某方面から約束濟みの一票が殘つて居るが約束濟らしく何れにしても此の餘票が何人の攻取に歸するかによりて當落の數が定まる譯である即ち銀行集會所倶樂部の餘票が如何に分與さるゝかに依りて大勢定まる譯である然るに一部の傳ふる所によれば小杉藤八氏が土佐紙會社の資格證明書を所持する關係から暗に立候補の意を仄めかし場合に依りて間際に名乘を揚げるかも知れないと傳へられてゐる果して立つか什うか其他辻本氏三票中の一票戶島氏四票中の一票は餘り確實ではないらしく是亦各候補の狙ふ所となつて居る何れにせよ小杉氏の起否は別とし現在では高橋、増田、篠崎、富野の四氏が各二票を抱いて當落の鍵を出入しつゝある形勢である

辭令

【東京電報】

依願免本官 總督府道事務官 藤本源市
領事兼關東廳事務官 總督府事務官 富田義詮
免兼任關東廳事務官 總督府事務官 今村邦典
出府を命す（二十七日附）
依願免本官 總督府專賣局 總督府事務官 安達正章（二十六日附）

京畿道技師更迭

京畿道產業技師として勤務せし久道技師小賀野清藏氏は今回平安南道へ榮轉し其後任として農商務省試驗場本支場技師梅谷與七郎氏來任した

朝鮮帝大の建築には 明年度直に着手する 先づ法文學部と醫學部を設置

總督府に於ては大學創設の爲め有吉總監外十四名の委員を選び二十七日午前十時より本府第一會議室に於て第一回創設委員會を開催したが事は既報の如くであるが、當局の發表する所によれば先づ齋藤總督より一場の挨拶があり、有吉總監議長席に著席、來る大正十五年度より京城に開校する朝鮮大學は帝國大學令を發布するや否やに付各委員の意見を求め其結果帝國大學令に依る綜合大學となす事となり、更に名稱は京城帝國大學とするや朝鮮帝國大學と爲すやに付是又相當委員に意見があつた模樣であるがこれも豫定通り朝鮮帝國大學と稱する事となつた。而して學部に就ては豫算其他の關係もあり差當り法文學部及び醫學部の二學部を設くる事に決定したとの事である。尚此の建築は明年度より直に着手する筈で目下敷地選定中であるが相當土地の廣さを要するのと電燈瓦斯等の必要があるので容易に適當な地を得られぬとの事であるが目下入城中の服部博士も幾多候補地の下見をした模樣であるから其內具體的の決定を見るであらうと云はれて居る。尚ほ豫科大學は豫定の通り明年四月から開校するので最早教授も殆ど決定したとの事であるが、豫科大學を終れば勿論其儘無試驗で朝鮮帝國大學に入學が出來るのである。

人事消息

▲有吉政務總監 中村秘書官を帶同し鮮銀問題朝鮮鐵道社債問題其他の案件を携へ往復三週間の豫定を以て不日出發東上の筈

▲坂根準三氏（外務書記官）二十七日朝釜山著同午後七時半北行（釜山）

▲山澤和三郎氏（京畿道學務課長）二十八日利川普校改築落成式に臨席

▲拂場定吉氏（京畿道林務課長）林務視察の爲め二十八日長湍及開城へ出張

▲那須司令官 二十八日午前十時副官木下大尉を隨へて京城發南鮮部隊初度巡視の爲め大田に向つた約一週間の豫定

▲赤井少將（朝鮮軍參謀長）二十八日朝龍山發北鮮部隊視察の爲め咸興に出張

▲水谷光太郎氏（元平壤鑛業所長）廿七日夜入城廿八日夜退城

▲美座流石氏（大邱專賣局長）廿八日朝入城朝鮮ホテルへ

茶話

西村殖產局長が東上に就ての取沙汰は所謂所命に結びつけて種々の取沙汰するものがある▲更に近く有吉總監の東上を見るべく更に深刻に導されてゐるやうだ▲然し殖產局長の東上も總監の東上も此の取沙汰は輪をかけて頗る微妙何等さる問題には觸れて居らぬとのことだから下らぬ夢を見ぬがいゝ▲孝昌園競爭ゴルフコースで二十五日お互の技術其他に就て投票を行つたが其結果が甚だふるつてゐる▲スタイルの一番いゝが田中監察、スタイルの一番わるいが吉村遞信、熱心が安藤滿鐵、濟ましが安達鮮銀、實行主義が不破鮮銀、講釋の一番うまいが住井三井と云ふ醉狂れが當選した▲何れも最も公正な申分の無い投票だと思はれるが就中最高點であり最も穿つて居るのは講釋上手の住井三井など天下異論の無いところだらう。

氣象日報（廿八日）

二十八日朝低氣壓は日本海方面に去り高氣壓は支那北部から朝鮮に擴張しつゝある尚本邦東部海岸にも高氣壓がある全鮮一般に天氣恢復して北風流行し北鮮地方は昨朝より十度內外寒く所々に十粍內外の降雨あつた二十九日京城は概ね晴天で一時曇る

天氣豫報（廿九日）

晴一時曇

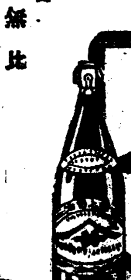
廿八日正午 攝氏 一度二 華氏 三二度二
廿七日最低 攝氏 一度五 華氏 三二度三

時計界の大革命
◆見よ！大發明 專賣特許 電氣時計生る
◎世界の時間は如何なる時計をもつて統一すべき？ 當會社製造の世界的發明電氣時計に據つて統一せらる
一、本時計は四ボルドの蓄電池壹個に據つて徑拾八吋迄の時計は優に壹ケ年間運轉持續し得。（壹ケ年電力消耗費は五拾錢內外）
二、從來の電氣時計の如く直接電流にて運轉せず蓄電に據つて三時間每に自動的にゼンマイを捲き得る裝置なれば絶對的に針の運轉に遲速の弊害なき故時間の正確は疑なし
三、本器は歐米の最新形を取り極めて美術的に出來價格も極めて安價なり。
斯くの如き特點を有する最も目ざめたる經濟的の時計は當會社の電氣時計をおいて他に比類なし。
新發賣に付き特約一手販賣店募集
◎一縣一市に壹ケ所
特約一手販賣資格は其の地に於て相當資產を有し信用厚き者に限る
◎特約店申込順に依り決定契約す
詳細は御申込次第カタログ御送附申上ます。（要郵券三錢封入）
但し關西地方申込事務は大阪支店に於て取扱ふ。
電氣時計
本店 東京市京橋區北槇町 日米ビルヂング內 合資會社 エレクトリツク・クロツク 電話京橋三八七一番・四三八三番
支店 大阪市南區鰻谷西之町四ツ橋ビルヂング內 電話南一八〇一一番・二三〇五番
製造所 名古屋市 愛知時計電機株式會社

醫學博士岡崎佳一郎先生創案 人體營養の素
ヴイタミン ABG含有
ウイタシユム 著荷
百瓦入二圓五十錢 半瓦入五圓
釜山辨天町 藤田藥舖 電話長一八一番

弊會社本店事務所を左記の場所に移轉致候間此段謹告候也
東京市麴町區永樂町二丁目一番地 日本工業倶樂部（五階）內
大正十二年十一月二十八日
京城電氣株式會社

品質日本一 ヤマサ醬油
風味絶佳 芳香無比
宮內省御用達
千葉縣銚子町 濱口儀兵衛醸
各地販賣店にて御買求を乞ふ



大正十二年七月一日改正

下り 列車番號	一	三	五	七
新安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
泉洞著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

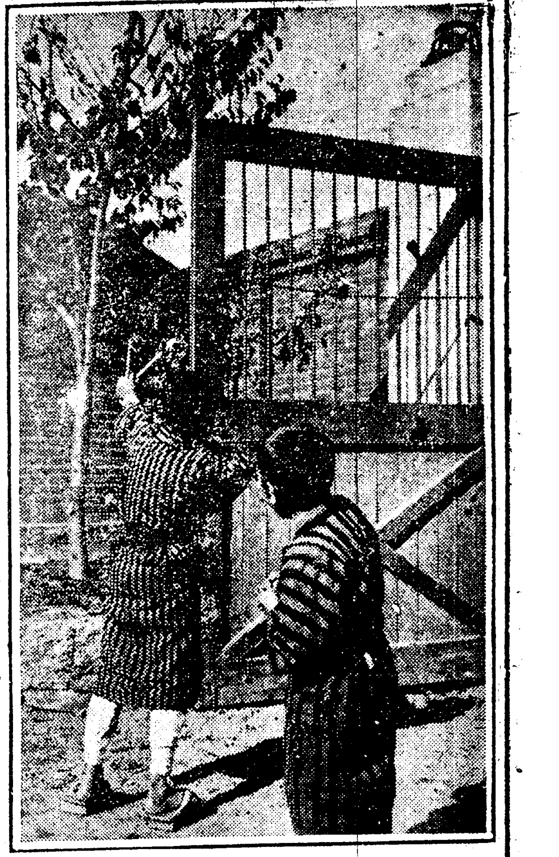
上り 列車番號	二	四	六	八
泉洞發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
价川發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
龍興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新興里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北松里發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安州發	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新安州著	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝鮮平安南道价川郡見龍里
价川輕便鐵道

經驗ある助手入用
一誠齒科醫院
平壤本町 電話五五〇番

最新刊
加藤フエーザー著 實用的毛糸の編み方 一、七〇
加藤フエザー著 新しい毛糸の編み方 一、五〇
古瀬傳藏編 大地震講話（付今後の地震） 一、〇〇
竹內端三著 高等微分學 三、〇〇
栗田秀雄編 室町時代の研究 四、〇〇
朝鮮總督府編纂 朝鮮法令輯覽追錄 三、三〇
振替京城 一二九七三
大阪屋號書店
電話本局 六八四、二〇八六

荊妻リエ儀病氣之處養生不相叶本日午前二時死去致候間此段謹告仕候
追而葬式の儀は明二十九日新町葛野山に於て告別式相營可申候
夫 南村長策
親戚 小林房吉
同 砂川義郎
友人代 石川庄平



◇……ゴム鐵砲……◇

紛糾して來た 府議選擧取消問題
新規蒔き直しか何うか 府民は其の成行に注目

過般施行された府協議會員選擧に就て選擧人久住三二、曾我勉、安藤靜、澤守興、松永十作氏等が二十五日京畿道知事時實秋穗氏に對し選擧投票無效の取消し申請したことは既報の如くである、氣の早い連中は此一日の補缺選擧が濟むと五日には協議員の選擧の遣り直しがあるなど、浮説を流布するものがあり今や府協議會員の選擧投票無效申請の成行は甚大な注意を拂はれてゐる

絶對に誤りがないと 斷言は出來ぬ
然し手續に遺漏はない 谷府尹の聲明

二十八日午前谷京城府尹は府尹室にて京城府廳出入記者團を招じて語る『自分等府廳は被告の立場にあるもので、之が最後の審判は京畿道廳にあるから爾後選擧を遣り直すか否かに就ては今明言は出來ぬ、然し自分等は正當の順序を踏んで選擧を施行した、即ち

財務課 に備付けた各種の族籍簿を基本にして有資格のカードを作製し民籍係に廻送して民籍簿と對照し居住、移轉居住期間その他資格に關する要項を調査し民籍簿に不審あるものは實地踏査して選擧名簿を作製し之れに依つて二十日以前有權者に對して投票の通知を發送したものである有權者は一萬足らずであるが彼此五萬人近くの調査をしたことであるから絶對に啌さるゝ樣な事實がないとは保證が出來ぬ、然しながら啌さるゝ

死亡者 が選擧名簿中にあつたと言ふのは候補者、代書業者が選擧運動に便する爲めに豫め名簿を書き寫す爲めに貸與したことがある、各選擧事務所等に備へつけてあるのは之であるが府では其名簿を更に精査し有權者でも無資格にしたものがある、死亡せるもの、住所移轉せるもの婦女子たることを發見したるもの、現役服役中のもの刑の執行猶豫中のもの等を除外し投票の通知を出したもので遺漏はないと信ずるが神でないから一二の錯誤の有無はあつたかも知れぬ、それから

婦女子 があつたと言ふ事であるが之は自分一個の見解であるが貞とか淑とか言ふ文字があれば直ぐ婦人の樣に解釋する人があるが右の樣な文字は男子にも間々ある現に候補者の中にも金霽貞なる人がある

と言ふ人がある第二に

旅行中 のものがあつた、と言ふことがあるがこれなども旅行と言つてもその前夜歸らないとは限らない而來朝鮮で

代理と 言ふことは民族的習慣である地方で面會議を開催する時に五六歳の少年が親父の代理で來ることがある、之等の習慣は漸次改まつて來てゐるが之は悪意よりも寧ろ誠意から來てゐる習慣である選擧の當日も受付で代人と認めて退場させた投票者が六十七名ある豫備受付でも相當な人數に達するであらう、この結果が何うなるかは道知事の見解措置に待つより他はない要するに府として正當なる手續を踏んでしたことである』

どんな場合に 取消が出來るか
今回の選擧では十票の 差が問題—澤村理事官談

右に就て府理事官澤村氏は語る『彼此れ五萬人の資格を調査することであるから、府としては萬全の調査を盡した心算であるが全然瑕疵な事實がなかつたとは申されぬ、二三の左樣の錯誤があつたことは自分も認める府制施行規則第二條第十六項に選擧の規定に違犯の事實あるときは選擧の結果に異動を生ずる虞ある場合に限り道知事は選擧又は當選を取消すべしと言ふ一項がある、久住氏外五名の申請は此の條文に依つて申請されたものであるが右條文に規定されてゐる選擧の結果に異動を生ずる場合と云ふのは當選者劉文煥君の九十七票と次點者高點安藤靜氏の八十七票の差十票である』

先決問題は
道知事が取消申請を 受理するか否かと云ふ事

久住三二氏外五名から選擧無效取消が申請された、第一申請された京畿道知事時實秋穗氏が此の申請を受理するかしないかが先決問題で無效取消申請書の到著した當日が廿五日で日曜日なので廿六日に受理したものを有效とするかが第一の問題である、廿日に施行された選擧に不正があつたか何うかを調査するには府廳に備へ付けた有權者名簿と投票場での受付簿とを對照し投票者に就ての資格を再調し更に性別を調査し當日府內に在住したか否かを調査せねばならぬ譯である、代理者の投票は絶對の法はない、府當局では當日選擧場受付で代理と認めた六十七名は大抵本人の姓名を名乘り本人の年齡を言ひ本人の印鑑を攜帶して居るが府係員では不審と認めたものにはその要並に子供の出生日、年齡等を試問し明答の出來なかつたものは入場させなかつたと云つてゐる、それも一萬近い有權者のことであるから事實再調となれば大變であるが道知事の見解次第に依つては再調と云ふことになるであらう

ペルシャ米國で起債

【紐育二十七日發電】紐育アメリカ紙は亜米利加波斯經濟聯盟が獨逸に對し資金を寄附し……

恐る、所は この結果
田中半四郎氏談

二十八日朝府協議員田中半四郎氏は府尹室に府尹を訪問したが記者に語る『困つた事が出來たものだが眞に府を愛するならばもつと愼重の態度を採つて貰ひ度かつた、自分が恐るゝ所はこの結果である、現にこの選擧無效申請の聯盟者は鮮人側の落選者元惠常君や申彰熙君等にも無效申請を勸誘した樣に聞いてゐる、萬一この結果が選擧遣り直しとならんか、鮮人有權者の一部には鮮人議員當選者が半數を占めたから遣り直して內地人側議員を多數にしやうとする魂膽だと無稽な説を立ててゐるものもある代人は朝鮮古來の習慣で現に北海道の二級町村では之の代人制を認めてゐる處もあり、朝鮮では古來の習慣でもあるので將來は之れを訓練しなければならぬが之れよりも有權者自覺がもう少し反省して法の不備に乘ずるようなことをしないように選擧道德を高唱し再びこの過ちを繰返さぬようにしたいものである』

選擧取消は 落選組の主張
鮮人側にも署名を勸誘したが 元、申兩氏は拒絶した

府協議員選擧取消申請と之が採否は興味ある問題であるが今この間の消息に通じてゐる人の話を聞くと取消申請の署名者は何れも內地人落選者で○○氏がこの黑幕だと目されてゐる、この五名の申請聯盟者は之の申請をする以前、鮮人側落選者元惠常、申彰熙兩氏にも交渉したらしいが兩氏とも拒絶したさうである、一部では今にも選擧の遣り直しがある樣に噂してゐるが之は道知事の見解次第であるが內鮮議員が同數である今日一部鮮人側に種々の流説が流布されてゐるとき寔に憂慮すべき問題である

道知事へ陳述書
久住三二氏外五名から

選擧無效申請の聯盟者曾我勉氏は語る『今回の選擧は甚だしい不正選擧である其實例を擧ぐれば死亡者二百名婦女子百名以上も列記した名簿を土臺に選擧したるもので不正の行はれた事は當然である此選擧を此儘に放置するは府民の恥辱である』尚久住三二氏外五名は二十七日附で左の如き陳述書を道知事宛提出した

大正十二年十一月二十日京城府協議員選擧取消申請に關し十一月二十五日進達置き候處右申請の期日府制施行規則第二條十六の規定期間を經過したる御意見も有之樣聞及び候右五日間の終りは日曜日に該當し普通民事訴訟法百六十六條により最終の日曜日を算入せざる規定なるに獨り朝鮮總督府の制令たる府制にして之を除外せらるゝは其當を得ざる解釋にして特に母國の市町村制は其申立期間を七日間とし府縣制は一百日とある位にて朝鮮に於て五日間と規定せられたるは最短期を選ばれたる期日にして今回の如き最終日の日曜日に該當せし時は無論二十六日を最終とするを穩當と認められ萬一我々申請提出は期間經過後と御決定相成如き場合は當官の職權たる第二條十六の一項により今回の不正選擧御取消相成度特に陳述仕候

北白川宮妃
明春二月御歸朝

巴里にて御靜養中の北白川宮妃殿下には御傷も全く御快癒遊ばされたので來る一月二十日郵船白山丸にて馬耳塞(マルセイユ)御出帆二月六日神戶に御著あらせられる旨此の程同宮邸に御便りがあつたので久しい間御待ち遊ばされてゐた永久王初め御兄弟宮は非常な御喜びである(東京電報)

東支鐵道督辦解任か

……驪麟が任命されるであらうと……

米國將校から 義捐金
罹災將校家族へ

米國陸軍第七十九師團將校一同は當市罹災將校家族へ一同に贈呈して米貨一千二百弗を寄贈する旨同師團長並に國務卿代理ウイリアム フイリツプス氏より埴原駐米大使の手を通じて申込んで來たので田中陸相は伊集院外相に謝狀發送方を依賴した(東京電報)

徵兵令施行 記念祝宴
師團司令部で

二十八日は徵兵令發布滿五十周年記念日につき龍山第二十師團では午前十一時五十分師團司令部講堂に幕僚及部員を集め祝宴を催した尙師團司令部では岡大佐中村高級副官の講話を行ひ各隊でもそれ〴〵徵兵令に關する講話を行つた

大邱聯隊 二十八日徵兵令記念日大邱聯隊では質素な祝宴を催し且精神講話があつたが大邱商業學校生徒二百五十名は此日聯隊を參觀し有益な講話を聽いた尙大邱中學校では午後一時から木村少佐、第一、第二小學校では齋藤中尉の各大尉を迎へて有益な精神講話を聽いた(大邱特電)

水中爆破
工兵隊の演習

去月中に擧行の豫定であつた工兵第二十大隊の水中爆破演習は延期中の處廿七、八兩日西氷庫附近漢江に於て擧行する事になつた廿七日は午前九時より第二中隊の水中爆破森林爆破あり廿八日は同じく午前九時より午後四時迄水中爆破及び地雷爆破が行はれ其都度壯烈なる大音響と共に水煙天に冲する物凄い光景を演出した

天圓輕鐵 喰ひ込む
既に二萬圓の損

天圖輕便鐵道の第一期線地坊前洞村間は開業以來既に一ケ月餘りを經過したが運轉の月收は約一萬圓なるに對し俸給その他の經費一萬圓宛を要し加ふるに支那馬車賃は目下鐵道賃率よりも低位にあるような現狀なので其前途を悲觀されて居るまた圖們江鐵道と天圖輕便とを連絡すべき圖們鐵橋許可の指令は既に延吉道尹の手に到着してゐるけれども細部の指示を受くるに至らぬため未だ敷設の工事には着手されて居らぬと

沿線を股にかけた 女白浪捕はる
二十三になる土方の女房 丸一呉服店でも萬引

去る十八日府內八雲町印刷業金岩久が現金五百圓及び衣類其他二百餘圓の窃盜にかゝつた事件は既報の通りであるが大邱署の德丸刑事は其後寢食を忘れて百方搜査に從事し或は寒夜眠りを醒し深夜人家の軒下に佇み或は自ら土方に扮する等慘澹たる苦心の結果遂に其端緒を得て府內八雲町八六原籍栃木縣河內郡細島村大字足沼生れの土方業寺島幸吉が妻トキ(二三)と云ふ若い女が府內元町コマヤ呉服店で萬引せんとする所を逮捕し取調べた所京城本町一丁目丸一吳服店及び同龍山店を荒した外沿線を股にかけて窃盜又は萬引を働いた事判明し司法室は驚嘆眼を寒ふばかりの反物の山を築いた因に臟品は目下夫々被害者に照會中である(大邱)

瓦斯疑獄
判決言渡

東京瓦斯疑獄事件の被告中第一二審の判決に服せず上告した代議士元市會議員高橋義信以下村野、芝、阿槇、松山、所澤、熊谷、笠木、中谷、山縣等の上告事件は大審院刑事部横田判長係で審理中であつたが二十七日午後二時熊谷は上告棄却、其他は全部原判決を破棄して名古屋控訴院に移送する旨の判決言渡があつた(東京電報)

金貸殺は死刑

阿片コカイン密輸賣買資金借出の事から神戶市荒田町一丁目金貸業滑川竹治(五〇)及び長男要(二〇)を慘殺し更に竹治の妻里を絞殺せんとし果さなかつた福岡縣三池郡三河町料理業荒木多次馬(二七)は二十七日大阪地方裁判所で死刑の言ひ渡を受けた(大阪電報)

辻强盜と 大格闘
賊は二名の鮮人 首尾よく追拂ふ

廿六日午後九時過ぎ平壤府內新義州裏歩兵七七聯隊前道路に於て二名の辻强盜現れ通行中の屠牛場番人田中末吉(五〇)の歸途を擁して朝鮮式食刀を以て矢庭に背部の暗陰より毆擊し右肩胛部へ數ヶ所に亙つて亂打して所持金の强奪を圖つたが後で探しても一向見當らぬと申述べて居る、格闘も相當に激烈であつたと見え衣類もシャツもボロ〳〵となり食刀で毆打された處は黑染んで居ると

犯人は暗闇の事とて充分に察知出來なかつたらしいが何でも前月曾通門外鐵道踏切番人宅へ闖入した三人組の强盜と手段や內地語で脅迫する點が一致するので同一犯人ではないかとも想像され府民は近時頻々たる强盜沙汰に安き心もない狀態である(平壤)

帝國蠶絲信託

……とする件) 乙案(資本金を二千萬……

鮮、滿、臺の 陸上競技大會
明年夏大連において開催 朝鮮も多分參加か

滿洲、臺灣、朝鮮の有志に依つて計畫されて居た對抗競技會の第一回を明年夏大連に於て開催することになり大連に於ては着々其準備を進め臺灣は既に參加に決定したのに朝鮮側では協會幹部中にも尙早論があつて其態度決定に至らなかつたが廿七日には滿洲側より阿部平太氏が態々勸誘のため入城あり協會に於ても至急態度を決定せざるべからざる氣運に逢ひ有吉體育協會長、大塚副會長其他理事中にも此際朝鮮のみ參加せざるは大朝鮮の手前相濟まぬ事であり

現在朝鮮の競技界は既に參加すべき氣運が熟して居ると云ふので多分は參加に決定するであらうが二十九日の午後五時から銀行集會所で協會幹部會を開く事になつた、この大會は極東大會の無い年即ち一年置きに開催されるもので第一回を大連で開くことになれば十五年か十七年かには主催が朝鮮にも廻る事になるので從つて理想的のグラウンドを必要とする目下計畫中の府營グラウンドの竣工が自然促進される事になるであらう

會社の資金を 掴って調達
大阪で捕はる

長崎市稻佐町一丁目宮脇武茂(三〇)は此程東京の復興に要する家具を購買する長崎家具合資會社を鄕里で……

掏摸團の親分
徘徊中捕はる

二十七日午後七時過ぎ府內黃金町五丁目附近を擧動不審な鮮人が徘徊して居るのを本町署巡查が發見し本署へ連れ込んで取調た處此奴は京畿道水原郡東城面生れ崔元熙(二〇)と云ふ金齒付の掏摸常習者で忠南鳥致院東面生れ鄭錫光(二〇)と共謀して不良少年數名を手先に使ひ組織すべく觀兒官醫院と相談の上其資金を拘つて調達する爲め改頭は去る十月初旬大阪神市郊外電鐵は勿論中央局北濱局を始め到る所を荒し廻り逮捕當時は二十圓の郵便貯金通帳を持つてゐたが尙ほ數日前東大門際で現金百圓を取り分配したことを自白したが餘罪ある見込

怪しい養子の死
警察で取調中

二十八日午前六時頃府內授恩洞八二番地李晃玉の養子李相俊(二〇)は自宅溫突で多量の苛性曹達を嚥下し自殺を遂げた鍾路署より係官が現場に出張檢屍を行つたが他殺の疑ひあり引續き取調べ中

女泥棒
乞食に化けた 本町署で逮捕

忠南舒川郡生れ當時住所不定の金草龍(二〇)と云ふ女は廿八日午前零時半頃府內壽町二九番地小泉サヨ方に忍び込み洋傘、靴、醬油、砂糖等を竊取逃走する處を本町署巡查に檢擧されたが數日月前より大和町、壽町、倭城臺町方面を乞食の風をして迂路つき家人の隙に乘じて手當り次第に物品を竊取して居たと

分島一派公判
來月八日開廷

既報朝鮮會社鮮本部長殘定一郎に傷害を加へたる分島周次郎外三名に係る公判は京城地方法院第七號廷にて來月八日午前十時から開廷さるゝことに確定したが三矢裁判長、平山檢事立會、堀山、堀兩辯護士列席の事になつてゐる、一方被害者たる渡邊氏は『被告等の誤解から自分に傷害を加へたものであつて別に惡意があつた譯でないから寛大の處刑に願ひたい』と云ふ歎願書を裁判長に提出した

禁酒會の頭株
が醉つて亂暴

二十七日午後十一時頃府內鐘路五の二二六番地姜順福(二〇)は同町の飲食店李起成方で强かに酒を呷つて泥醉の餘り酒代を支拂はず屆人金昌愚を引捉へて毆打し亂暴を働いた廉に依り東大門署に檢束取調べを受けて居るが此奴は徹て禁酒を主張し青年に對し自ら禁酒會の牛耳を把つて居るなど豪語して居た者であると

奉天大雪
被害はない

奉天地方は二十六日夜から二十七日朝にかけ霏々降り實に去る明治四十一年以來の大雪である併し風がない爲電信電話線其他に被害なく只汽車が多少延着しただけである(奉天電報)

暖いみせ

木枯吹くこの寒空に……丁度花咲く春のやう……

京城本町二丁目にちゝぶやと云ふ專門の店がある、銘仙の用事といへば先づちゝぶやを思ひ出す程一般によく知れ渡つた店で、品物の機元から送つて來るから、品質の確な事は云はずもがな、柄と云ひ値段と云ひ流石は專門の店である事をうなづかせる、それに店は小さいが店內の設備が都合に行き屆いて居て氣持ちがよい、殊にこの頃はスチームを通して店內は丁度花咲く春のやうな暖かさで、この寒空に往き來して冷えた體の婦人客を喜ばして居る

電信不通

二十八日朝來京城淸津間線と元山淸津線混線のため急向京城淸津間の通信は不能になつた原因は多分寒氣の爲めであらう

船長譴責

木浦に船籍を有する汽船飛行丸船長白斗鉉が定員以上の旅客を乘せた義務違背事件は廿七日午前十時遞信局海員審判所に於て審判を開延したが其結果被告人を譴責に處する旨言渡しがあつた

感化院の開校

朝鮮社會事業の一たる永興灣(咸南文川郡明孝面)感化院永興學校の開校式は來る十二月五日正午より同校講堂に於て擧行すべく當日元山棧橋より汽船を往復せしめ來賓の便宜に供する由

選手決定
全日本庭球

全日本庭球選手權大會復試合は二十七日大阪市立運動場に於て擧行されたが其結果早大の阿部川妻組は選手權を獲得した(大阪電報)

阿部 川妻(早大) 六—四 六—三 三—六 六—四 原田 青木(慶應)

尙單試合選手權は慶應の原田が獲得した

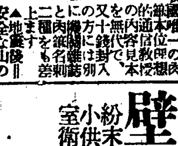
原田(慶應) 五—七 六—三 五—七 六—三 六—三 鳥羽(神商)

膏藥と云へは きゝめ確かな
貴眞膏
リウマチス、シンケイ痛、肩ノこり、打身、キリキズ、凡テ全身ノ痛
藥價五十錢迄 全國到ル處ノ藥店ニアリ
本舖 藤村壽榮堂 京都東洞院三條

大學病院ヘ御越ノ方ハ 石城館へ 大學病院前 電話八十八番
宿料一泊一圓五十錢均一
診察入院手續無料
增築落成下宿デキ升

御披露
御宴會に限り 御料理 御一人前 御酒付
松 二圓半 御酒二本付
竹 三圓半 御酒三本付
梅 四圓半 御酒四本付
鋤燒一式 二圓半 御料理 御酒三本付
時節柄、商談、御集會、御會食に好適と存じます何卒御引立を…
尙女中も揃ひました事を申上げます
本町二 清香園 電話本局三六〇番

△英習字!無代進呈!
葉書でお申込み次第我國唯一の英習字通信教授の內容見本を無代で、又十錢封入の方には別に肉筆の名刺の二種を差上ます
▲地震後…安全な山手の本會は從前通り事務を執つて居ます
東京目白高田町三六〇〇 大日本英習字研究會 電話牛込四〇六・振東京一三三三三



推薦
近藤謙助君
を京城商業會議所評議員最適任者と認め推薦致候
門外懇話會
佐賀縣人會
西大門金融組合
西大門貯蓄會
西部有權者

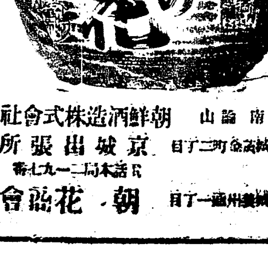
凡有輸入品を凌駕する純國產品優美壁塗料
壁の素ポーライト
粉末ポーライトを水に溶いて唯一本の刷毛で小供でも塗れる簡易にて危險なき美しい衛生塗料一坪分僅か四十錢也
朝鮮一手特約店大邱府上町 大邱物產貿易合資會社
特約店御希望の方は弊社へ御照會を

防火と煉瓦
煉瓦住宅は坪百圓前後で出來ます
京城煉瓦共同販賣所
電・本・3161番

訂正再揭載

十一月十七日京城日報朝刊全鮮銀行會社商店銘鑑所載滿鐵京城鐵道局社員錄は身分等に相違の點ありたる爲め訂正の上三十日の紙上に再び揭載す

高級銘釀
驚嘆!
それは銘酒朝の花の眞價です



忠南論山 朝鮮酒造株式會社
京城黃金町二丁目 京城出張所 電話本局二一九七番
京城義州通一丁目 朝花品會

(兒童保健相談所)
イケタ內小兒科病院
京城三越呉服店前へ入る南山町一丁目
院長 池田

勞働同盟會金融所

……するであらうと

……に至つた關西勞働同盟會は……に綜合し經濟運動並に政治運動を……少年少女に於て組織した（仁川）

商品界は先高見越

概して一割以上三四割の昂騰

釘本商業會議所會頭談

東上中の釘本商業會議所會頭は廿七日歸城したが往訪記者に對し「全商業會議所聯合會の決議を齎して首相其他各大臣に陳情した大要は昨日南山に於て貴社記者に述べた通りである」と冒頭して次の通り語る

東京の復興氣分は頗る旺盛で至る處バラツク式の家屋が建設され殊に丸の內附近は是から先の事業の中心地となるので夥しい人出である、大體に於て丸の內の一半は整理が付いたやうだが日本橋から本所深川一帶は未だ手の屆かぬ所が多い

金融界は至極靜穩

で各銀行共無事營業を繼續してゐる中には相當手傷を負ふたものはあるやうだが表面は何れも平然と構へてゐるので金融は圓滑である、大阪は何うかと云ふと震災後殆ど蘇生の狀態で商取引は中々旺盛を極めてゐる、一時は大分行き詰まつたやうだが今日では商品の缺乏へと云ふ風で品物に依つては一割以上三四割にも上つてゐる、何分震災後に於ける東京方面の物資供給地である關係上物資の需要は益々增加するだらうから

今後の大阪市場は

一層の殷賑を來す事と思ふ、併し市中は一般に緊張味を呈し、消費節約が或る程度迄行はれてゐるやうだ、歸途九州方面を見たが農家は米價昂騰と出廻り期に入つた爲め懷具合は好いやうだ、只銀行が引締めてゐるので金融硬通を缺き農民は止むを得ず自己の預金を引出して融通してゐる、預金の引出しが多い關係で自然個人取引が盛んになつてゐるが是が臨時萬圓の預金を有する銀行では三四十萬圓宛の引出されてゐる有樣である財界の前途に就ては觀測區々であるが復興事業も何うやら眼鼻が付いたやうだから東京及物資供給地の大阪方面は益々景氣付くかも知れない只地方は海外好影響を受けず却て疲弊しはせぬかと氣遣つてゐる商品界は前途の獨り大阪地方が好況であるから一般に先高を期待されてゐる

鮮銀東京支店組織變更

【東京特信】朝鮮銀行東京支店の組織は從來支店外國部總務課、庶務課、調查課、秘書課等に分立し居るが橋本支店支配人が外國部支配人を兼任するに至りてより支店外國部は自然合併さる可く總務調查兩課は堤嘉三氏課長を兼任し居れば之れ又合併せらるべき庶務課秘書課の處分に關しては尚考慮中であると

鮮銀減配

整理完了まで斷行か

既記鮮銀の再整理說が傳へられてゐるが某消息通の觀測に依ると整理案の內容は嚴秘に附せられて居るがその概要は前回に同行が立案した五ケ年間整理案を基礎とするものである、たゞその後鮮銀財界の不振が依然たるものであるところへ今回更に震災の打擊も加はりたることゝて貸出金の回收不能額は更に擴大したるを以て前回の案において行內を整理し自力を以て漸次缺損を塡補せんとしたるに反し今回の整理案では行內の整理と共に大藏省若くは日銀より相當の整理資金の供給を受くるものゝ由である、しかして整理完了までの期間はさまで早むる必要がないとしても既に整理の例もあれば配當についても當然相當の減率を斷行するであらうと

綿絲奔騰

三百圓實現說と危險接近

三品の新高値躍進は益々買方の勝運を强からしめてゐるやうだが前途に就ては一時悲觀された實需も漸次立直り紡績は海外へ消化される內地殊に中國方面の如き中品から細物に拂底を告げ細に適高潮の現象を示すなど稍や好轉の兆があり又這回奔騰の動因を爲した米棉は收穫高一千萬俵以下との豫想は愈々確實性を帶びて來た此の結果は勢ひ紡績の原棉喰ひ延ばしとなつて自然操短を促し前途の供給減を意味するとされ年內三百圓實現をさへ見越す恐るべき人氣となつた、斯く新進途上にある相場に恃む仕手を見ると棉業大手筋買の地方筋買と大別され總ての點に於て買仕手の劣つてゐる爲め一層仕手關係からも强味を煽られてゐる、唯茲で問題は米棉の該數であり强氣の運命も全く米棉一本に掛つてゐるから相場其の物としては一種の危險區域に接近したものと觀測されてゐると觀測が行はれてゐる

證券金融認可

京取市場では二十八日正午より重役會を催し株式金融を目的とする證券金融株式會社創立總會を催す筈であるが目下當局方の方針としては有價證券の賣買信託等の會社は成る可く新設を許さゞる方針なるも同社は特別の事情ありと認め廿七日附名稱を株式會社證券金融社として設立認可あつたので資本金五萬圓第一回拂込四分の一で京取會社の別働隊たる事務の通りである

京信配當二分

京城信託は本月末を以て當期決算を〆切り來月下旬定時總會を催すべきが利益金僅少なるも前期に於て配當を留保しあれば已むなく年二分程度の配當を行ふ由

天然氷無配當

朝鮮天然氷は本月末一ケ年間の決算を行ひ十二月中旬後第二回定時總會を行ふべきが本年は不況の爲め賣行き不振で五千噸强の賣殘りを生じたる爲め營業不良では無いが配當不能との事で只相當の額を負債償却に充當し得ると

海外相場

二十八日著電次の如し

倫敦銀塊	三十二片十六分ノ十三
米棉	一圓五十錢高
英米爲替	四弗三十七仙八分ノ三（一弗二分ノ一安）
スチール	九十六弗八分ノ三（八分ノ三高）
アナゴンダ	三十八弗四分ノ三（一弗八分ノ一高）

商品市況

片栗粉（暴騰）久しく保合つた本品界は世界で本場たる和蘭の不作に搗て加へて內地產地の品薄に二十五日一齊に急騰し當地に於ても勢ひ値上の已むなきに至り北海片栗粉十一圓二十錢と二圓四十錢の高値を示したが新物出廻りまでは相當餘日あり幾許同步調を辿るものと觀られて居る

罐詰類（不味）夏季最大需要期を經過する事故賣行も一段落にて各品共一息商狀に見受けらるゝも筍、グリーンピース其他野菜ホイル物の需要期に向ひ稍々活況を呈しつゝあり松茸も本年は相當豐作にて加之に東京方面送りも稍々減少の見込にて久方振りにて松茸の新安値を見相當賣行見込あり福神漬海苔佃煮等關東製品は品薄なるも製造工場に被害なき向は極力製造を急ぎつゝあるも諸材料の手入難と高値に依り多少の値上げは餘儀なきものとせらる其他大した變動もなく至つて不味を呈して居る蟹印鮭八打入新品四打入十九圓停止個入二十五圓鮑ホイル四十匁入五打二十七圓味附海苔一打十三圓八十錢松茸ホイル新特製四打十六圓八十錢筍六斤一號新物一打入十八圓二號十五圓五十錢於多福豆上四打入新物九圓五十錢の唱へ

煎子（漸騰）本年は各漁場共非常の漸漁にて例年十月中旬より下旬に掛け開物買入の最盛季なるも昨今は當時賣りも品切勝の有樣にて先月釜山に於ける共進會に於ても豫定は僅かに三萬貫內外より揚荷なく之を見ても漁の事實判明加へて內地も不漁にて右入札會も內地商人の手に買收せられし始末自然漸騰は免れず前途大いに寒心に堪えざる狀態にして中羽白口極上新物三十三圓五十錢中小羽三十一圓五十錢ちりめん大白六十圓處の高値を示して居る

麵類（强保合）需要季に向つて幾分活氣を帶びて來たが財界不況は自然賣行減退を示しつゝあるも製造能力件はざるため相場は强合みて播州手製揖保の糸三十斤入六圓七十錢冷麥七十二把入三圓五十錢乾ソバ二圓二十錢ウドン一圓九十錢高素麵十把四圓五十錢と强保合である

綿絲布（氣迷）米綿七十五錢高銀塊十六分の一安を入れ三品續騰先二九三、一の新高値を示し三百圓突破も最早實現するやに付き氣迷賣行不振大阪現物品も亦吸りなり幾許三品高と現物品薄により仲間筋安値買人氣熱旺せり實需筋一氣の高値にて買粗布三三エ一二百八十八圓九龍二百八十三圓大エ二百七十八圓金剛山二百四十八圓金閣二百三十二圓煙管二百三十圓白頭山百九十圓長鼓二百三十二圓葉錢二百二十圓細布飛犬（十三封度）十三圓九十錢世樂島十二圓六十錢晒金巾進軍十三圓七十錢金鼎十三圓綿絲扇面（十六封度）二百八十八圓双女二百六十三圓晒木綿竹一圓十八錢椿一圓五十八錢

鮮魚（軟弱）入荷多く殊に青物潤澤なれ共賣價これに伴はず市價一般に軟弱たい三十八圓小たい四十五圓車えび七十五圓もえび六十圓小えび四十圓ぶり二十圓さば七圓さわら二十七圓ひらめ二十圓たこ十五圓にべ十四圓ちめ二十五圓

雜記帳

▲商議選擧期日が目睫の間に迫つたので候補者の顏觸れも大分鮮明になつて來た▲一級は何れも地盤が固いので左程妙味はないが二級戰は新顏が多いので其結果如何は一般から好奇の眼を注がれてゐる▲一級候補は其得票分布狀態から見て穩當だが二級は同數得票者數名を見るらしい模樣だから結局年長の順位か或は抽籤で當選と次點を決することとなら▲京城商業會議所では從來の慣例に依ると商業會議所は抽籤による慣例があるので何う云ふ方法を執るかは不明だが京城府廳の大和書記長は抽籤によるのが公平であると云つてゐる

株式（廿八日）

大阪安鈍感

前場大新安　後場チリ安

今朝は大阪大新八十一圓五十錢と一氣四圓方の急落を入れしも米棉高と大阪跡二圓臺に引返しを入れて氣配は夫れ程惡化するに至らず結局大新はマバラ筋小口の投げと軟派の追擊に八十二圓ドタと寄り付いた跡六七十錢八九十錢を揉み三度三圓ドタと乘せたるも買物薄らぎ大引二圓四十錢と打止め一圓六十錢方奔落し仁取は見送り仁新大阪安に三十四圓二十錢と安値に寄り付しも大引八十錢と戾し安取は十六圓五十錢の一本にて何れも變らず京取は大阪安にマバラの賣物へとバイガイに三十四圓九十錢と下放れしも大引一氣に三十六圓ドタと戾し四十錢方小高く先物は三十五圓八十錢と寄り付六圓十錢と打止め五十錢方下押したるに止まり大體に大阪安の割底强き成行を呈して大引した

▲後場は大阪大新前場の大引、十三圓〃十錢があり跡八十二圓ドタの下押しを入れて大新は八十二圓八十錢と寄り付しも跡ヂリ〳〵安く一圓七十錢と打止め七十錢安仁取は百圓五十錢と小安く仁新は變らず安取は二十錢安にて何れも寄り付本の不氣乘に終り京取は買方主力の見送りに當〃圓四十錢迄五圓三十錢と下押し大體見送り人氣に場面は閑散を呈し活氣涸に大引した

大新急落の因

東新安の爲めか

今朝の大新安に付てはまだ何等の詳報なきも米棉高其他買氣滿々たりし大阪市場の商勢から考察して今日來復興審議會の險惡なる雲行きに政局案じに因る東新安から崩れたものと觀られて居る而して今回の中間景氣は主として帝都の復興に因るもので復興に要する資金の流出を目標とせられたのと大阪方面に於ては其大規模なる復興材料の供給に因る商品界の活躍を書き入れたものである然るに昨今審議會の雲行は復興費に計上せる豫算を膨大なりとし之れを修正減額されんとする模樣であり且つ審議會の議論は自然議會にも延長すべしと觀らるゝ理由があり復興費の緊縮政局の雲行等樂觀を許さゞる形勢となつたのであるから之が人氣に及ぼす影響は決して小さいものではなく是迄買はれて居た東新等狼狽的に投げ退いた結果大阪が之れに應ひたものと見られるのである亦一面相場の大勢からも既に東新は百圓大關門を突破し大新亦九十圓臺に肉迫するに至り殆んど總花的の活躍を演じた揚句であるとせられ一と押しは寧ろ當然とせられ居り其の東新安に更に下げ足を急速ならしめたものであらう從つて今後の商情に對しては尚相當期待され乍らも政局懸念に因る人氣が安定しない限り投げと利喰の一巡しない限り再び局面の展開は至難で人氣も亦氣迷深く向一段安は免かれなからうと見られて居た（前場）

大阪安と京取

目先は保合か

京取株は今朝大新の急落も鈍感に結局保合の底堅き成行を告げたが前場して斯く保合を告げ大阪安に鈍感なる所以は依然として新田對吉見の對戰で今朝も新田賣りに吉見の買ひが目立つた丈で其他は多く利喰と手詰めのみで一向賣りにも買ひにも人氣が付かない爲めである即ち京取自體としては目先硬軟共に材料のない結果であると見らるゝのである從つて大阪が尚好況を續けるならば買進み易きもかく鈍況を呈するに至つては安値に格別商値も見送らるゝ事になり亦軟派としても既に頃日來の商勢を眺め且つ大阪市況の前途も悲觀を要せざる模樣を眺めては無暗にも賣進み難く結局は大阪の如何と共に後れず買へず目先此邊の保合持續するの外はないだらうと見られて居る

波瀾益擴大せん

今朝八十一圓五十錢の急落を入れた大新は跡早くも二圓臺に引返しを入れて相場はドタ惡りの模樣を呈するに至つたが這は前途期待の人氣に因る軟派の利喰急ぎの結果か將亦買方防戰の結果かは不明であるが何れにしても復興資金の出廻りは只其額に多少の差がある丈で必然的に流出されるものである以上現下の人氣が來春目標の長期思惑であるのと是迄優勢を續けて來た關係上買方が俄かに踏むか否かは不明であると見るの外はない持續さるゝものと見ると共に買氣は依然從つて是迄好材料備ひの折柄に突如相當有力なる不安材料が現れたのであるから今後商機の動くに伴れて煎れと投げの分岐及び利喰の分量が增加し波瀾擴大の動機を作る事になるであらうと見られて居る

京取重役會

京取市場重役會は午後一時から開催今期決算の概略社員の賞與金其他の消却等に付協議し今期配當は略一割に內定續いて證券金融社創立總會に關する件に付協議した

證券金融創立

京取市場證券金融社の創立總會は午後三時京取市場重役室に於て開催協議の結果左の如く決定した

一、定款の決定
二、名稱株式會社證券金融社
三、資本金五萬圓　四分の一拂込
四、役員、取締役社長釘本藤次郎、常務取締役平岡光三郎、取締役趙鎭泰、監查役進辰馬、和田常市
四、二十八日中に登記の手續を爲し十二月一日より開業の豫定

代用價格改正

左記の諸株は左記の通り代用價格を改正し今二十八日から實施した

一、京取二十八圓、二、仁新二十六圓、三、安取十一圓、四、大新六十圓

現株中値出來値（二十八日）

銘柄		前場當限	前場先限	後場當限	後場先限
京取	寄	三五・八〇	三五・八〇	三六・〇〇	三六・〇〇
	引	三六・〇〇	三六・一〇	三五・四〇	三五・四〇
仁取	寄	一〇一・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三三・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
鮮銀	寄	二七・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
殖銀	寄	四五・一〇	四五・一〇	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	一一・二〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
實銀	寄	一一・一〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
商銀	寄	四一・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
漢銀	寄	二七・五〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
韓銀	寄	…	…	…	…
	引	…	…	…	…
東拓	寄	二〇・〇〇	…	…	…
	引	…	…	…	…
同新	寄	三三・〇〇	…	…	…
土地	寄	三三・三〇	…	…	…
紡績	寄	…	…	…	…
毛織	寄	四・一〇	…	…	…
京電	寄	…	…	…	…
同新	寄	…	…	…	…
電興	寄	一〇・五〇	…	…	…
釜產	寄	六・五〇	…	…	…
朝郵	寄	二三・五〇	…	…	…
圖們	寄	…	…	…	…
京南	寄	…	…	…	…
金剛	寄	三・五〇	…	…	…
滿鐵	寄	一〇四・〇〇	…	…	…
同新	寄	三三・五〇	…	…	…
東亞	寄	…	…	…	…
信託	寄	…	…	…	…

短期取引

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	八三・〇〇	八二・四〇	八三・三〇	八二・〇〇
	後	八二・八〇	八二・八〇	八二・八〇	八一・六〇
仁取	前	一〇一・五〇	…	…	…
	後	…	…	…	…
同新	前	三四・三〇	三四・八〇	…	…
	後	…	…	…	…
朝紡	前	…	…	…	…
紡新	前	…	…	…	…
拓新	前	…	…	…	…
滿鐵	前	…	…	…	…
安取	前	一六・五〇	…	…	…
	後	一六・五〇	…	…	…

銘柄	寄	引
朝信	…	…
數信	六・八〇	…
滿取	…	…
奉信	…	…
安取	…	…
大新	…	…

大阪短期取引

銘柄	○二十八日前場寄付	大引
大新	八一・五〇	八三・五〇
鐘新	二八四・八〇	二八七・二〇
天取	…	…

銘柄	○二十八日後場寄付	大引
大新	八二・〇〇	七九・二〇
鐘新	二八三・四〇	二七八・五〇
天取	…	…

安東株式

	○二十七日後場寄付	大引
安取當	一六・七〇	一六・一〇
先	…	…

	○二十八日前場寄付	大引
安取當	一五・一〇	一五・八〇
先	…	…

鎭平銀

	寄付	大引
○二十八日後場 當限	一・二三八	一・二三一
先限	一・二四五	一・二四四
○二十七日前場 當限	一・二三六	一・二三八
先限	一・二四五	一・二四七

算定

仁取百一圓、仁新三十五圓、安取十六圓、大新八十二圓

日步

仁取四十錢、仁新十五錢、朝紡五錢、拓新十錢、滿取十錢、安取〃錢、大新逆〃五錢

出來高

計三十三萬八千九百十七枚▲長期千七百枚果計二十八萬一千枚▲短期二千二百十枚果計二十八萬一千百二十枚

諸株喰合尻

廿八日前場現在

▲京取當三、三三〇提供一、四三〇
▲同先二、三三〇提供六八〇
▲大新五、六九〇不足七〇
▲安取三、二三〇代引一、九九〇
▲仁取三四〇代引一五〇
▲仁新二、六三〇代引八〇

後場手振

▲大新関、市川、マバラ賣り、田中、李計外マバラ買八百五十枚、李南マバラ賣り▲京取當中村外マバラ賣百十枚▲同先白米、中村外マバラ買百五十枚吉見外マバラ新田

大阪長期取引

銘柄	二十八日前場寄付	二十七日後場大引
大株	一〇二・〇〇	…
同新	八二・四〇	…
郵船	八五・六〇	…
同新	三〇・三〇	…
商船	四四・一〇	…
同新	…	…
鐘紡	三〇四・三〇	…
同新	二七一・〇〇	…
東紡	一一六・三〇	…
日清	一〇七・九〇	…

銘柄	前場大引	後場寄付
大株	一〇二・〇〇	一〇〇・二〇
同新	八二・三〇	八二・〇〇
郵船	八六・三〇	八五・三〇
同新	…	…
商船	二九・三〇	二九・〇〇
同新	四〇・四〇	四一・〇〇
鐘紡	三〇五・九〇	三〇三・一〇
同新	二七一・五〇	二七一・五〇
東紡	一一六・五〇	一一六・六〇
日清	一〇七・九〇	一〇六・三〇

米況（廿八日）

仁川期米

前場動搖す

今朝天候恢復大阪寄配ホケの三十四圓七十一錢と前日の止め値より二十五丁安を入れて當中出來ざりしも先限は更に人氣惡化して二十七圓八十錢と二十丁安に寄付

▲第二節　當中出來ず先七十九錢より八十錢と小戾しの機先大阪跡六十三錢より十一錢の暴落に投げ物の處分物續出して脆ろくも三十五錢と拔けたるが賣方の利喰いに五十錢と跳返し四十九錢と引

▲第三節　當中出來ず先五十錢に始め大阪跡六十九の急騰を早耳せる㋮の買進みに二十八圓十錢と電光石火の跳返しを見せ天の賣りに〇四錢と伸惱みて引

▲第四節　當中出來ず先八圓丁度より戾り待ちの賣物に七圓八十八錢と押し九十錢と引

▲第五節　當中出來ず先九十五錢より八圓〇一錢と跳返して引

▲第六節　當中出來ず先十錢より戾待ちの賣物に〇一錢と下押し機先大阪九節七十四錢の移りに十錢と返し十六錢と手堅く引

▲第七節　當中出來ず先十九錢と大引

賣買差引錢

賣方		買方	
㋕	三三〇〇	㋑	八三〇〇
天	二七〇〇	㋕	四六〇〇
㋬	二八〇〇	⊖	一七〇〇〇
金益	二五〇〇	㋮	一〇〇〇〇
丸張	二二〇〇	希	五〇〇〇
丸大	一五〇〇	㊀	四〇〇〇
豐	八〇〇		
㊃	六〇〇		
丸タ	一〇〇〇		

仁川期米相場

	廿八日前場	廿八日後場
寄付	二八・八〇	二七・九九
止値	二八・一九	二七・八九
高値	二八・二〇	二七・九九
安値	二七・三五	二七・六四

○前場公定値		後場公定値	
一節	二七・八〇		二七・九九
二節	二七・五五		二七・八九
三節	二七・九〇		二七・九二
四節	二七・九二		二七・九〇
五節	二七・九九		二七・八〇
六節	二八・〇九		二七・六九
七節	二八・一九		二七・八九

值段（當限・中限・先限）二八・八〇　二八・八〇　二八・三九
取組高　當限五千七百石　中限三萬五千七百石　先限
出來高　十七萬三千九百石
累計　四四八〇〇〇石

後場落付く

▲第一節　當中出來ず大阪後寄三十四圓五十一錢の小安移りに先二十七圓九十九錢と二十丁安に引
▲第二節　當中出來ず先九十錢より八十九錢と押し九十九錢引
▲第三節　當中出來ず先九十錢より八十九錢と押し九十二錢引
▲第四節　當中出來ず先九十錢の一本値に引
▲第五節　當中出來ず先七圓九十錢より三錢と縮り六十四錢と叩かれ六十九錢引
▲第六節　當中出來ず先七圓八十九錢と一息模樣に大引

各地正米軟化

阪地期米の急落影響を受けた朝鮮各集散地よりの入電に依ると釜山は正米一圓安天候の恢復にて出廻りは日々增加を見つゝありと又群山からは正米の賣物緩に增加して二十七日の如き六千叺の現物が廻著したる爲め人氣軟弱に傾き今後天候快晴を持續せば一巡持來を豫想されゝ見込みであると尚ほ其の他の各地も大小其の餘波を受けて軟化の氣分がある

籾下溢る

品薄で下溢りの正米は昨日來の期米急落によつて買人一齊見送りとなり約小一圓方暴落の二十八圓七八十錢處を唱へらるゝに至つたが籾は比較的下足鈍く神力上物は依然八錢內外を維持して居るが之れは値に添はざりしと今一つは天候の高出廻り增加に依つて一時正米の恢復に由つて供給の需用增加によるもので眼先天候が此の儘に推移するとせば正米と籾の値鞘は漸次接近して行くであらう

群山筋賣注ぐ

一時出盡りたる正米も天候の恢復に伴ひ賣物增加の傾向を示し來れる折柄舟も阪地期米の氣崩れを入れたる群山筋の賣物が當所先限に向つて氣崩けの賣物を注ぎ來る向頗る多く㋮等の賣物の筋にして其の他沿線各地よりも相當賣物が入込むで來る模樣である

果して轉換か

既報の如く政府は愈々神戶で七千石大阪で五萬石合計五萬七千石の保管米を拂下げる事に決定した樣であるが最も六萬石足らずの拂下げ米といへば餘り大した材料にはならぬが其の主旨が米價調節の意味を含んで居るものとすれば最早上値に對する門を入れたも同然で遣作を看に賣惜んで居る農家としても之以上の高値を期待して持殘りが張れなくなつて產地よりの賣物が殺到であらうから品薄の各集散市場の作米も漸次之に緩和せられ結局定期に何等かの影響を齎らして來るであらうとて弱氣は今回の下げを大勢轉換の動機と觀て居るらしい

丸マ利喰ひ

賣方主力として注目を惹きつゝあつた㋮は前日の阪地急落を機會として猛烈なる極端賣を試み今前場の安値に小一萬石の利喰ひを爲したが尚ほ六千餘石の賣玉を殘し吹値は更に賣直さん意氣込みである

灰汁拔げか

㋕を中心とせる强氣を除く其の他の小口買方は既に殆ど投げ退き中には途轉賣越しとなつた向も尠なくないが大體が客に買はれて地場下落成であつた後丈けに此の邊一先づ灰汁を拔いた樣でもある

（米界餘聞）

あれ丈け堅い〳〵と云はれて居た相場が崩れる日になると僅か一日か二日で二百丁以上も掛るのだから油斷も隙もなる事ぢやない▲乘せて利乘せに利乘せに買ひ捲り丁度扇を擴げた時の樣に玉が大きくなつて居た機先の急落とて中にはミルクで育てゝ疱瘡でバツタリと云ふ悲慘な向も尠くないらしい▲かうたると買方の資力は減つて來るし一方の弱氣は安い處で利喰して居るのに吹いた處を賣直しが出來るので買方にも一寸ゴテが入つた譯である▲然し㋨丁相場に此の位な暴落はあり勝な事であるから弱氣の連中も調子に乘るのは未だ考へものである殊に當所が阪地と七丁の鞘開きなんかはちと脫線し過ぎた嫌がある等弱氣も急がず慌てず長く行かないと又た思はぬ躓きが出來るかも知れない

京城穀物

正米現物

沿線筋は弗々出廻りあるも久しく天候不良の續きたる後丈けに乾燥作業今尚捗々しからず合格品は各地定期の渡米に吸收せられて現物稀薄を告げ平澤四等乘りの二十八圓五十錢金義古米上物等の二十八圓見當を唱じ居れりとかにて玆許二十九圓搦みを唱へられ玄米は小口ながら日々賣物增加の姿にて前日に比し二三十錢方安人氣の穀良二十六圓五十錢見當なるも上物は酒造筋の仕込みある上物は二十七圓處迄の買望人ありて買狙はれ二十七錢五厘買在來種上物七錢見當の高唱へなるため安値は手放し見送りの姿である

延

期米一段の安移りに今朝は引續き不勢なりしも反動懸念と値頃の買試みもありて無碍には突込めず一部の投げと小口買物ありたるのみにて今一息の商狀であつた

十二月末限二七五〇▲一月中限二七七〇八〇

大豆

賣人は依然高値唱へ期正米安に買人は氣安見送り姿にて京元線直積十六圓一二十錢の賣唱へに對し買人は十五圓五六十錢唱へ龍山三四等十六圓三四十錢賣十五圓五十錢買金汗來月渡し十五圓四十錢賣十五圓買の見當にて賣買双方に値段の間隔ありて商內殆ど皆無の姿である

仁川正米

丸キ四等二十八圓八十錢地拂文米二十五圓六十錢叔神力二十五圓六十錢黃海道在來種七錢六厘見當なるも買氣引立たず大豆は龍山物十六圓五十錢長湍十六圓二十錢白川十六圓見當なるも內地注文薄にて見送りの姿である

釜山正米

現物二十八圓五十錢十二月末限二十八圓五十錢一月中限二十八圓三十五錢

群山正米

現物二十九圓五十錢十二月中限二十八圓四十錢十二月末限二十八圓二十五錢より三十錢一月中限二十八圓二十四錢より十五錢

大邱正米

現物二十八圓一月中限二十七圓九十五錢より九十錢出來高二萬石

最新編纂 米豆取引參考書 近刊
週刊 福通信
公平にして權威ある總ての强弱材料を蒐輯して御判斷を待つ
仁川 福 仲買店調査部

東京期米

	廿八日前場	廿八日後場
寄	三六・九〇	三七・〇二
二節	・八九	・一九
三節止	・六一	・二〇
四節	・九九	・一二
五節	…	…
六節	…	…

大阪期米

	○廿八日前場	廿八日後場
當 寄	三四・八九	納會
止め	三四・八一	…
中 寄	三四・七九	三四・一九
止め	三四・四五	三三・四五
先 寄	三四・七一	三四・五一
二節	・六三	・四三
三節	・一一	・三六
四節	・一一	・二〇
五節	・六九	・九一
六節	・五九	…
七節	・六九	・四〇
八節	・七四	…
九節	・六四	…
十節	…	…

兵庫期米

	○廿八日前場	廿八日後場
寄付	三三・一	三三・二〇
止め	三三・四一	三三・七〇

下關期米

	○廿八日前場	廿八日後場
寄付	…	…
止め	…	…

桑名期米

	○廿八日前場	廿八日後場
當限	…	…
中限	…	…
先限	三三・三	三三・〇一

大阪三品

	○廿八日前場寄付	前場大引	○廿八日後場寄付	後場大引
十一月限	納會	…	…	…
十二月限	二九七・一〇	二九〇・一〇	二九三・八〇	二九二・二〇
一月限	二九八・一〇	二九九・一〇	二九三・五〇	二九二・五〇
二月限	二九九・一〇	二九九・七〇	二九四・〇〇	二九四・二〇
三月限	二九八・八〇	二九八・八〇	二九四・五〇	二九六・〇〇
四月限	二九九・〇〇	二九八・〇〇	二九七・〇〇	二九六・〇〇
五月限	二九七・〇〇	…	…	二九六・〇〇

震災後第一の決算

我社は去八月末日を以て第廿一期の滿一年を終りたり其翌日地震と火災に遭遇したるも如例十一月十五日社員總代會を開き決算したるにより社員（即契約者）諸君に其要點を報告す

一、事業は大體順潮に進行し此一年間に於て契約財產共に著しく增加したり
二、從つて八月末日の狀態に於て決算すれば約百八十萬圓の剩餘金を生ずべき筈なりし
三、然るに災後有價證券は著しく下落し家屋の一部火災に罹りたる故剩餘金を八十萬圓に減じ有價證券は十月末の時價に見積り家屋も相當の減價を爲したり
四、然も保險契約配當金は從來の如く四分五厘を繼續するに差支なし故に第一期加入の方は二十二期に於て保險料年額の八割一分二十三期に於て八割五分五厘（以上決議濟）二十四期に於て九割の配當を得らるべし
五、八月末日に於ける
社員七萬七千三百十一人
契約金額一億九千五百餘萬圓
資產總額二千六百餘萬圓也
六、震死燒死の損害は存外小にして十月末日迄の申出三十萬二千圓に過ぎず
七、取締役及監查役任期滿了の處何れも再選重任せり

取締役社長 矢野恒太　取締役 大橋新太郎
取締役 服部金太郎　取締役 藤村朗作
取締役 今村繁三　取締役兼支配人 石坂泰三
常任監查役 伊藤萬太郎　監查役 濱口吉兵衞

貸借對照表

大正十二年八月三十一日

資產	圓
現金	11,363.67
振替貯金	13,681.26
銀行預金	6,695,849.94
有價證券	3,095,?8.87
貸付金	12,401,858.3?
不動產	2,885,976.52
什器	42,654.2?
假出金	16,933.05
合計	26,0?9,400.?3

負債	圓
責任準備金	21,417,707.09
契約配當準備金	1,372,461.27
支拂備金	225,373.3?
假受金	27,712.5?
未經過利息	13,148.51
未經過保險料	265,169.43
基本金	200,000.00
法定積立金	200,000.00
特別準備金	220,000.00
使用人救濟金	91,9?7.68
寄附金	50,000.00
剩餘金	807,557.9?
合計	26,0?9,400.?3

東京市京橋區南傳馬町第一相互館

第一生命保險相互會社

臨時電話青山一七〇〇番　振替東京一三一番　大阪六八三五三番

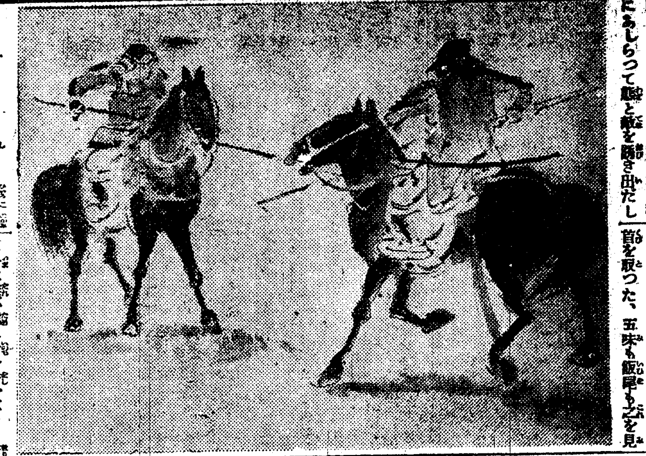
此際新加入御希望の方には御申越次第規則類進呈す

通俗太閤記

三百八回

松林伯知講演
加藤由太郎速記

勝家に俄に敵が押寄せたので以ての外に周章狼狽し、唯右往左往に騒ぐばかりこれを防がんと云ふものもなく、逃げ道のみ求めて居るのを秀吉忠次目にも掛けず掛け竝べたる小屋々々に火を掛けましたから焦煙は天を焦して物凄く、陣中よりは武田兵庫頭、三枝勘解由左衛門尉五百餘騎木戸を開いて斬つて出で『皆々今日を限りの命ぞや、一足も退くな進め……』と下知すれば『心得たり』と必死の武田勢無二無三に斬捲くり、流石の寄手も忽ち突き捲くられて麓の方へ散々の體にて引退く兵庫頭これを見て兵『夫れ敵は敗れしぞ進めゞ』と自ら真つ先に立つて馬を走らせ兵『遁なし返せ……』と追つ駈たり、酒井木下の軍勢は好い塩にあしらつて段々と敵を誘き出したのであるが、とは知らぬ兵庫頭計略のあるとは知るに由なく跡をも見ずして追つ駈けるを時分は好しと伏せてあつたる加藤嘉明、蜂須賀家政、島の兩勢一度にドツと起り立ち、兵庫頭の兩勢を一人も逃がさずと追掛たり、此方は瀧八組の名和無理之助、飯尾彌四右衛門、五味與惣兵衛等は兵庫頭は若氣の至りなり、若し思ひの外のことあればと萬一を用意して別になつて備へを立つて居りましたが、藤の巣の火の手を見るより大に驚き、無『何時の間にか織田方は此藤の巣に兵を配りしか、信長は氣早の大將なり、先づ藤の巣を一氣に落し夫れより長篠の本軍と戰はん積りなるべし、イザ左らば我等の討死すべき時節來れり』と俄に兵を下知して藤の巣の方へ進み來れば、忽ち伏として顯はれ出でたる三州勢二千餘人一人も餘すまじと陣を鶴翼に備へて無理之助の軍勢を取巻く、無理之助之を見て大に驚き、無『扨て恐ろしき信長の戰略なるかな、法性院殿（信玄）が常に信長は名將なりと仰せられしが今こそ思ひ當つたりアヽ此の戰、コリヤ殊に由つたら味方の總敗軍かも知れぬ』と心中既に落膽の體、左れば幾分其鋒先も鈍りました、けれども左あらぬ體にて必死の戰ひ、遙かに之を見た木下藤吉郎馬を馳寄せ藤『如何に無理之助、久しく逢はずあつたるが相變らず達者よな、見忘せん』と呼ばはればカラ〳〵と打笑つて無『還は猿君の藤吉郎か……』と云ふより早く槍を合はす、名和と木下とは昔馴染でございます。木下が踏み込み〳〵突掛る槍の鋒先の激しさに無理之助終に受損じて馬より堂と落つれば藤吉郎の侍駈け寄つて其首を取つた、五味も飯尾も之を見て今は誰が爲に命を惜むべき、斬死に死ねや死ねやと加藤福島に斬り向ふ終に此人々も討死をいたしました大將兵庫頭に於ては酒井忠次の勢と戰つて、多くの敵は討ちながらも深手薄手數多く負つて終に亂軍の內に討死をいたしました中に三枝勘解由左衛門のみは未だ討死もせず、勢ひ益々激しく働いて居りますが、これは菅沼新八郎が鐵砲の者に下知して手繁く打ち立てさせましたから、鬪ひを誤たず三枝は胸板を打ち抜かれ馬から眞逆樣に落ちました、左れども剛勇名代の武士なれば、太刀を抜いて起り掛らんとする處へ菅沼新八郎が向ひ咽喉を目蒐けて槍を突いた左れば藤の巣に籠りし處の大將は思ひ〳〵に討死、兵士等は思ひ〳〵に落延びるもあり、降參するもあり、一時あまりの合戰に城をば織なく燒落して勝鬨をドツと揚げ、勇み進んで引揚げる樣有はまた目覺ましき次第です、さても武田勝頼の三萬餘騎に於ては藤の巣川を打ち渡り三方に別れて織田德川の七萬餘騎に差け向ひ、戰ひを挑まんと一條右衛門太夫信龍を先鋒の大將として馬場美濃守信房、眞田源太左衛門信綱、眞田兵部丞信輝、土屋右衛門尉昌次の五手は織田方の鹿垣所川上村大宮の前に備へを立てた。



相良ハム入 ハムパン 一包十錢 明治町 木村屋

義太夫界

梅鶯會納會

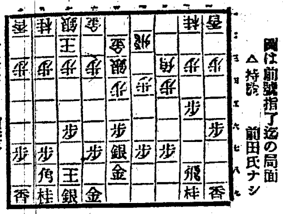
神戸の竹藤君が語り十置に聞きたいと云ふので丁度梅鶯會の納會があるのを幸にホテルから俥で驅け付けたのは八時半隆旗歌笑君の忠六が終り近い所で聽き漏らしたが次に背寿君が合邦を語つた、中々手を上げたと思つて聽いてゐると前に居た老人が『是れは前に出た歌笑より餘程下手だ』とブツ〳〵云ふ、私は是れだから京城の聽手は贅澤で困ると肚の中で思つた、竹藤君に何うかと聞くと『サア』と云ふ、次に出たのが攀君の合邦、平凡餘り語らぬと見へ、少々力の足らぬ所もあつたが先づ無難であつた、切の巽君の小磯ケ原、相變らず輕妙な所があり、聽衆を納得させたのは流石に君も未だ老えぬと見へる、人形に就て少々申分もあるが是れは後日に譲る事として竹藤君は其の昔、神戸で奈良梅の彈き語りを聞いた事があると大に懷しがつて聞いてゐたがアノ老翁にしては音締めは中々好いと感心してゐた大切の掛合は時間の都合で聞き漏したが今度の語りに就ては竹藤は別に云ふ所が無いとて一言も語らずに去る（鬼十）

將棋新手合（二）

於東京淺草區新福井町二
將呂木將棋所

△三段 坂井 武雄（東京）
平手先▲三段 前田幸次郎（東京）

圖は前號指了迄の局面
△持駒 前田氏ナシ



△坂井氏持駒▲
△九六步▲九四步△四六步▲八二玉△三六步▲七二銀△三七桂▲六四步△四八飛（八）▲六三金△四五步▲七四步（以下次號）

將呂木七段講評
△（八）四八飛と振りたるは手損となりて面白からず一五步と位を取りて指方優れり

十一月廿九日（舊曆十月二十二日）

▲八白▲舊曆丑寅▲金曜▲丁未▲先勝▲戌▲亢宿

▲八白▲狂瀾にひを事を織へ間違生じ易い日也自重肝要乾と東が吉
▲九紫▲持て餘した問題も雜なく解決する日進む程有利南と北が吉
▲一白▲念には念を入れ進まないと思はぬ損をする巽と南と北が吉
▲二黑▲何事も數減にはかとるが大利は望まれぬ日乾と東と巽が吉
▲三碧▲位誇り易くて足元の危さを感ずるの日なり西と乾と壬が吉
▲四綠▲內輪に行ひ利進み過ぎては損也散財に注意西と乾と癸が吉
▲五黃▲穏かな日正いことはどし〳〵と行ひ上首尾乾と東と巽が吉
▲六白▲目上の人の同情を得出世の緒に就く吉日巽と壬と癸が吉
▲七赤▲焦慮つては事を大損じる大口取引は見合東と壬と癸が吉

關釜連絡船

釜山發 午前十一時 午後九時三十分
廿九日 朝、昌慶丸 夜、景福丸
三十日 朝、德壽丸 夜、昌慶丸

法相訓示要項

檢徵府營陳情

資本金 參千萬圓
株式會社 朝鮮殖產銀行
京城府南大門通二丁目
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般銀行業務並貯蓄預金業務を取扱申候
電話本局長六〇一一四番
營業振替貯金口座四一〇三番
道金庫振替貯金口座特九三番
頭取 有賀光豐

支店及派出所
京畿道（仁川、水原、開城）
忠清北道（清州、忠州）
忠清南道（公州、鳥致院、大田、論山、江景）
全羅北道（全州、群山、井邑、金堤、南原、裡里）
全羅南道（光州、松汀里、木浦、麗水、筏橋浦、榮山浦、濟州島）
慶尚北道（大邱、浦項、金泉、尚州）
慶尚南道（釜山、草梁、馬山、新馬山、統營、晋州）
黃海道（海州、沙里院）
平安南道（平壤、鎭南浦、安州）
平安北道（義州、新義州、博川、宣川）
江原道（春川、鐵原、江陵）
咸鏡南道（元山、元山里、咸興、北青）
咸鏡北道（清津、羅南、城津、雄基、會寧）
右の外內地、朝鮮、滿洲、支那各地に爲替取引先有之候

貯蓄 積金 ◎ 貯金を造るには當行の「殖產積金」に御加入なさい。そして毎月怠りなく一年間御掛續けになれば御便利な貯金の御融通も致します

寫眞機械材料（目錄進呈）
岩瀨寫眞機店
本町二丁目
電話七五八番 振替七五五番

內地のお土產京城紹介に好適品頻る好評
京日編纂 京城案內
ポケット形美本 百頁 寫眞銅版說明付 五十錢
觀光の順路、車馬賃宿泊料並必須條項細大不洩
京城日報社代理部
市內著名商店、驛構內、繪ハガキ店、土產店に在り

仁丹島俱語七
カモメ
仁丹で涼しい聲が出てもカモメ
仁丹で煙草が美味くなつてもカモメ
仁丹で元氣な身体になつてもカモメ
消化と香けし 仁丹

貴金屬美術品製作
白金地金
金銀
各種銀器
德力
京城明治町一丁目
電話一五七二番
振替京城二三四
龍山出張所

資本金 壹千五百萬圓
積立金 繰越金 貳百拾六萬圓
株式會社 十八銀行京城支店
京城府黃金町二丁目 電話本局六〇一・八番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山支店 京城府漢江通り十三番地 電話龍山五五〇番 振替口座京城一八二三番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話龍山一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

AKADAMA BRAND REGISTERED TRADE MARK
美味滋養葡萄酒
赤玉ポートワイン

內科 眼科 小兒科
京城黃金町三丁目永樂町通り
本田病院
院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院
入院隨意 普通病室 隔離病室
病院用電話本局二四〇三番 自宅用電話本局二〇九番 振替京城三二二八番

捕雀用極上等絹絲製 カスミ網
高サ六尺三尺 二棚幅市三間 三圓四十錢
高サ六尺三尺 二棚幅市六間 五圓五十錢
前金に限り送料負擔代金引換送料貳拾八錢
朝鮮京城永樂町 吉備商會
投網 釣道具 電話本局三一四番 振替四三二八番
捕獲の時季は今ですカスミ網は小供でも取れます一時に數羽位は容易く捕れますから晩餐の御菜のみでなく樂みと運動にもなります

歯の爲に一番よい
クラブ煉歯磨

肺炎の話

一 目下呼吸器の疾患が流行しますが、其の內でも急性肺炎が一番多いのであります。
二 急性肺炎は二通りに區別します。眞性肺炎と氣管支肺炎であります。
三 その裡の氣管支肺炎は氣管支炎に繼續して起るもので、感冒の爲め氣管支加答兒を起し、これがこぢれるのが重であります。
四 肺炎になつたら、一命が脅かさるのですです。から皆さんは輕ひ咳や感冒だとて決して、油斷してはなりません。
五 ホシ感冒錠は感冒藥として理想的な藥であります、何故ならばホシ感冒錠には世界一の品質を有する本社製の鹽酸キニーネが含まれてゐるからであります。
六 東洋に於て鹽酸キニーネの製造は我が星製藥株式會社のみの占むる特權で、ホシ感冒錠は其キニーネを主藥として居る代表的感冒藥であります。

ホシ感冒錠
定價 卅錢 五拾錢 一圓 二圓
星製藥株式會社 東京大崎

臺灣總督府專賣局
◎入荷御案內
㊟臺灣特等原鹽入荷仕候
多少ニ不拘御用命御願申上候
見本御申込次第送呈
釜山府南濱町一丁目 許斐商店鹽業部 電話長四一一番
仁川府本町一丁目 許斐仁川出張所 電話一、〇二七番

367

却下されて係判事全部を忌避

[illegible]原告側より控訴し大邱覆審法院に移つたが其後控訴人側は數回の公[illegible]側の代理人として[illegible]して濱田、橋本の兩辯護人、被告[illegible]辯護人が死[illegible]事に於ても申請した證據調を却[illegible]人として喚問せられたしと原告の[illegible]代理人の證人申請は却下すと宣言したのに對し濱田辯護人は判事忌[illegible]

五人の惡玉（大邱）

[illegible]安城郡邑內面堂旺里七四[illegible]希（四四）の五名は[illegible]

京城日報
（朝夕刊合せて十頁）
定價　[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話光長[illegible]番　振替京城三〇〇番

朝鮮最古の木造建築（八）
關野貞氏語る

郷と云ふやうに日本と支那との雙方から考へて見、又現在浮石寺の年代の確な祖師堂の様式からも考へて見ますと建築の様式上どうしても麗時代ではなく、もつと古くなければならぬと思はれるのです。夫れで無量壽殿は或る年間の上に押上げて行かなければならぬことになつて來るのであります丁度私が大正元年の十一月に初めて參つて直覺的に感じたのですが、祖師堂の年代が高麗末期と確まつて居る、又無量壽殿修繕の際に……洪武九年に再興したと云ふ記錄も出て居るに拘らず、矢張百年若くば百五十年前のものであると云ふことになつて來たのであります之れはもう少し研究しなければならぬ餘地があるかも知りませぬけれども差當り私共の考へて居ることを申し述べまして、御批評を乞ひたいと思ふのであります。

次に此の二つの建物に就いて、建築の方面から少しお話して見たいと思ひます先づ無量壽殿のほうから申し上げますが此の二つの建築は何れにしましても高麗時代の建築であつて、朝鮮に於ける最古の木造建築であることは間違ひがないのであります。最古の建築である許りでなく、最美の建築の一つであると同じやうに此の無量壽殿の年代は、法隆寺の金堂や五重塔が、日本最古の木造建築である許りでなく、最美の建築の一つであると同じやうに此の無量壽殿の年代は、浮石寺よりは後れては居りますけれども、其價値を考へますれば、頗る立派なものでありまして朝鮮時代に出來た建築物は澤山ありますけれども、到底之には及ばぬのでありまして、高麗時代は朝鮮時代より進歩した技術を有つて居つたことが判るのです

復興の都より
中島司

一、變り果てた東京

急ぎの用で旅裝も慌ただしく月の五日夜京城を發して直行し七日の晩に東京驛に降り立つた、私はプラットホームの雜踏いのに先づ心を躍らせた。驛から宿へ走らせる車の幌の窓から東京驛館や帝劇などのむごたらしい姿を仰ぎ皆ては明かるく賑やかだつた日比谷附近が侘しいバラック町と化して電燈の光りも淋しく行く人も疎なのを見て、嗚呼變り果てた東京よと私は歎しんだ。

二、焦土より復興へ

私は私の用事を果す上に何より震災氣分になることが必要だつたので九日に東京市中の罹災箇所を一通り見て廻つた丸の内ビルディングの九階に登つて見渡したところ眼前の東京驛を隔てゝ向ふは京橋日本橋、本所、深川、右より後は淺草、麴町、左は神田本鄕から下谷、淺草ただ忌々たるバラック街で家々の新しい膝板と亞鉛屋根が秋日に照されて光つてみえた。滿目荒涼たる焦土より早くも一面のバラック街を作り出した帝都東京は今や復興の氣が漲つてゐる私は嬉しくもまた心強く思つた。

三、上野の丘に立て

燒け落ちて工兵の手で應急修理された神田橋を渡り、小川町から須田町へ出で廣瀨中佐の銅像の厳めしいに引かへて萬世橋驛の果敢ない姿に面を背け、上野へ急いだ。公園の石段を登れば西鄕隆盛の銅像が悠々として戒嚴令下の帝都を瞰望して居る。其高臺から下谷淺草を見渡して、私は平面の都を訝しんだ。燒け果てゝさても見すぼらしい上野驛よ。十二階も崩れて唯低いバラック街の彼方、樹立の間に纔在な觀世音の御堂と樓門が僅に淺草の面影を留めて居る

四、死の池地獄

三の輪線に沿うて吉原に行つた。昨日さしもに大厦高樓甍を並べ、暁日に月の出る里と言はれた不夜城もその繁華一朝の夢と消えて瓦石離々たる燒け原と化し、其處へ何々樓と記した札が立てゝ居なかつたら角海老が此處、稻本が彼處だつたと知る由もない位に淺ましく荒廢して居る。所々にバラックが建築中だが、此處はさすがに手の廻つたバラックが多かりさうに見えた吉原公園内の池、彼の千に近い遊女が阿鼻叫喚のうちに七百人から燒け死に溺れ死んで世にも無慙の屍を浮かべた辨天池は、すでに池底を淺深された後なので、今は纔一本池んで居らず、澄んだ水面に秋風が渡つて漣が立つて居るその周りを幾多の男女が無味懸さうに覗き歩いて居る私は池畔に佇立して當時の慘狀を心に描いて見た

ボストンより

十月十四日　守屋榮夫

加奈陀より北米合衆國のニューイングランドに入り十二日イーストノースフキルドにまゐり候。こゝはムーデー翁が人物本位の男女教育を目的として、殊更に人煙絶えたる丘陵をトして學校を建築した所にして、現に千人以上の學生と完備せる校舍とを有し、夏季は宗教者會合の中心地として其の名聞ゆる所に御座候。秋闌にして紅霞滿地、吟懷そゞろに動くを禁じ申さず候。ボストンの市街は雜沓いたし候へども、此處さすがに米國魂の發祥地だけありて其の附近には見るべき所少からず候。十四日はボストン附近を驅け廻り申し候。茶を海に投込む目的で驅け出し行き候連中のミーチングハウスだとか、獨立戰爭の第一彈を發せしコンコードの櫓だとか、激戰地の一として目され候ケンシントンだとか、乃至有名なるハーバード大學などをも觀申候。米國の氣分は大體に於て私共にシックリとはわからぬ所有之候へども、此處に來れば米國の偉大に打たるゝこと多くなる樣に思はれ候十五日紐育へ戻る豫定に御座候。

種の話

◇震災地住宅に廢艦を使用提議　ワシントン條約の結果日本が多數の大軍艦をムザ／＼と廢棄せねばならぬ事は世人の知れる處であるが、今回の關東大震火災の爲め多數の罹災民が住むに家なき狀態にある事が米國の宗教家連を非常に刺戟したので彼等宗教家連は人道上から米國政府に始め華府條約に調印した國に對し日本の廢棄艦の廢棄作業を當分中止し罹災民の一時的住宅に之等の軍艦を當てる運動を起さうとしてゐるさうである。

◇極東の某國を假想的とする和蘭　オランダの屬領地たるジャバ、スマトラ、ボルネオの諸島に對し極東の某國が地理的關係から近き將來脅威的手段に出づるかも知れぬとの心配からオランダ政府ではジャバ、スマトラ、ボルネオの某地點に秘密に海軍及び空軍の根據地を建設し極東の某國の勢力と伯仲する程度の航空機及び潜水艦を建造し萬一の場合航空機と潜水艦とに依り右の屬領地を防がうとする策戰を決定したと（バタビヤ新聞所載）

川柳十句集（二）
寺田冰瀨子

土人形

土人形雨にたゝけて地に還り
武藏野のむかしに還る測量機
生を得た喜びだけで逃れ行く
武者眼の立つ夜が長い獨身者
待人はやつぱり來ない培り出し
呑込んだ顏すけで來る選擧場
張板へ時雨て女房焦らされる
お稽古に通つたまでの幸福さ
廂板の霜を豆腐屋消して行き
沒義道な證文にして年も越し

新年文藝を募る

短歌賞　歌題『曉』　尾上柴舟先生選　▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同上
俳句賞　句題『楪』　內藤鳴雪先生選　▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同上
川柳賞　柳題『玉』　井上劍花坊先生選　▲天位選者肉筆色紙▲地位同上▲人位同上
情歌賞　歌題『髮』　本社編輯局選　▲天位五圓▲地位三圓▲人位二圓
締切　十二月十日
注意　一人一題三句以內△用紙は葉書△住所姓名雅號明記の上『京城日報社編輯局新年文藝係』宛

スフィンクスの下に立ちて（九）
守屋榮夫

カイロよりポートセットへ

午後の六時十五分カイロ驛から發車した。驛頭で物を賣る者はいかにもずるいものが多かつた。一行のうちの某氏は金だけとられて物をとらぬうちに汽車が出て仕舞つたり、又意味ありげな繪端書を高く賣られて後で開いてみると普通の繪端書なので失望したりした汽車へは伊太利の青年が四、五人乘込んで來て、親切相に話をして呉れた。政治上の權力は英國が握つて居り、佛蘭西人も可なり居るが伊太利人が活動して居るなどといつた。眞否は保證の限りではないが、伊太利人が地理的の關係から埃及に相當に活躍してるのは事實であらう車窓の外は漸次に暗かせまつて椰子の森の彼方に鎌月が光み、星が荒涼たる砂漠の上に淋しくまたゝいて居つた。我等の汽車は午後の十時三十五分ポートセットに着、同地で店を開いて居る横田某方に立寄り、二、三の御土産物など買求めて十二時船に歸つた

惡鬼の英國紳士

翌朝いよ／＼船はポートセットを出て地中海に出るのである。朝甲板に出て見ると、土耳其のタペストリー繪端書其他の土産物を賣らうとする商人で上甲板の通路は一ぱいであつた。我等の使用し來[illegible]の陳列場になつてゐた。私は此の一寸異樣な光景に見とれてひとり甲板の一隅に立つて居つた。スエズト上海から乘つて來た英國の商人で、六十を越したと見える風采の上品な紳士——この紳士はデッキスポーツの委員長に我等が推薦した人であつた——が甲板に見えた勿論彼と彼の夫人の使用する椅子の上にも埃及人の商品たるタペストリーがならべられてあつた。これを見た英國紳士の形相は一轉して惡鬼と變つた。彼は蹂躙に何かいつたかと見ると、其上にあつた商品を手つかみにして、甲板の上にたゝきつけ、其上彼はその大きな靴を以て數回これをふみにじつてから、いかにも心地よげに、彼の椅子によりかゝり、シガーから其側の白髮の夫人と語り出した。其刹那に私は好奇の目をみはつて一方の埃及の商人を見た。彼の顏は一寸反抗的氣分がひらめいたかと思ふと、それが忽ちにして自暴自棄した樣な陰鬱な貌になり、最後にはいかにも無力者の悲哀を語るやうな恨めしさうな顏になつたが、それでも次の瞬間には少しくはれやかな顏を作り成して、商品を片つけ、他の客を呼んで商ひを始めた。併し英人に對しては一言だも諂をするやうな氣がなかつた私はこの五分間ばかりの光景でいろ／＼のことを考へさせられた。強者と弱者、涙あるものと涙なきものとの關係、そして喧嘩のいづれにも味方の出來ぬ場合の寂寥な[illegible]

眼鏡專門　並に貴金屬製作
本町二丁目　大學堂本店
カタログ進呈

時計と寫眞機
貴金屬　寶玉石　銀器　銅器　錫器
活動寫眞機　幻燈機　各種材料
株式會社 大澤商會京城支店
京城本町壹丁目　電話本局二六二番・三二九番・四八〇番　振替貯金口座京城二三二

少年　少女　譚海　十一月號
西遊記物語　守田紫山　冒險百出奇々怪々の西遊記物語を本號より詳しく連載いたします是非御覽下さい。
元春の初陣　松佐雄美　藝術作品元春の少年時代の勇ましい物語はきつと諸君の血を湧かしめるでせう。
愛の熱血　中里八雲　少女ドロシーの勇敢なる行動！それは英國の歴史を飾る美しい少女史談です。
◆或る日の瓢之助　鈴木重正
◆怪物と又兵衛　麻生山人
◆樽詰の黒奴兄妹　奧田花堂
◆金貨に殺される　都筑紅花
○歌くらべ……[illegible]　○トムの冒險……[illegible]　○海原卜傳……翠山
正價二十錢　送料一錢　東京博文館
◆勇少年マルコ　青木羊太
◆搖籃の旅　久保木村
◆小萬の忠義　保高德藏
◆故鄕へ　澁谷小波

少年世界　十一月號
武勇講談　戸田新八郎　宇津木冷葉
冒險講談　快力坊信了　國分寺利根男
少年探偵　高原の月　海野文雄
智慧ロブ　地下の水道渡物
少年講談　後藤小源太
活動物語　オリバー少年　戸川純
冒險探偵　三時十五分　黑川渉夫
長篇探偵　ニッパーの冒險　森下雨村
震災餘錄　◎少年の嘆き　◎帝都燒野行脚　◎罹災通信　◎猛火を冒して
冒險小說　少年騎手　少年講談　憎い良觀　新少年懸賞　どちらが早い！
三拾五錢　郵税一錢半　東京小石川　博文館

少女世界　十一月號
探偵冒險　赤リボンの謎　大村光一
冒險物語　燈臺に咲く花　生田葵
新年號の豫告を是非御覽下さい。附錄と云ひ內容と云ひ眞に「少女雜誌中の花」です。賣り切れない內にお求め下さるやう御願ひします
悲壯物語　荒野の花　長谷川浩三
少女笑話　美智子の失策
（少女小說）綴り物　（滑稽物語）歯の痛み　（名作物語）小公女　（滑稽物語）薙刀の名人　（新作落語）地震　（少女小說）貧しい贈物　（少女笑話）泥線　（少女お伽）鬼女の角
三拾五錢　郵税一錢半　東京　博文館

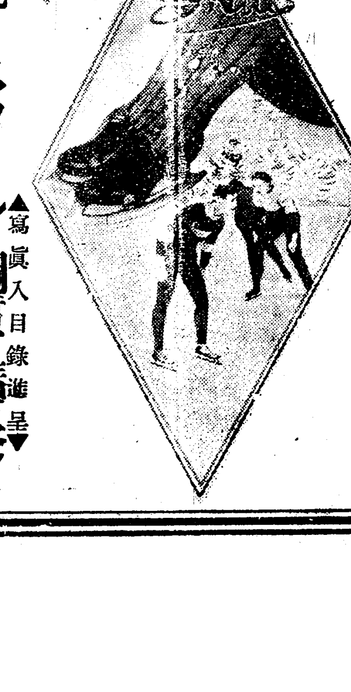
◎わかり安い經濟雜誌
富之研究　第十五卷第一號出來
●本誌は大正六年創刊の通俗經濟雜誌毎月一日發行[illegible]
富之研究社

講談 落語 娛樂世界　十一月號出來！
探偵あり怪談あり武藝者あり俠客あり戀愛あり仇討あり講談雜誌中一番内容充實せる面白雜誌
娛樂世界十月號は大震災の爲印刷工場諸共燒失の厄に遭ひ内容を改め十一月號に編輯に着手し烏有に歸せしが弊社は直に紙數約廿頁を增加定價は從前の儘にて發行せり切に御愛讀を待つ
宮城野信夫　山田長政　奉書試合　地震加藤　針ヶ谷の仇討　落語火事　熊澤蕃山　小夜衣双紙　企んだ毒酒　小野喜三郎　二つの影　法廷の死　惡魔の舞　難波屋お菊　呪はれたる肉塊　善惡二筋道　流れ行く女　美人の屍體　雨の降る夜　地獄谷　柳屋おふぢ　麻繩の働き　艶名錄　米國治動界　此外讀物澤山
定價金六拾錢　送料二錢　振替東京三一八四四　東京市日本橋區　娛樂世界社

豫約募集
菊池幽芳著　全十五卷　一萬二千頁
幽芳全集
明治より大正に亘る文豪にして最も普遍的に山村僻地の末まで名を知られた作家を求むれば何人もまづ我幽芳先生に指を屈するであらう。先生の文壇的生命既に三十年、然も一作出る毎に今日も猶依然として熱狂的讀者を有することは、實に文壇的奇蹟である。斯く盛名を維持し居る點に於ても先生は正に第一人者である。幽芳先生の作物には必ず讀者を魅する力強き何ものかがある、それはその根本に横はる人情味と正しい人生觀より來るので、そこに先生の不斷の生命があり、先生の作物の永久的價値がある。
第一卷 己が罪　第二卷 乳姉妹　第三卷 月魄　第四卷 家なき兒　第五卷 百合子　第六卷 小[illegible]　第七卷 女の生命　第八卷 [illegible]　第九卷 [illegible]　第十卷 須磨子　第十一卷 忘れがたみ、女の行方　第十二卷 白蓮紅蓮　第十三卷 短篇及自叙傳　第十四卷 戀を裏切る女　第十五卷 彼女の運命
規略　本書は豫約者のみに頒つものとす
申込金毎月金弐圓五拾錢（外に送本料を要す）
刊行　大正十三年二月より毎月一冊宛向十五ヶ月
豫約申込十二月廿五日限
內容見本申越次第進呈
東京市麴町區內幸町一丁目　振替長野三一七〇番
國民圖書株式會社

朝鮮史講座
朝鮮史唯一の講義錄各科專攻の諸大家執筆
總裁　政務總監　有吉忠一閣下
會長　總督府編輯課長　小田省吾閣下
顧問及講師三十餘名
一般史、分類史、特別講義に分ち朝鮮の文化を平易懇切に講述す朝鮮を徹底的に理解せんとする諸士は速に入會せよ見本御申越次第無料進呈す
毎月一回發行一ヶ年完結
京城府長谷川町七六　朝鮮史學會發行　振替京城一二二二番

▲朝スケート界の權威▼
獨逸高級品輸着



▲卓絶せるスタイルと鋼質の精良▼
▲寫眞入目錄進呈▼
京城本町二丁目　直輸入商　釘本洋樂器店
電話本局長一二八三番・振替京城六八四番

第十四回　新學期
國民教育の欠陥は更に恐るべし
大日本國民中學會
震災は誠に恐るべし
大東京は復興を急ぎつゝあり　大日本國民中學會は既に復興せり
中學校に行かずして完全に中學全科を獨習せんとする者は本會發行の中學講義錄に就いて學べ[illegible]
見本　申込次第無料にて進呈
東京神田駿河台　電話神田[illegible]
大日本國民中學會
東京新橋局燒失につき左記番号にて御送金ありたし
名古屋四二八〇